

1. 工事概要	工事名称 (仮称) 上下水道庁舎建設工事																								
	工事内容 本工事は、上下水道庁舎建設工事に関わる機械設備工事とする																								
建物概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th>建物名称</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>延べ面積 (㎡)</th> <th>消防法施行令別表第一</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上下水道庁舎</td> <td>RC造</td> <td>地上2階</td> <td>1,902.4</td> <td>15項</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	建物名称	構造	階数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考	上下水道庁舎	RC造	地上2階	1,902.4	15項													
	建物名称	構造	階数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考																			
	上下水道庁舎	RC造	地上2階	1,902.4	15項																				

2. 工事種目 ◎印を摘要とする	◎ 給水設備	◎ 空調機器設備	◎ 都市ガス設備	・昇降機設備
	◎ 給湯設備	◎ 空調配管設備	・LP(液化石油)ガス設備	・場内舗装整備
	◎ 排水通気設備	・空調ダクト設備	・厨房設備	
	◎ 衛生器具設備	◎ 換気機器設備	・排煙設備	
	・消火設備	◎ 換気ダクト設備	・自動制御設備	
< 屋内外工事区分 > 給水設備工事 : 建物外壁を介して屋内外工事区分とする。 排水設備工事 : 各屋外第1会所迄を屋内とし、会所以降(会所含む)を屋外とする。 ガス設備工事 : 建物外壁を介して屋内外工事区分とする。 消火設備工事 : 同上				

3. 一般共通事項	* 特記仕様書及び設計図面に記載されていない事項は、一般社団法人公共建築協会発行「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)、公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)」及び、一般財団法人建築保全センター発行「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)」各令和4年版による。 * 工事写真の撮影要領は、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領(平成28年版)」による工事写真撮影ガイドブック「機械設備工事編 平成30年版」による。 * 本工事に関係する法律、政令、省令、告示、条例、各地方団体等の内規、基準及び指針等はよくこれらを遵守し必要ある届け出、手続等は、請負者がこれを代行すること。ただし、これに要する費用は総て請負者の負担とする。なお、官公庁への提出書類は、写しを監督員に提出すること。 * 完成図作成にあたっては、CADデータ修正の方法とする。また、完成図の種類及び記入内容は設計図同等とし、各図面の右下に「完成図」と明記することとする。なお、受注金額が500万円未満の場合は製本不要とする。 ・JWW形式CADデータ ・PDF形式データ(印刷物をスキャンしたものは不可) ・A2二つ折り製本(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度 工事名称+完成図 受注者名」を記入) 2部 * 貫通工事を行う際は、事前に構造上重要な躯体でないか確認し、鉄筋位置探索の上で行うこと。また、採取したコアは工事完成時まで保管すると共に写真撮影し、鉄筋切断がないことを明示すること。 * 本工事の撤去物に含まれる石綿について、「大気汚染防止法」及び兵庫県「環境の保全と創造に関する条例」に基づき、事前調査を実施し、報告書の作成及び報告、必要に応じて届出を行うこと。 * 本工事に発生した廃棄物の処理については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」ほか関係法令に基づき処理すること。 * 埋戻し後の建設発生残土は、構外搬出とし適法処理すること。 * 本工事で発生した回収フロンガスは、適正に処分し破壊証明書の写しを提出すること。 * 本工事における残存物(家庭用エアコン等)は、「家電リサイクル法」に基づき処理を行い、廃棄証明書を完成図書に添付すること。 * 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による耐震強度計算書を提出し、監督員承諾を受けること。 * 重要機器及び重要水槽(「平成25年制定」官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説(令和3年版) (一般社団法人公共建築協会)の定義による)並びに重量機器(500kg以上の機器)は、アンカー種別に関わらず引張試験を行うこと。引張試験の本数は、施工本数の25%以上または3本以上を目安とし、協議により決定すること。なお、当該アンカーボルトの施工は、一般財団法人日本建築と施工アンカー協会(JCAA)またはあと施工アンカー工事協同組合(AAC)の有資格者のみ認める。 重要機器及び重要水槽として扱う機器の例: ポイラー、温水発生機、温水発生機、冷却塔、1m³以上のタンク等 * ガス事業法第162条に適合すること。
	< 以下の項目において、◎印を摘要とする。◎印が付かない場合は※を適用 > ・本特記による(ただし、建築一式工事における以下の項目は、建築工事特記仕様書による) * 本工事に必要な工事用(構内の既存設備を使用) 電気 : ・できる [・有償 ・無償] ◎できない 水 : ◎できる [・有償 ◎無償] ・できない * 本工事は、監督員事務所を ・設ける ※設けない * 本工事は、構内に工事用仮設物つくることが ・できる ※できない * 本工事の足場・さん橋類は ・別契約の関係請負者が設置したもの無償で使用できる ※本工事で設置とする * 現場標示板(工事名標示板) 明石市指定様式(900×600)を 設計金額1,000万円以上かつ工期90日以上の場合に設ける * 工事実績情報の登録を 受注金額500万円以上の場合には行う * 再生資源利用促進関係 計画書及び実施書を作成する。(エクセルデータ可) 【建設リサイクル関係法令に基づき通知・届出等の必要がない工事はデータのみ提出】 * 交通整理員は、 延べ()人とする。

4. 工事区分	別紙参照
	< 以下の項目において、◎印を摘要とする。◎印が付かない場合は※を適用 > * 地中埋設配管の建物導入部の変位吸収を、 ※行う [・スリケーション ◎ホリエレン管 ・フレキシブルジョイント] ・行わない * 地中埋設標示シートは ダブルとする * 埋戻し土・盛土は 根切り土の中の良質土(但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類とする) * 支持金物の材料 屋外及び屋内多湿箇所は ステンレス鋼製(SUS 304)とする 壁支持の場合は三角ブラケット、床支持の場合は山型支持材 * 水質検査(残塩0.1mg/L及びpH) ※あり ・なし * 建築物の部分ごとの耐火性能に応じて、防火区画等の貫通処理を行うこと。 本工事範囲における耐火性能(耐火時間) ◎壁(◎1時間 ・2時間 ・3時間) ◎床(◎1時間 ・2時間 ・3時間)

5. 工事種目 ◎印を摘要とする	◎ 給水設備工事	給水方式 ◎直結方式 ・直結増圧方式 ・受水槽方式 [・加圧給水 ・高架水槽] 受水槽 ・既設品使用 ・SUS製 ・鋼板製 ・FRP製 [・単板 ・複合板] 高架水槽 ・既設品使用 ・SUS製 ・鋼板製 ・FRP製 [・単板 ・複合板]	・消火設備工事	・屋内消火栓 ・屋外消火栓 ・スプリンクラー ・連結送水管 ・不活性ガス消火 ・粉末消火器 消火水槽(m3) ・本工事 ・建築工事 配管 ・充水方式 ・乾式方式
	◎ 給湯設備工事	給湯方式 ◎個別方式 ・中央方式 熱源 ・電気 ◎ガス	◎ 空気調和設備工事	方式 ◎個別方式 ・中央ダクト ・中央配管 熱源 ◎空冷パナソニック [◎マルチ ◎個別 ・水蓄熱] ・冷水発生機 ・電気チラー 放熱器 ・ファンコイル ◎エアコン 既設利用 ・機器類 ・配管類 ・ダクト類
	◎ 排水通気設備工事	排水方式 汚水雑排水: ・屋内分流◎屋内合流◎屋外合流方式 放流先 ◎公共下水道接続 ・既設会所 会所築造 ◎既製品会所 ・現場打会所 ・既設会所接続部改修 通気方式 ◎伸頂通気 ◎ループ通気 * 雨水排水 ・本工事 ◎建築工事	◎ 換気設備工事	方式 ◎個別方式 ・中央方式 第①種・2種③種換気 対象 ◎機器類 ◎ダクト設備 ・既設使用 [・機器 ・ダクト]
			◎ ガス設備工事	◎ 都市ガス ・LPガス

名称	配管名 番号等	給水管	給湯管	汚水 雑排水	通気管	消火管	ガス管	冷媒管	ドレン	冷却水	冷水水	蒸気管	ダクト
硬質塩化ビニル管	JIS K 6742 水道用VP												
〃	JIS K 6741 一般用VP			○	○				○				
〃	JIS K 6741 ｸﾞﾗｰﾌﾟ(耐候性)												
耐衝撃性硬質塩化ビニル管	JIS K 6742 HIVP												
硬質塩化ビニレン鋼管	JWWA K 116 SGP-VA												
内外面 〃	JWWA K 116 SGP-VD												
一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448 (拡管式)	○	○										
水道用ホリエレン管(20A~40A)	JIS K 6762 PP	A・C											
水道用ホリエレン管(50A, 65A)	JWWA K 144 PE (融着接合)	A・C											
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452 SGP(白)												
圧力配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3454 SGP Sch40												
消火用外面被覆鋼管	WSP 041 SGP-VS												
外面被覆鋼管	JIS H 3330 建築用(M型)												
耐熱性ライニング鋼管	JWWA K 140 SGP-HVA												
架橋ホリエレン管(さや管工法)	JIS K 6769												
冷媒用断熱材被覆鋼管	JCDA 0009 空調用							○					
排水用塩化ビニレン鋼管	WSP 042 DVLP												
耐火二層管	排水管通気管は100A以上												
亜鉛鉄板(ダクト用)	JIS G 3302 Z18以上												
スパイラルダクト	亜鉛鉄板・国交省仕様												○
大阪ガス指定管								○					

< 凡例 > [O] 該当する配管工事に一般的に使用する配管材料を示す。他欄に記号がある場合は、その配管材料を優先する。
[A] 屋外地中埋設用 [B] 屋内地中埋設用 [C] 床下ビット配管用 [D] 天井・PS内配管 [E] 床下ビット打込み [G] 屋外露出配管 [H] 屋内露出配管 [I] 給水引込み [J]

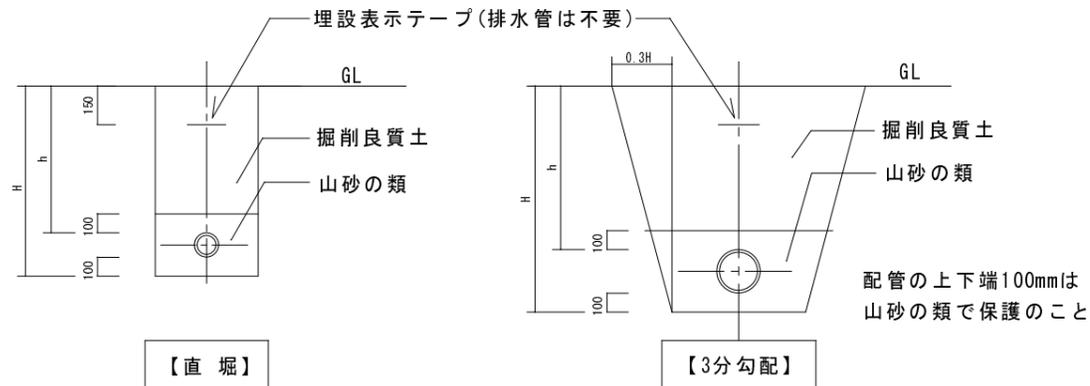
< 注記 > * 給湯管については、原則地中埋設を行わないこと。コンクリート打込み部については、仕様書に基づく防食処理を施した上で、緩衝材の巻き付けを行うこと。
* 防火区画等を貫通する樹脂管については、国土交通大臣の認定を受けた材料及び工法により適切に処理を行うこと。

7. 保温種別		# 保温種別の記号は「標準仕様書」による。					
管種	施工場所	保温種別	管種	種別	保温厚	備考	
給水管	屋内露出(一般居室・廊下)	a 1・(n)・VII	冷媒用断熱材被覆鋼管	ガス管	20mm	保温材質は、A種ホリエレンフォーム保温筒とする	
	機械室・書庫・倉庫	b ・(n)・VII		液管	10mm		
	天井・PS内・空隙壁中	c 2・(n)・VII					
	床下・暗渠(ビット内)	d ・(n)・VII					
	屋外露出・多湿箇所(浴室、厨房等)	e 2・(n)・VII					
排水管	屋内露出(一般居室・廊下)	a 1・(D)・VII	冷媒管	施工場所		配管保護種別	
	機械室・書庫・倉庫	b ・(D)・VII		屋外露出・多湿箇所(浴室、厨房等)			SUSラッピング
	天井・PS内	c 2・(D)・VII					
	多湿箇所(浴室、厨房等)	e 2・(n)・VII					
給湯管	屋内露出(一般居室・廊下)	a 1・(D)・I	* 保温仕様に変更がある場合は、下記に示す。				
	機械室・書庫・倉庫	b ・(D)・I					
	天井・PS内・空隙壁中	c 2・(D)・I					
	床下・暗渠(ビット内)	d ・(D)・I					
	屋外露出・多湿箇所(浴室、厨房等)	e 2・(D)・I					

8. 機器類の工場検査への監督員立会い	・右記機器類の工場検査には市監督員が立会検査を行う(機器名:)
---------------------	----------------------------------

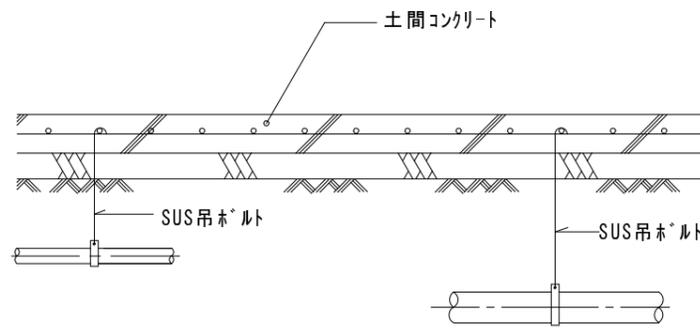
2023年4月改定

地中埋設管敷設要領図



【直堀】
 (掘削断面) H: 根切り深さ
 H < 1.5m : 直堀
 1.5m ≤ H < 2.0m : 3分勾配
 ただし、地盤崩壊のおそれ等がある場合はこの限りでない
 ※埋設深さhは、車両通路にあつては管の上端より600mm以上、その他の場所では300mm以上とすること。

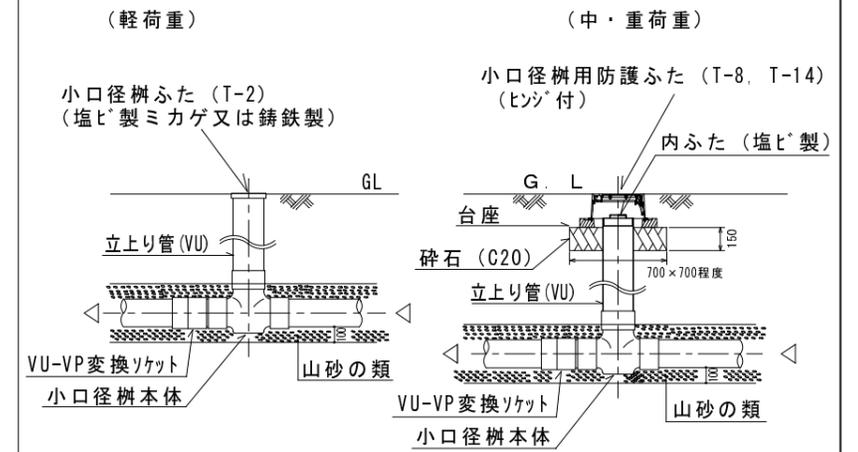
土間下埋設管施工要領図



給水管
 排水管

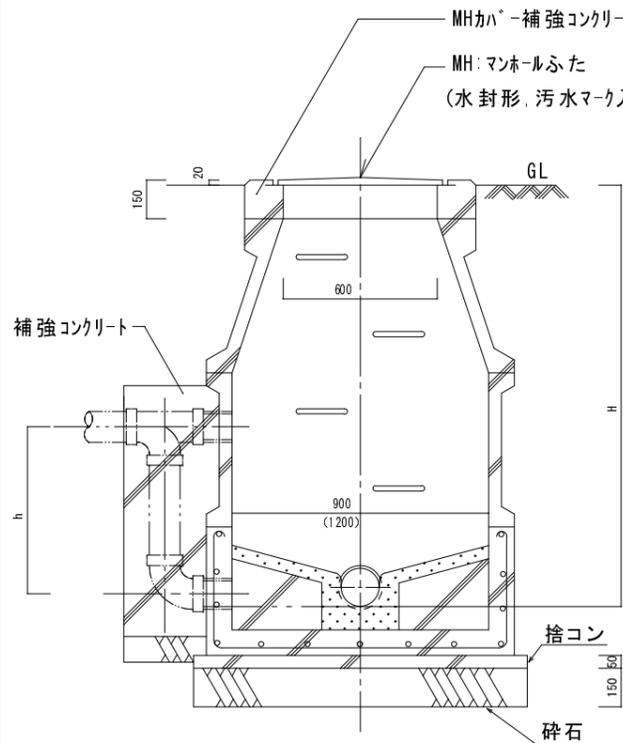
地中埋設管敷設要領図による掘削、埋め戻しを行うこと

小口径樹設置要領図

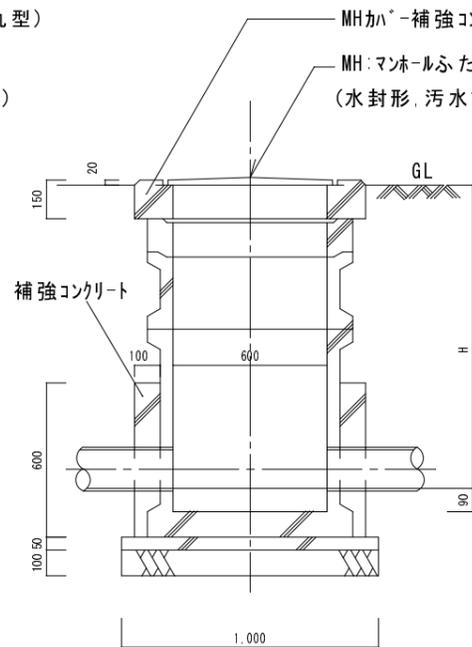


【車両通路以外】
 【車両通路】

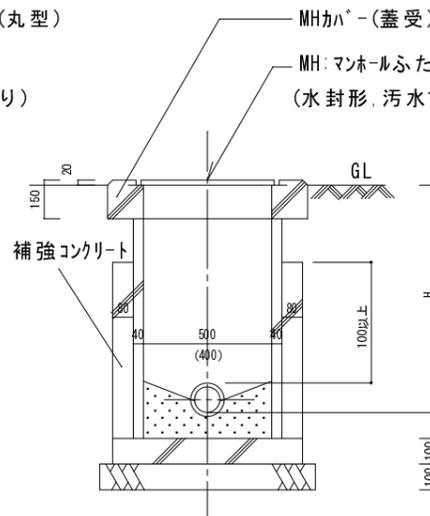
排水樹施工要領図



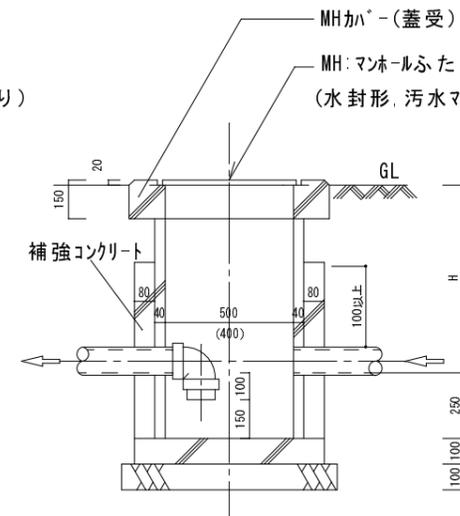
1号人孔
 H: 1200以上
 h: 600以上は副管付きとする。
 (管径、会所径等を考慮の上、内副管も可)
 ※ () 内の数値は樹底部がφ1200の場合である



特殊600人孔
 H: 1010 ~ 1200

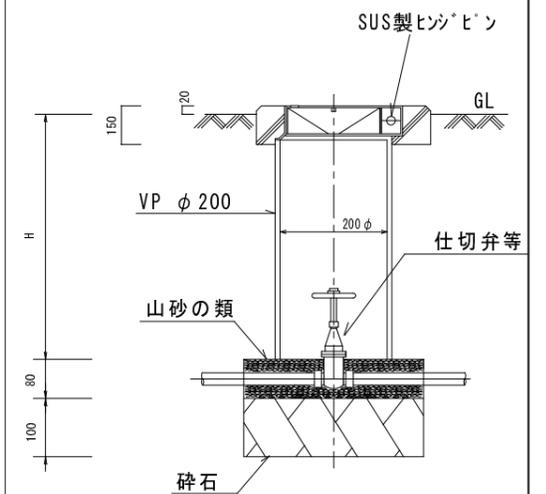


500φ (400φ) インポート会所
 500φ H: 510 ~ 1000
 400φ H: 500以下



500φ (400φ) トラップ会所
 500φ H: 510 ~ 1000
 400φ H: 500以下

バルブボックス (B1) 施工要領図



2021年4月改定

<p>屋外露出部 保温付被覆銅管（冷媒管）の保温施工要領図</p> <p>注）冷媒配管の支持には、保護プレートを使用すること</p>	<p>天井内・PS内 保温付被覆銅管（冷媒管）の保温施工要領図</p> <p>注）冷媒配管の支持には、保護プレートを使用すること</p>	<p>天井内・PS内 ドレン管保温施工要領図</p> <p>注）その他、冷温水ドレン管の保温は、排水管に準じること</p>	<p>冷媒管壁貫通部参考図</p>
--	--	---	-------------------

<p>室外機コンクリート基礎の施工要領図</p> <p>注）基礎配筋はD10-@200とすること 注）必要に応じてファンや風向板を設置のこと 注）室外機のドレンは、原則最寄りの側溝等へ配管すること</p>
--

<p>屋上、土間上配管支持要領図</p> <p>※・屋外及び屋内多湿場所は SUS製とすること</p>

<p>ドレン配管・冷媒配管 要領図</p>

<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県条例に基づく騒音の届出は、必ず届出すること。 ・空調機の冷媒配管は、メーカー毎に配管長に関する条件が異なるため、機器選定及び施工図作成にあたり、配管経路を十分に確認すること。 ・渡り廊下に露出配管する場合は、原則、梁下でなく側面に行くこと。 ・ハッキングエアコンの室外機ドレン管は、原則設置しない。ただし、高所の壁付け等で下部歩行者への配慮が必要な場合は設置する。 ・エアコンのドレン防虫網は、原則取付けない。 <p>2021年4月改定</p>

機器標準仕様	名称	規格・仕様	機器・付属品等 (◎印を適用。◎印なき場合※印を適用)	共通事項
和風大便器	保育所・幼稚園児用大便器 (幼児用掃除口付和風大便器)	C103VCS (TOTO参考品番) C-715BM (LIXIL参考品番)	※陶器製ロータンク(蓋固定 ※有・無) ・フラッシュ ・リモコン洗浄 ・SUS製紙巻器 ※樹脂製紙巻器	紙巻器は ワンタッチ とする
	小中学生、大人用大便器 (和風洗出し床上給水大便器)	旧JIS G311R (注)JIS A5207改正(2014年)で和風便器の区分廃止	※陶器製ロータンク(蓋固定 ※有・無) ・フラッシュ ・リモコン洗浄 ※SUS製紙巻器 ・樹脂製紙巻器	
洋風大便器	保育所・幼稚園児用大便器 (タンク式床置幼児用節水Ⅱ形便器)	JIS C760S	※陶器製ロータンク(蓋固定 ※有・無) ・フラッシュ ・リモコン洗浄 ※暖房便座 ・普通便座 ・SUS製紙巻器 ※樹脂製紙巻器	
	小中学生、大人用大便器 (タンク式床置サレ節水Ⅱ形便器)	JIS C1200S	※陶器製ロータンク(蓋固定 ※有・無) ・フラッシュ ◎リモコン洗浄 ◎温水洗浄便座 ※暖房便座 ・普通便座(蓋付ソフト閉止) ※SUS製紙巻器 ・樹脂製紙巻器	
小便器	保育所・幼稚園児用小便器 (幼児用小便器)	グリップ付壁掛け U310GY (TOTO品番指定)	※押ボタン式洗浄 ・自動洗浄 (乾電池式)	
	小中学生、大人用小便器 (専用洗浄弁式壁掛小便器大形)	JIS U620	・押ボタン式洗浄 ※自動洗浄 (自己発電式)	
	学校用水石鹸入れ	(株)アルマース製	※JACM トルネードセット P-〇 容量1L (アルマース石鹸液IG-N用)	

JIS S 0026 : 2007公共トイレにおける便房内操作部の形状、色、配置及び器具の配置

便器洗浄ボタンの紙巻器との垂直距離(Y₃)がこの規格に示す設置寸法(約100~200mm)以外となる場合の配置例

X₁: 便器前方へ約0~100
X₂: 便器後方へ約100~200
X₃: 約200~300
Y₁: 便器上方へ約150~400
Y₂: 便器上方へ約400~550
Y₃: 約100~200

Y₃: 約200~300

Y₃: 約200~250

JIS S 0026 表1
操作部及び紙巻器の配置及び設置寸法

JIS S 0026 解説図 2-2
手すりを設置する場合

JIS S 0026 解説図 2-2
棚付紙巻器を設置する場合

紙巻器取付け高さ参考図 (※カッコ内寸法は低学年用)

	和風大便器		洋風大便器		洋風大便器(手摺り有り)	
	小学校・大人用(保育所・幼稚園)	保育所・幼稚園	小中学校・大人用	保育所・幼稚園	小中学校・大人用	
平面図						
正面図						
側面図						

『参考』衛生器具の取付け高さ (幼稚園・小学校・中学校)

洗面器(床面より前縁上端まで)	鏡(床面より鏡下端まで)
幼稚園: 500mm 小学校: 600~650mm 中学校・一般: 750mm 障害者用トイレ: 760mm	幼稚園: 800mm 小学校: 900mm 中学校・一般: 1000mm (※標仕1400~1500鏡中心まで) 障害者用トイレ: 800mm

※福まち条例: 洗面器上端部にできるだけ近い位置を鏡の下端とし
上方へ100cm以上の高さで設置すること
※配管バツの高さは建築と十分に調整すること (原則として鏡下端-100mm)

水栓 (廊下手洗い) ステンレス流しは建築工事のため確認すること

※掃除流し台は、工事フタ(ビス止 取外し式)付きとする。
※各水栓は節水こまどとする

小学校手洗い流し台
掃除用流し台
中学校手洗い流し台
排水トラップ T14AA-K (50A)
排水トラップ(横引) OSNK-AA (40A)

衛生器具表 (※特に表記なき器具はトラップ付とする)

名称	参考品番	設置場所														備考
		合計	1階			2階			その他							
		女子便所	男子便所	多機能便所	湯沸室1	湯沸室2	女子便所	男子便所	多機能便所	湯沸室3	シャワー 女子	シャワー 男子	女子更衣室	男子更衣室	屋外	
洋風便器	C1200S	TOTO LIXIL BC-P20SUM DT-PA25OUCHTK CW-PA21L-NE CF-008-1 CF-63HST	1	6	5	3										ロータンク式(掃除口付)、蓋付洗浄便座(AC100V,311W) 洗浄便座リモコン(自己発電) 擬音装置付、二連紙巻器共
洋風便器	C1200S	TOTO LIXIL BC-Z30S DT-Z350 CW-PC12LQC-NECK-STG CF-008-1 CF-63HST		2				1								ロータンク式 蓋なし洗浄便座(AC100V,1260W)、洗浄便座リモコン(自己発電)、二連紙巻器共 センサー一体形(自己発電)
壁掛け小便器	U620	TOTO LIXIL U-A51MP		7		4										
洗面器		TOTO LIXIL L530 TLE28SS1W TLDP2105JA REWF03B1RSM TL347CU TN154 TH651 RHE43675 RHE43645N TS126BR TL516GR		1												壁給水、壁排水、自動水栓(自己発電) 電気温水器(3L壁掛け、AC100V,600W)、排水ホッパー、連結管共
洗面器	L511	TOTO LIXIL L103A TLE28SS1W TLDP2206JA TH500P32 REWF03B1RSM TN154 TH651 TL347CU TS126AR TL220D		2				1							3	壁給水、壁排水、自動水栓(自己発電) 電気温水器(3L壁掛け、AC100V,600W)、排水ホッパー、水石けん入れ、連結管共
コンパクトオストメイトパック		TOTO LIXIL UAS81RSB1NW UTR141		2				1								汚物流し、ロータンク(タッチスイッチ式)、シングルレバーブルアウト水栓、、水石けん入れ、電気温水器(3L壁掛け、AC100V,600W)、紙巻器、前板・甲板・側板・幅木・設置フレーム共
掃除流し	S210	TOTO LIXIL SK22A T23AEQ20C T37SGEP TN114 T9R TK22 HH04060×2		4	1	1										
化粧鏡		TOTO LIXIL YM4560A		1	3	4	2									450×600
化粧鏡		TOTO LIXIL YM6090A		2				1								600×900
散水栓/散水栓ボックス		TOTO LIXIL T28UNH13、B3-SDHL(ボックス/参考:長谷川精工所)		5										5		散水栓13mm ボックス・地上設置・ドーム型、ステンレス製、鍵付き、台座共
洗面器用カウンター(建築工事)				(9)	(2)	(1)									(1)	カウンター下収納共(建築工事)
手摺(建築工事)				(11)	(2)	(3)	(2)									
ペーパーシート(建築工事)				(1)				(1)								取付金具共
ペーパーチェア(建築工事)				(1)				(1)								取付金具共
流し台(建築工事)				(3)					(1)	(1)						水栓共(建築工事)
シャワーユニット(建築工事)				(5)							(2)	(3)				

給排水設備 機器表

記号	名称	仕様	電源			台数	設置場所	備考
			φ	V	W			
GH-1	ガス給湯器	屋外壁掛設置形 潜熱回収型 耐塩害仕様 給湯能力:16号 標準ガス消費量(都市ガス):能力最大 29.4kW リモコン、リモコンコード(10m)、配管カバー 他付属品共 ※満水時重量 26kg 固定の仕様:丸木ねじ(JIS)φ4.8×38 フィッティングラゲ SX 6×30 4本以上 H12建設省告示第1388号に規定のアンカーボルトで施工のこと	1	100	30.0	2	(2) 屋外	リモコン配線工事:本工事
GH-2	ガス給湯器	屋外壁掛設置形 潜熱回収型 耐塩害仕様 給湯能力:50号 標準ガス消費量(都市ガス):能力最大 91.9kW リモコン×2、リモコンコード(50m)、配管カバー 他付属品共 ※満水時重量 55kg 固定の仕様:丸木ねじ(JIS)φ4.8×38 フィッティングラゲ SX 6×30 4本以上 H12建設省告示第1388号に規定のアンカーボルトで施工のこと	1	100	72.0	1	(1) 屋外(シャワールーム女子系統)	リモコン配線工事:本工事
GH-3	ガス給湯器	屋外壁掛設置形 潜熱回収型 耐塩害仕様 給湯能力:50号 標準ガス消費量(都市ガス):能力最大 91.9kW リモコン、リモコンコード(50m)、配管カバー 他付属品共 ※満水時重量 55kg 固定の仕様:丸木ねじ(JIS)φ4.8×38 フィッティングラゲ SX 6×30 4本以上 H12建設省告示第1388号に規定のアンカーボルトで施工のこと	1	100	72.0	1	(1) 屋外(シャワールーム男子系統)	リモコン配線工事:本工事

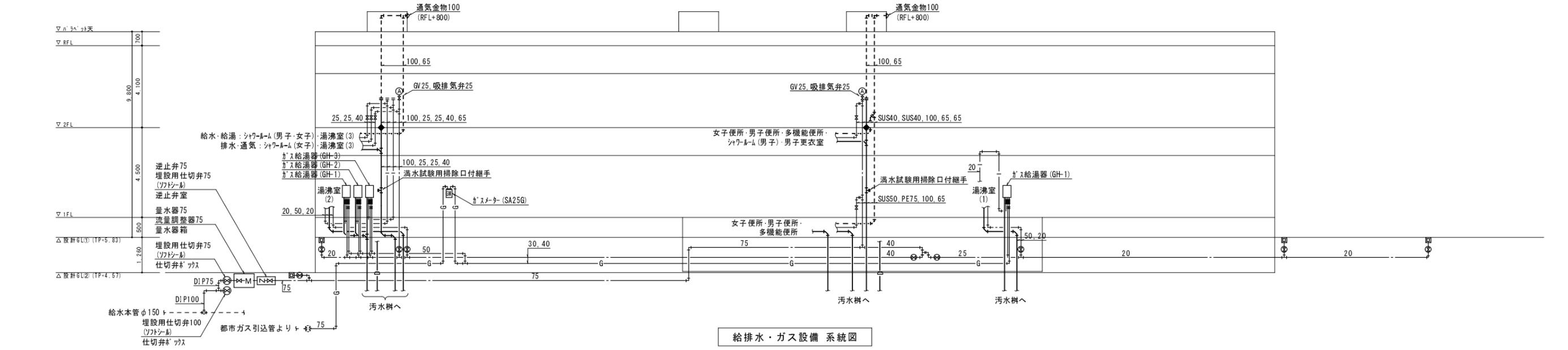
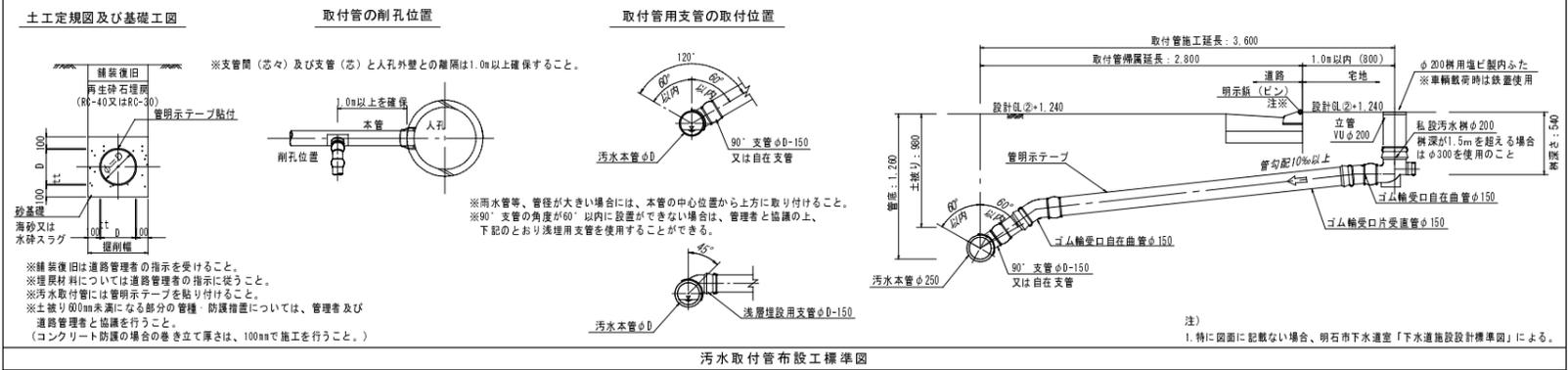
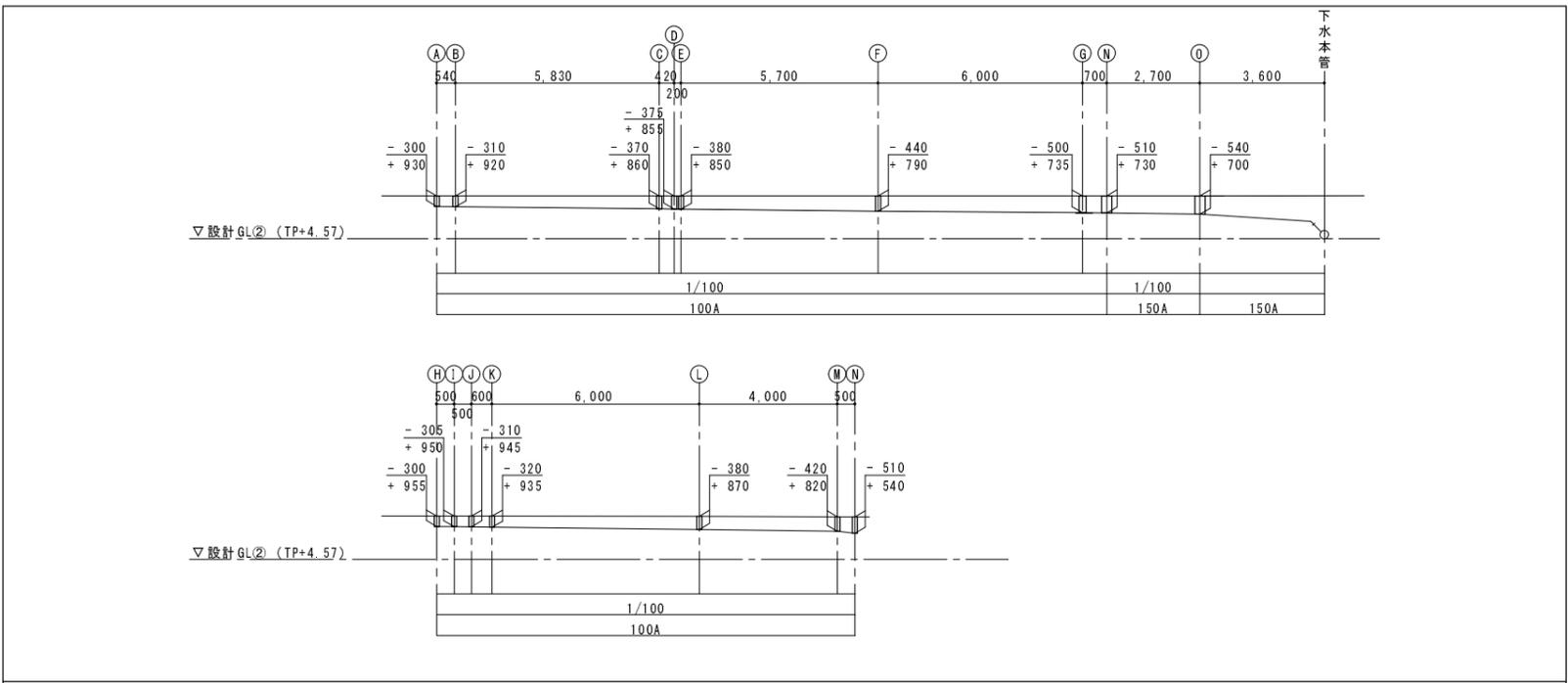
樹リスト

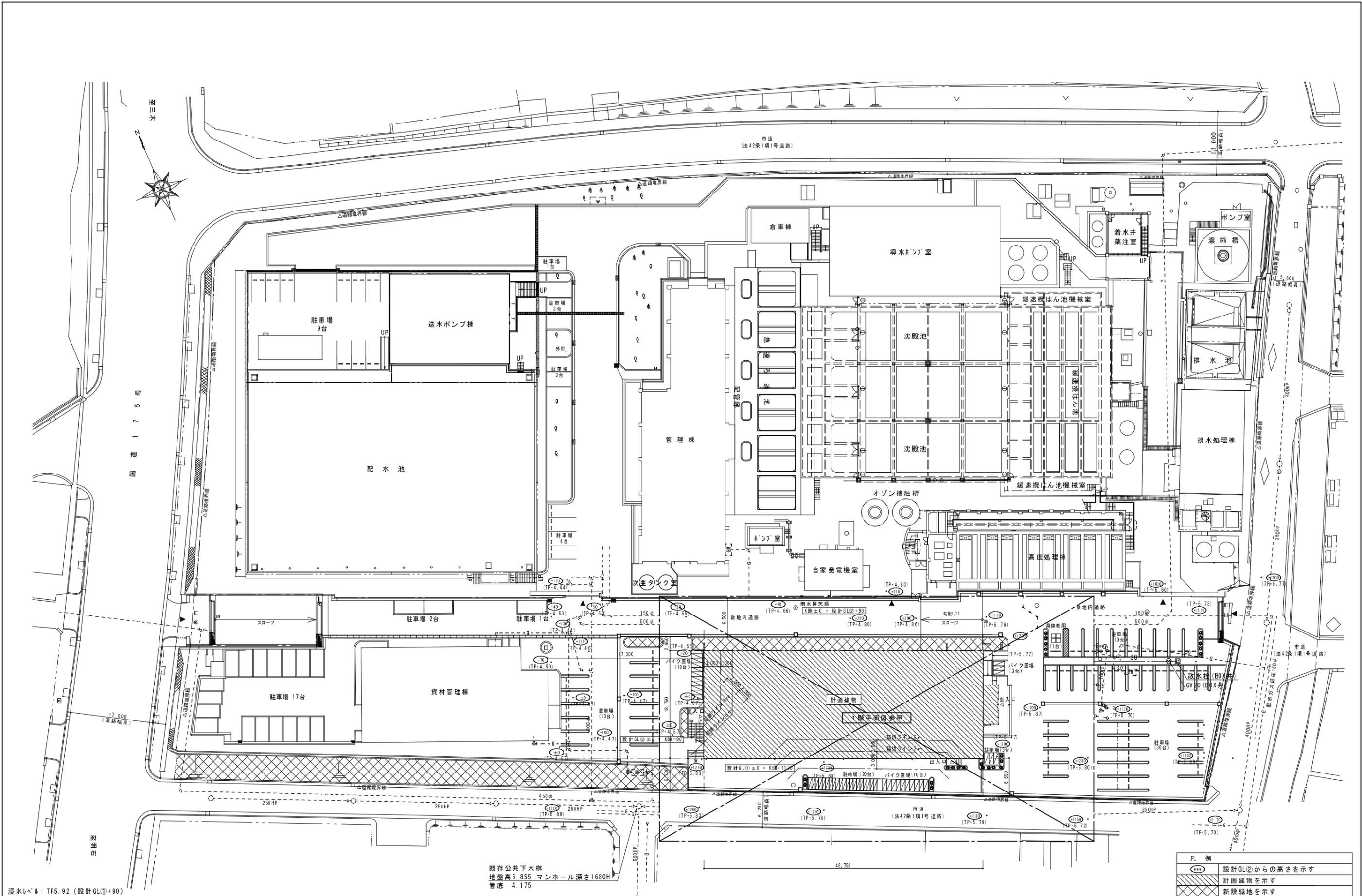
記号	名称	サイズ	参考深さ			蓋	備考
			設計GL②より		地盤面より		
			高低差	深さ			
A	汚水小口径樹	90L 100A-150φ	+1,230	+930	-300	樹脂製密閉蓋	
B	汚水小口径樹	90Y 100A-150φ	+1,230	+920	-310	樹脂製密閉蓋	
C	汚水小口径樹	90Y 100A-150φ	+1,230	+860	-370	樹脂製密閉蓋	空調ドレン管接続用
D	汚水小口径樹	90Y 100A-150φ	+1,230	+855	-375	樹脂製密閉蓋	
E	汚水小口径樹	90Y 100A-150φ	+1,230	+850	-380	樹脂製密閉蓋	
F	汚水小口径樹	90Y 100A-150φ	+1,230	+790	-440	樹脂製密閉蓋	
G	汚水小口径樹	45L 100A-150φ	+1,235	+735	-500	樹脂製密閉蓋	
H	汚水小口径樹	90L 100A-150φ	+1,255	+955	-300	樹脂製密閉蓋	
I	汚水小口径樹	90Y 100A-150φ	+1,255	+950	-305	樹脂製密閉蓋	空調ドレン管接続用
J	汚水小口径樹	90Y 100A-150φ	+1,255	+945	-310	樹脂製密閉蓋	
K	汚水小口径樹	90Y 100A-150φ	+1,255	+935	-320	樹脂製密閉蓋	
L	汚水小口径樹	ST 100A-150φ	+1,250	+870	-380	樹脂製密閉蓋	
M	汚水小口径樹	90Y 150A-200φ	+1,240	+820	-420	樹脂製密閉蓋	
N	汚水小口径樹	45Y 150A-200φ	+1,240	+730	-510	樹脂製密閉蓋	
O	汚水小口径樹	ST 150A-200φ	+1,240	+700	-540	樹脂製密閉蓋	敷地最終樹

浸水レベル: TP5.92 (設計GL①+90)
設計GL①: TP+5.83
設計GL②: TP+4.57

凡 例						
記 号	名 称	適 用	種 別	規 格 番 号	通 称 名	使 用 区 分
---	給水管	●	ダクタイル鉄管 (G X形)	JIS G 5526	DIP	給水引込部～量水器まで
		●	水道用ポリエチレン管 (20A~40A)	JIS G 6762 PP		屋外地中埋設部、ビット内
		●	水道用ポリエチレン管 (50A、75A)	JWWA K 114 PE		屋外地中埋設部、ビット内
		●	一般配管用ステンレス鋼管 (拡管式)	JIS G 3448	SUS	ビット内・屋内一般・屋外露出
I	給湯管	○	耐衝撃性硬質塩化ビニル管	JIS K 6742	HIVP	住戸内コロガシ配管
		●	一般配管用ステンレス鋼管 (拡管式)	JIS G 3448	SUS	ビット内・屋内一般・屋外露出
		○	耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 140	HVA	ビット内・屋内一般・屋外露出
---	汚水・雑排水管	●	耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 (外面被覆)	JWWA K 140	WHTLP	屋外地中埋設部
		●	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	VP	ビット内・屋内一般・屋外露出
		○	耐火二層管			防火区画対象部分、立管
-----	通気管	●	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	VP	ビット内・屋内一般・屋外露出
		○	耐火二層管			防火区画対象部分、縦管
---	屋外排水管	●	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	VP	屋外地中埋設部
		○	遠心力鉄筋コンクリート管 (B形)	JIS A 5372	HP	公道内埋設部分
G	ガス管	●	配管用炭素鋼管 (白)	JIS G 3452	SGP-ZN	土中埋設部以外の屋内・外配管
		●	ポリエチレン外面被覆鋼管	JIS G 3469		土中埋設部
↕	仕切弁	●	ゲートバルブ	JIS5K、10K		直圧部:10K、その他の部分:5K
↕	逆止弁	●	チャッキバルブ	JIS10K		
⊠	可とう継手	●	ステンレス製フレキシブルジョイント			
⊙	吸排気弁	●				
⊙	床上掃除口	●	非防水用、防水層用		COV (SUS)	
⊙	床下掃除口	●			COC	
↑	通気口	●	露出形、アルミ合金製			

注記
 ◆ 防火区画貫通部の耐火処理を示す (認定工法により施工のこと)
 ・ 100A未満の排水管 (VP) については、平12建告1422号の規定による貫通とする

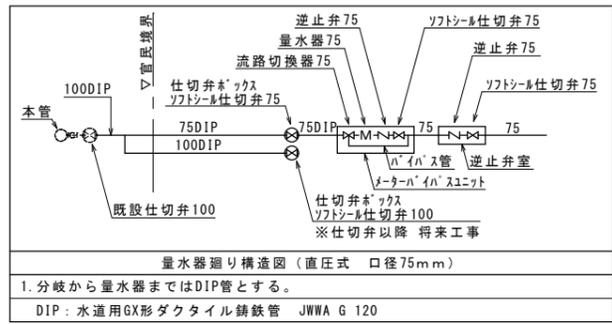




浸水レベル: TP5.92 (設計GL①+90)
 設計GL①: TP+5.83
 設計GL②: TP+4.57

既存公共下水樹
 地盤高5.855 マンホール深さ1680H
 管底 4.175

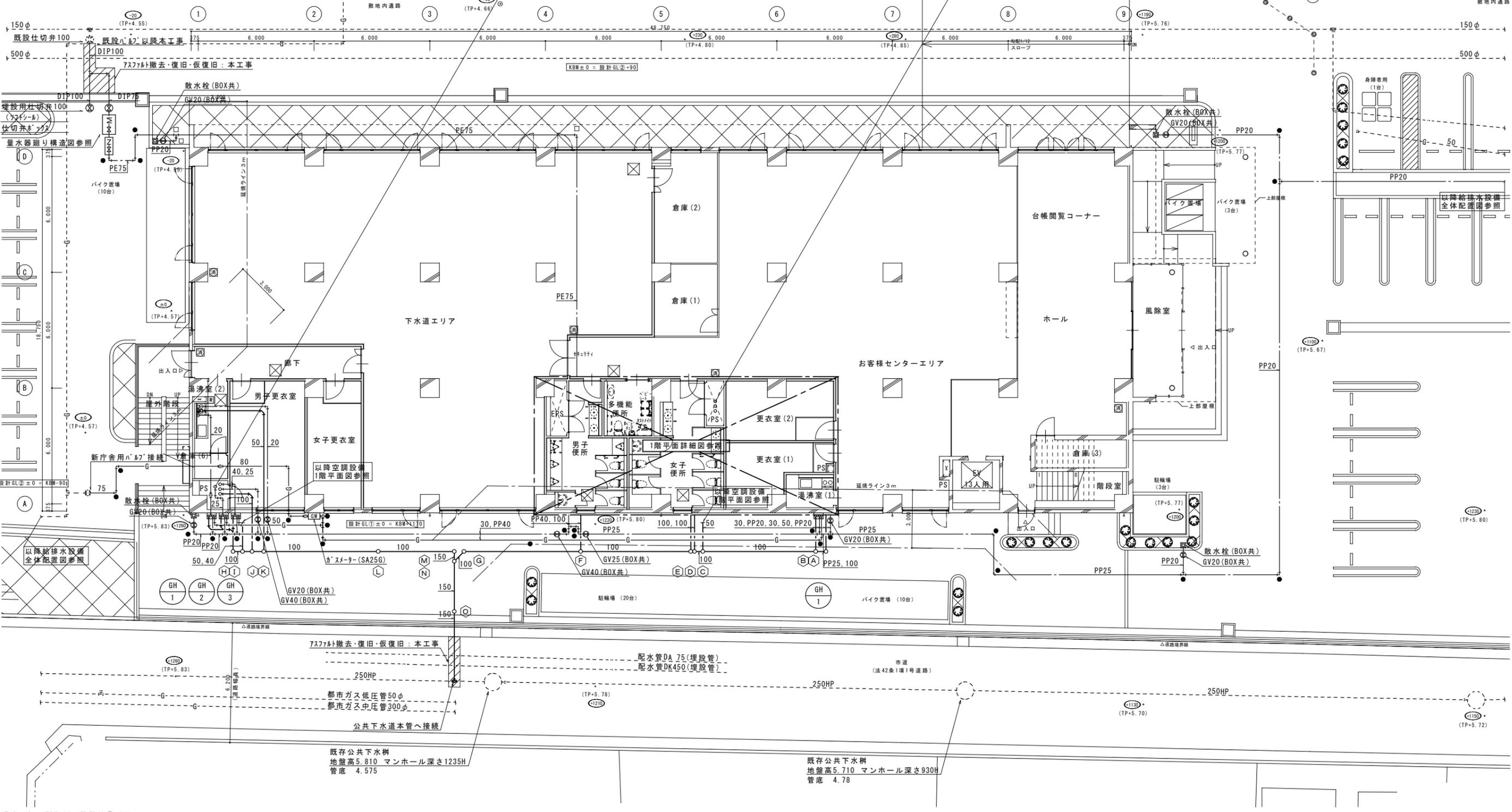
凡例	
●●●	設計GL②からの高さを示す
▨	計画建物を示す
▧	新設緑地を示す



給湯器(GH-1)廻り配管部材	
給水:	逆止弁付ホース弁20, FJ20×300L
給湯:	FJ20×300L
ガス:	可とう管コック, 可とう管
排水:	ドレン配管間接排水75ブザー 25 ドレン配管トラップ 25

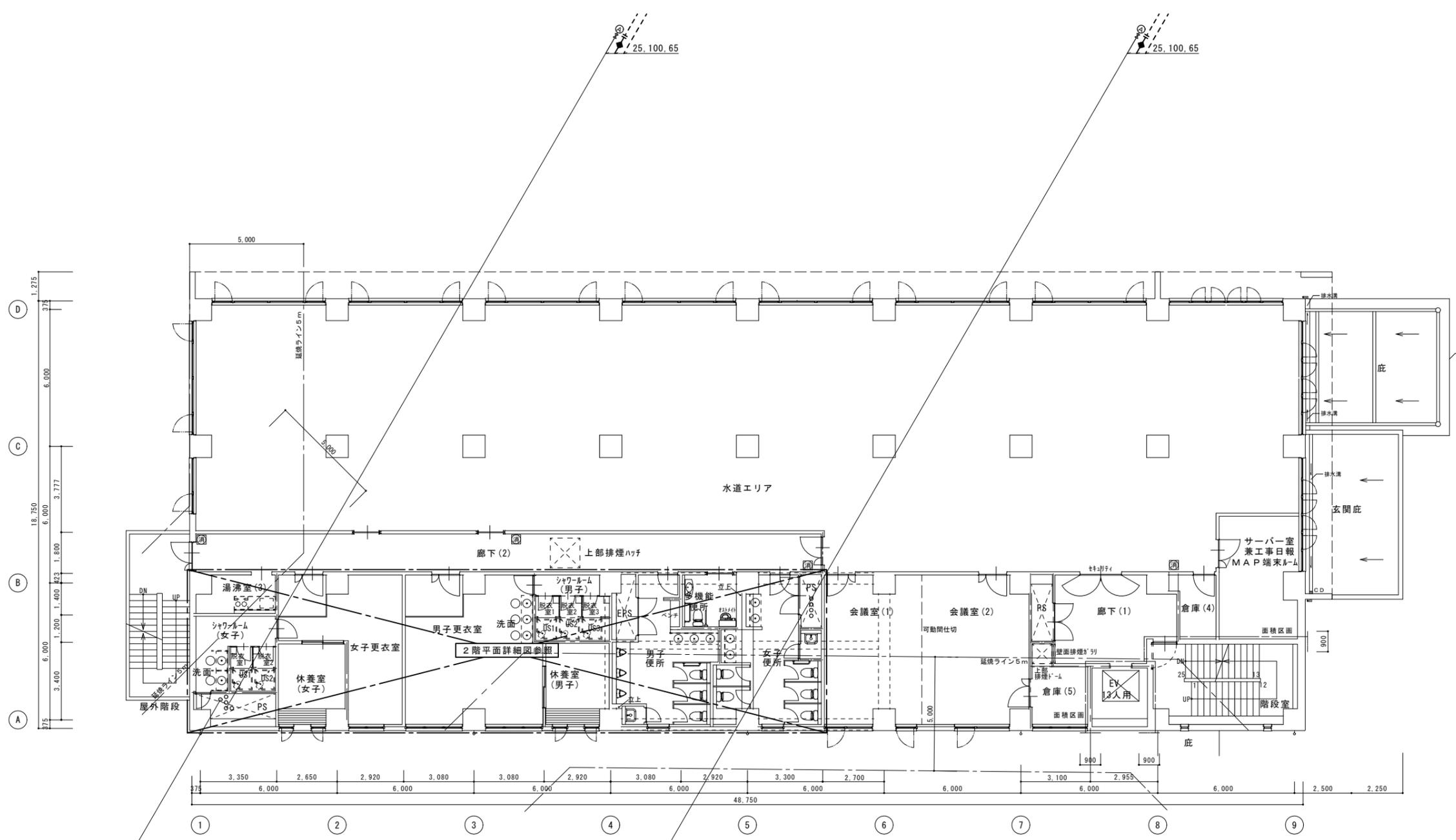
給湯器(GH-2)廻り配管部材	
給水:	逆止弁付ホース弁25, FJ25×300L
給湯:	FJ25×300L
ガス:	可とう管コック, 可とう管
排水:	ドレン配管間接排水75ブザー 25 ドレン配管トラップ 25

注記	
◆	防火区画貫通部の耐火処理を示す(認定工法により施工のこと)
・	100A未満の排水管(VP)については, 平12建告1422号の規定による貫通とする
・	管種の記載なき給水管は一般配管用ステンレス鋼管とする
□	地中埋設標(コンクリート製)を示す
●	地中埋設標(鉄製)を示す



浸水レベル: TP5.92 (設計GL①+90)
 設計GL①: TP+5.83
 設計GL②: TP+4.57

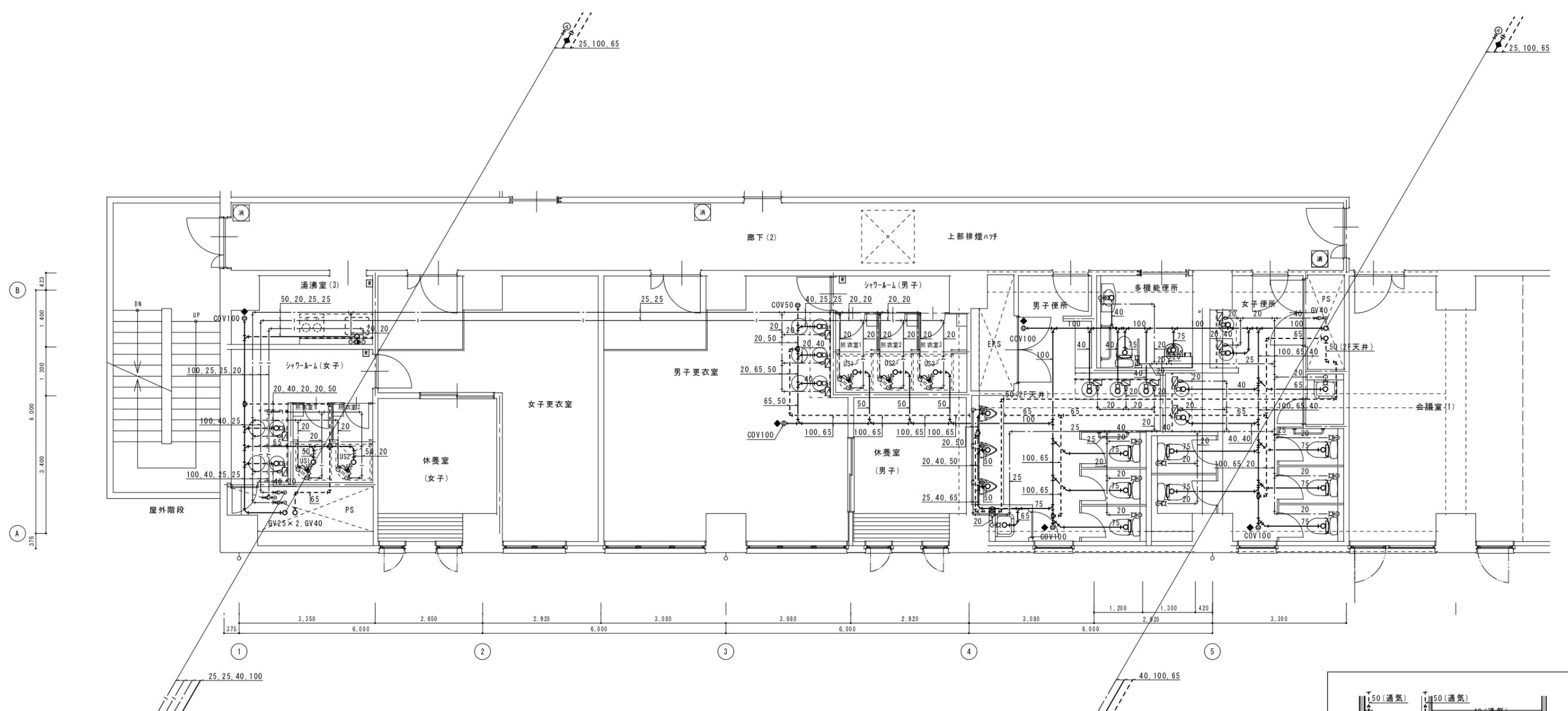
1階平面図 1/100



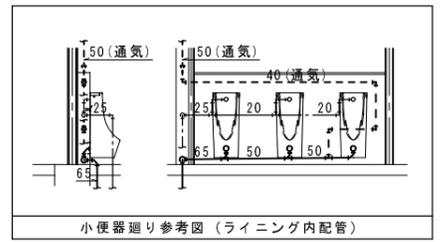
2階平面図 1/100

注記	
◆	防火区画貫通部の耐火処理を示す(認定工法により施工のこと)
・	100A未満の排水管(VP)については、平12建告1422号の規定による貫通とする
・	管種の記載なき給水管は一般配管用ステンレス鋼管とする

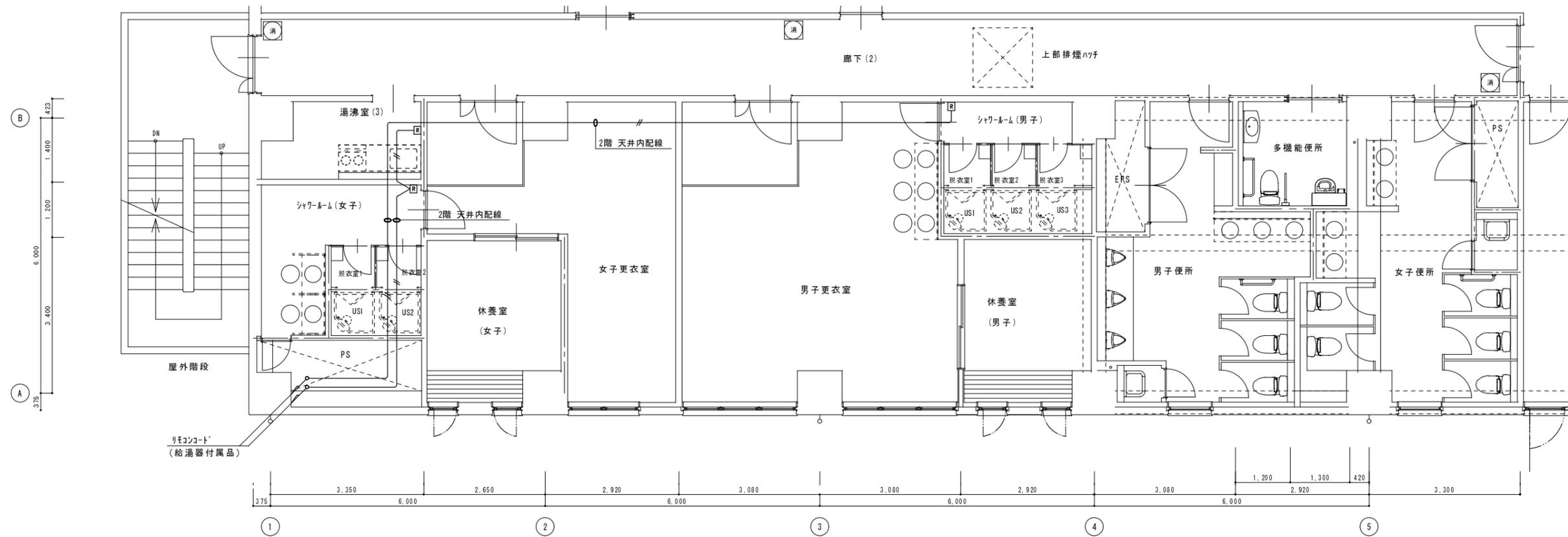
特記事項	株式会社 総合設計 一級建築士事務所 広島県知事登録 20(1)第3394号 管理建築士(大臣) 第335100号 山本 裕一	製作者 明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日 2025年 8月	工事名称 (仮称)上下水道庁舎建設工事	当初・変更・完成
				図面名称 上下水道庁舎 給排水設備 2階平面図	図番 M-10
				縮尺 1/100	



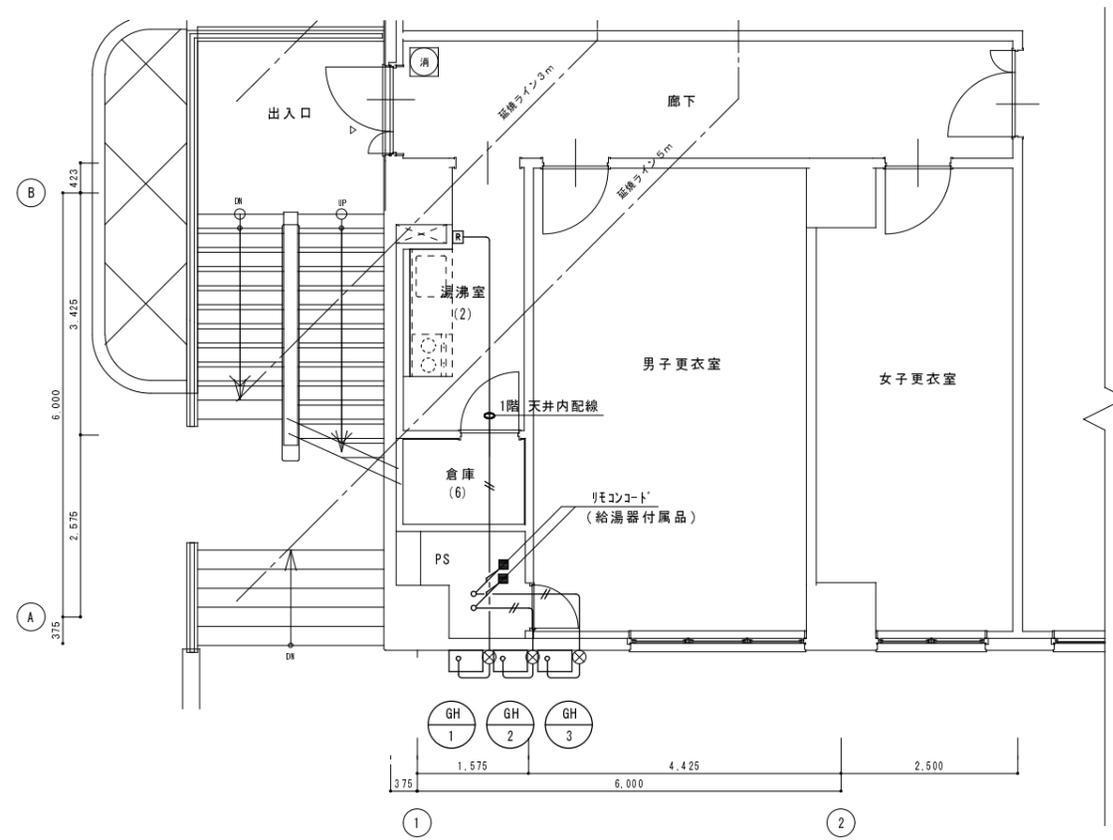
2階平面詳細図 1/50



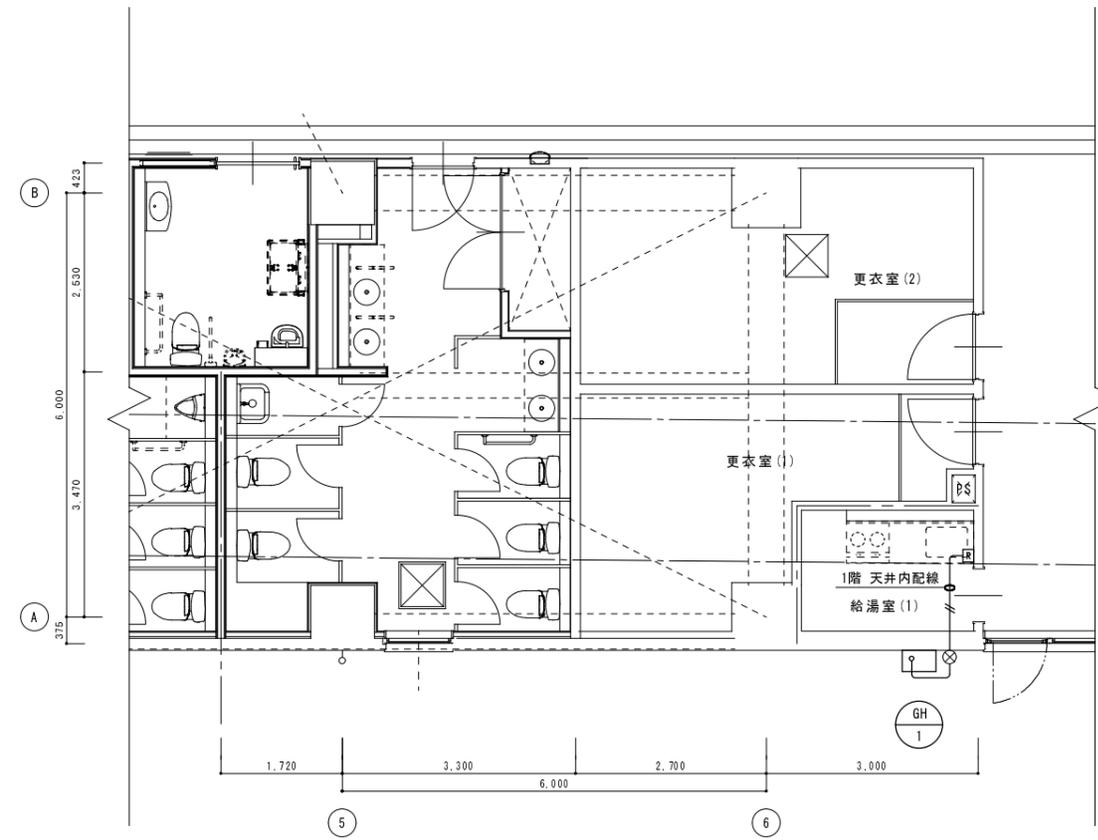
注記
◆ 防火区画貫通部の耐火処理を示す (認定工法により施工のこと)
・ 100A未満の排水管 (VP) については、平12建告1422号の規定による貫通とする
・ 管種の記載なき給水管は一般配管用ステンレス鋼管とする
□ 給湯器リモコンを示す



2階平面詳細図 1/50



1階平面詳細図 1/50



- 【凡例】
- 図中特記なき配線・配管は下記による
 - 給湯リモコン配線(付属品)
 - 防雨入線カバー(スイッチボックス共)
 - 給湯リモコン(付属品)(スイッチボックス共)
 - 防火区画貫通処理を示す
- ・天井内はコロガシ配線、PS内露出部はE管、壁内はP管内配線とする

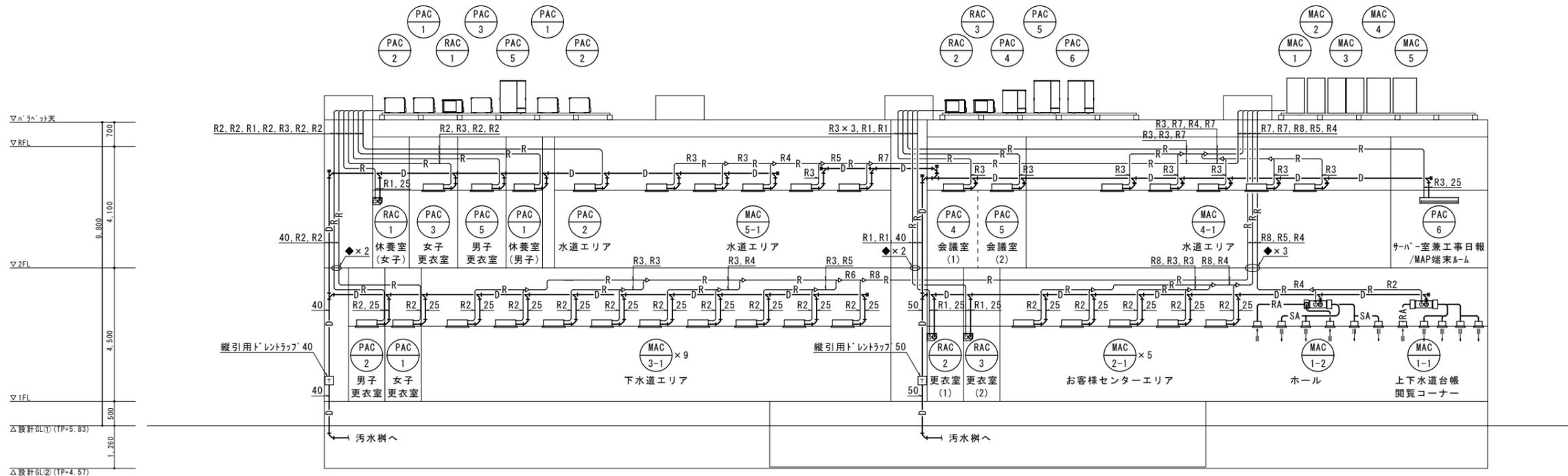
空調設備 機器表

記号	名称	仕様	電源				台数	設置場所	備考
			φ	V	kW				
					冷房	暖房			
MAC-1	空冷ヒートポンプ マルチエアコン (室外機)	高効率タイプ R32冷媒 冷暖切替 高効率タイプ ※耐塩害仕様 冷房能力：22.4kW 暖房能力：25.0kW 分岐管、内外連絡配線、防振架台 他付属品共	3	200	5.11	5.49	1	(1) 屋上 室外機スペース	
MAC-1-1	空冷ヒートポンプ マルチエアコン (室内機)	天井埋込形 冷房能力：4.5kW 暖房能力：5.0kW 振れ止め金物、リモコン配線 他付属品共	1	200	0.10	0.10	1	(1) 1F 上下水道台帳閲覧コーナー	
MAC-1-2	空冷ヒートポンプ マルチエアコン (室内機)	天井埋込形 冷房能力：7.1kW 暖房能力：8.0kW 振れ止め金物、リモコン配線 他付属品共	1	200	0.15	0.15	1	(1) 1F ホール	
MAC-2	空冷ヒートポンプ マルチエアコン (室外機)	高効率タイプ R32冷媒 冷暖切替 高効率タイプ ※耐塩害仕様 冷房能力：28.0kW 暖房能力：31.5kW 分岐管、内外連絡配線、防振架台 他付属品共	3	200	7.42	7.73	1	(1) 屋上 室外機スペース	
MAC-2-1	空冷ヒートポンプ マルチエアコン (室内機)	天井吊り形 4方向吹出 冷房能力：4.5kW 暖房能力：5.0kW 化粧パネル（人感センサー付）、振れ止め金物、リモコン配線 他付属品共	1	200	0.02	0.02	5	(5) 1F お客様センターエリア	
MAC-3	空冷ヒートポンプ マルチエアコン (室外機)	高効率タイプ R32冷媒 冷暖切替 高効率タイプ ※耐塩害仕様 低騒音モード搭載 冷房能力：56.0kW 暖房能力：63.0kW 分岐管、内外連絡配線、防振架台 他付属品共	3	200	14.1	15.0	1	(1) 屋上 室外機スペース	
MAC-3-1	空冷ヒートポンプ マルチエアコン (室内機)	天井吊り形 4方向吹出 冷房能力：4.5kW 暖房能力：5.0kW 化粧パネル（人感センサー付）、振れ止め金物、リモコン配線 他付属品共	1	200	0.02	0.02	9	(9) 1F 下水道エリア	
MAC-4	空冷ヒートポンプ マルチエアコン (室外機)	高効率タイプ R32冷媒 冷暖切替 高効率タイプ ※耐塩害仕様 低騒音モード搭載 冷房能力：40.0kW 暖房能力：45.0kW 分岐管、内外連絡配線、防振架台 他付属品共	3	200	10.6	11.6	1	(1) 屋上 室外機スペース	
MAC-4-1	空冷ヒートポンプ マルチエアコン (室内機)	天井吊り形 4方向吹出 冷房能力：7.1kW 暖房能力：8.0kW 化粧パネル（人感センサー付）、振れ止め金物、リモコン配線 他付属品共	1	200	0.05	0.05	5	(5) 2F 水道エリア	
MAC-5	空冷ヒートポンプ マルチエアコン (室外機)	高効率タイプ R32冷媒 冷暖切替 高効率タイプ ※耐塩害仕様 低騒音モード搭載 冷房能力：45.0kW 暖房能力：50.0kW 分岐管、内外連絡配線、防振架台 他付属品共	3	200	13.7	13.3	1	(1) 屋上 室外機スペース	
MAC-5-1	空冷ヒートポンプ マルチエアコン (室内機)	天井吊り形 4方向吹出 冷房能力：7.1kW 暖房能力：8.0kW 化粧パネル（人感センサー付）、振れ止め金物、リモコン配線 他付属品共	1	200	0.05	0.05	5	(5) 2F 水道エリア	
	マルチエアコン用 ワイヤードリモコン	手元リモコン 液晶表示 運転モード切替・室温設定・異常表示・タイマー運転操作 ほか	1				17	(1) (MAC-1系統) (3) (MAC-2系統) (5) (MAC-3系統) (3) (MAC-4系統) (5) (MAC-5系統)	

記号	名称	仕様	電源				台数	設置場所	備考
			φ	V	kW				
					冷房	暖房			
PAC-1	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	天井吊り形 4方向吹出 高効率タイプ ※耐塩害仕様 冷房能力：3.6(1.5~4.0)kW 暖房能力：4.0(1.0~5.2)kW 化粧パネル（人感センサー付）、ワイヤードリモコン、集中管理接続用アダプタ、 振れ止め金物、リモコン配線 他付属品共	3	200	0.62	0.71	2	(1) 1F 女子更衣室 (1) 2F 休養室(男子)	
PAC-2	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	天井吊り形 4方向吹出 高効率タイプ ※耐塩害仕様 冷房能力：4.5(1.5~5.0)kW 暖房能力：5.0(1.3~6.6)kW 化粧パネル（人感センサー付）、ワイヤードリモコン、集中管理接続用アダプタ、 振れ止め金物、リモコン配線 他付属品共	3	200	0.88	0.97	2	(1) 1F 男子更衣室 (1) 2F 水道エリア	
PAC-3	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	天井吊り形 4方向吹出 高効率タイプ ※耐塩害仕様 冷房能力：5.6(1.6~6.3)kW 暖房能力：6.3(1.6~8.0)kW 化粧パネル（人感センサー付）、ワイヤードリモコン、集中管理接続用アダプタ、 振れ止め金物、リモコン配線 他付属品共	3	200	1.28	1.34	1	(1) 2F 女子更衣室	
PAC-4	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	天井吊り形 4方向吹出 高効率タイプ ※耐塩害仕様 冷房能力：7.1(1.9~8.0)kW 暖房能力：8.0(2.0~10.8)kW 化粧パネル（人感センサー付）、ワイヤードリモコン、集中管理接続用アダプタ、 振れ止め金物、リモコン配線 他付属品共	3	200	1.68	1.76	1	(1) 2F 会議室(1)	
PAC-5	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	天井吊り形 4方向吹出 高効率タイプ ※耐塩害仕様 冷房能力：10.0(2.7~11.2)kW 暖房能力：11.2(2.8~14.0)kW 化粧パネル（人感センサー付）、ワイヤードリモコン、集中管理接続用アダプタ、 振れ止め金物、リモコン配線 他付属品共	3	200	2.21	2.22	2	(1) 2F 会議室(2) (1) 2F 男子更衣室	
PAC-6	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	天吊り形 高効率タイプ ※耐塩害仕様 冷房能力：12.5(3.2~14.0)kW 暖房能力：14.0(3.5~18.2)kW ドレンアップキット、ワイヤードリモコン、集中管理接続用アダプタ、 リモコン配線 他付属品共	3	200	3.75	3.85	1	(1) 2F サーバー室兼工事日報 MAP端末ルーム	
RAC-1	空冷ヒートポンプ ルームエアコン	壁掛形 ※耐塩害仕様 冷房能力：2.2(0.6~3.4)kW 暖房能力：2.5(0.6~5.2)kW ワイヤードリモコン、リモコンホルダー、ドレンアップキット、 集中管理接続用アダプタ 他付属品共	1	100	0.425	0.465	1	(1) 2F 休養室(女子)	
RAC-2	空冷ヒートポンプ ルームエアコン	壁掛形 ※耐塩害仕様 冷房能力：2.8(0.6~4.2)kW 暖房能力：3.6(0.6~6.9)kW ワイヤードリモコン、リモコンホルダー、ドレンアップキット、 集中管理接続用アダプタ 他付属品共	1	100	0.58	0.71	1	(1) 1F 更衣室(1)	
RAC-3	空冷ヒートポンプ ルームエアコン	壁掛形 ※耐塩害仕様 冷房能力：3.6(0.6~4.3)kW 暖房能力：4.2(0.6~6.9)kW ワイヤードリモコン、リモコンホルダー、ドレンアップキット、 集中管理接続用アダプタ 他付属品共	1	100	0.82	0.91	1	(1) 1F 更衣室(2)	
CR-1	システムコントローラー	R32冷媒機種対応 管理台数：50台 年間/週間スケジュール機能 運転/停止・運転モード・設定温度・室温表示・風速・風向操作 ほか ※ルームエアコンも集中管理リモコンへ取り込むこと			AC100V-22W		1	(1) 1F ホール	

※ 室内機と室外機との連絡配線及び渡り配線は本工事に含む
 ※ 各空調機器メーカーにより制御配線内容や必要別売品など仕様が異なるが、設計内容と同等の仕様とすること
 ※ 空調設備の定格能力、定格消費電力は パッケージエアコン：JIS B 8616、ルームエアコン：JIS C 9612 による

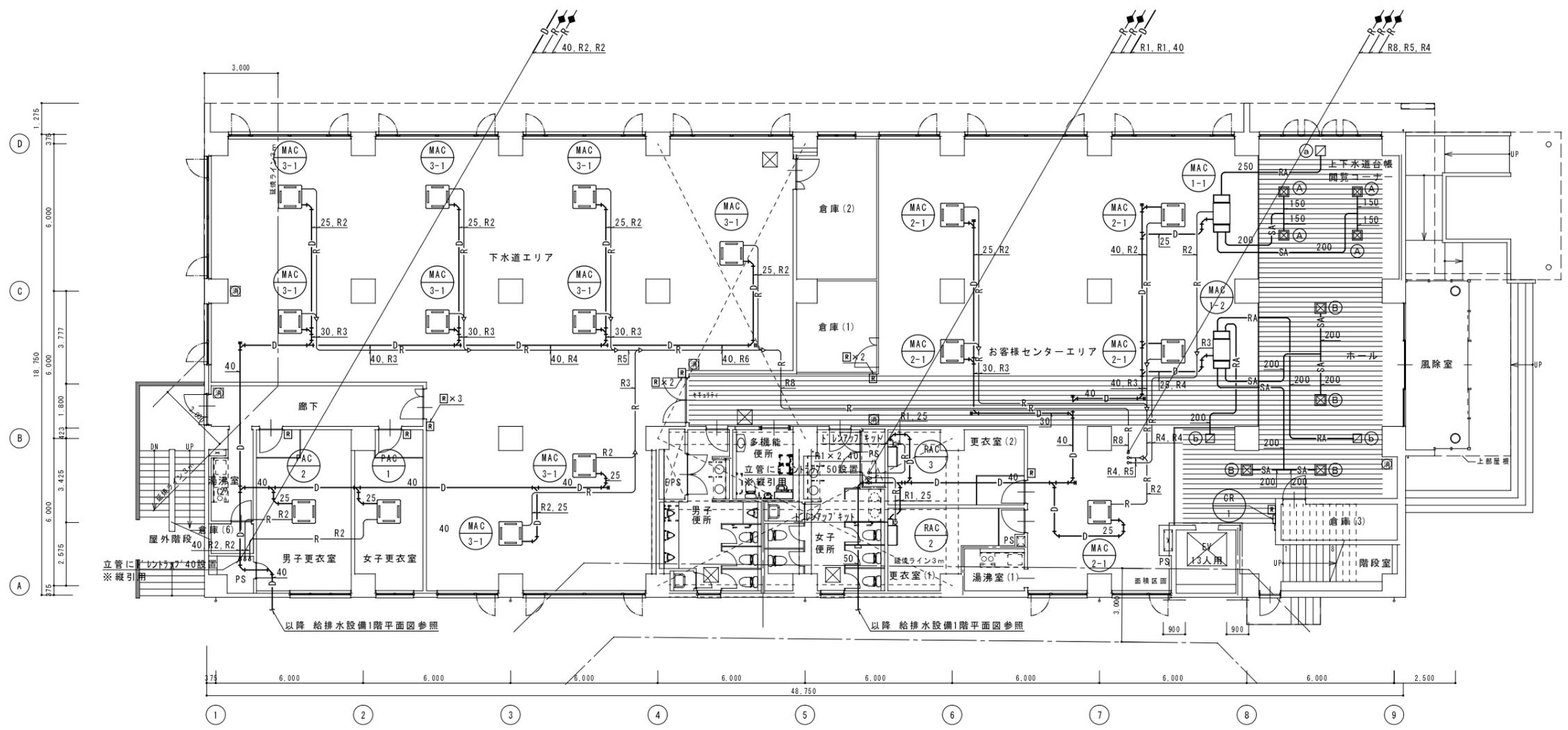
凡 例						
記 号	名 称	適用	種 別	規 格 番 号	通 称 名	使 用 区 分
— R —	空調冷媒管	●	冷媒用断熱材被覆銅管	JCDA 0009		液管10mm保温/ガス管20mm保温
— D —	空調ドレン管	●	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	VP	
—	円形ダクト	●	スパイラルダクト (重鉛メッキ鋼板)	JIS G 3302		0.5mm、特記: 0.8mm
—	床下掃除口	●			COC	



空調設備 系統図

No	冷媒配管サイズ	内外連絡配線 (PAC)
R1	6.35φ / 9.52φ	※パッケージエアコンの場合、以下の内外連絡配線を共巻きすること
R2	6.35φ / 12.7φ	
R3	9.52φ / 15.88φ	
R4	9.52φ / 19.05φ	
R5	9.52φ / 22.2φ	EM-EEF2.0-3C, EM-1E2.0
R6	12.7φ / 25.4φ	
R7	12.7φ / 28.58φ	
R8	15.88φ / 28.58φ	

- 注記
- 冷媒配管の保温厚は、液管10mm/ガス管20mmとする
 - 空調ドレン管はVP管とする
 - パッケージエアコンの内外連絡配線は冷媒管共巻とする
 - ビル用マルチエアコンの制御配線はM-19~M-21を参照する
 - ビル用マルチエアコンの電源線・アース線は電気設備工事とする
 - 室内機は地震時に落下などのないよう、振れ止め措置を行うこと
 - 防火区画貫通部の耐火処理を示す (認定工法により施工のこと)
- ◆ 防火区画貫通部の耐火処理を示す (認定工法により施工のこと)
- ドレン管 (VP) については、平12建告1422号の規定による貫通とする



制気口リスト		数量
A : 吹出口		
シーリングタイプ		
角型 E2 (結露防止カバー付) #20		4
風量 210 m ³ /h		
BOX -		

B : 吹出口		数量
シーリングタイプ		
角型 E2 (結露防止カバー付) #25		4
風量 285 m ³ /h		
BOX -		

a : 吸込口		数量
HS 400 × 400		
風量 840 m ³ /h		1
BOX 500 × 500 × 350H		

b : 吸込口		数量
HS 350 × 350		
風量 570 m ³ /h		2
BOX 450 × 450 × 300H		

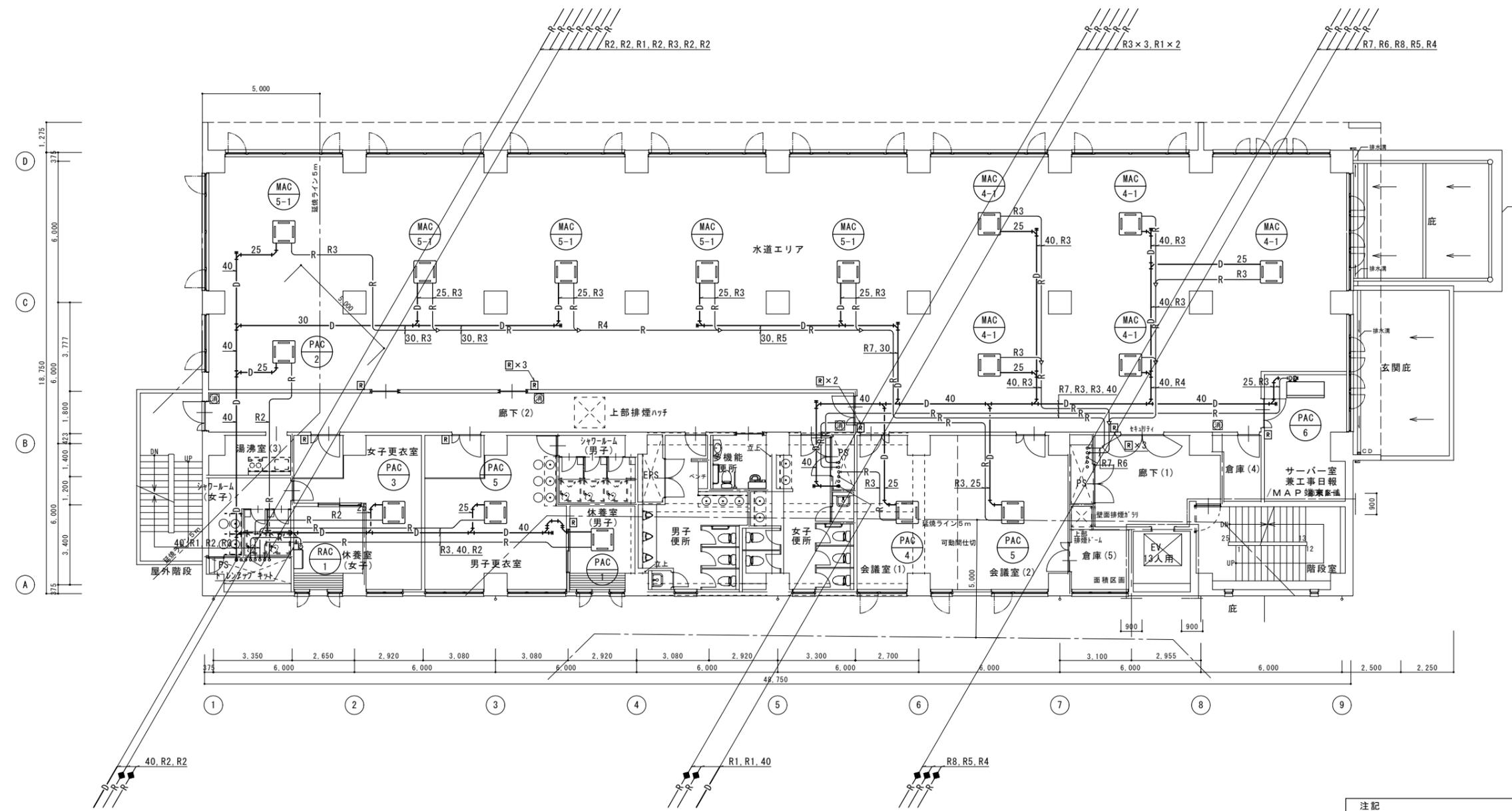
MAC-1-1		数量
ファン-BOX (SA) 650 × 300 × 350H		1
GW50t内貼		
ファン-BOX (RA) 650 × 300 × 350H		1

MAC-1-2		数量
ファン-BOX (SA) 650 × 300 × 350H		1
GW50t内貼		
ファン-BOX (RA) 650 × 300 × 350H		1

冷媒配管・内外連絡配線リスト		
No	冷媒配管サイズ	内外連絡配線 (PAC)
R1	6.35φ / 9.52φ	※パッケージエアコンの場合、以下の内外連絡配線を共巻すること
R2	6.35φ / 12.7φ	
R3	9.52φ / 15.88φ	
R4	9.52φ / 19.05φ	
R5	9.52φ / 22.2φ	EM-EEF2 0-30, EM-1E2.0
R6	12.7φ / 25.4φ	
R7	12.7φ / 28.58φ	
R8	15.88φ / 28.58φ	

1階平面図 1/100

- 注記
- 冷媒配管の保温厚は、液管10mm/ガス管20mmとする
 - 空調ドレン管はVP管とする
 - パッケージエアコンの内外連絡配線は冷媒管共巻とする
 - ビル用マルチエアコンの制御配線はM-19-M-21を参照する
 - ビル用マルチエアコンの電源線・アース線は電気設備工事とする
 - 室内機は地震時に落下などのないよう、振れ止め措置を行うこと
- ワイヤードリモコンを示す
 ◆ 防火区画貫通部の耐火処理を示す (認定工法により施工のこと)
 ドレン管 (VP) については、平12建告1422号の規定による貫通とする

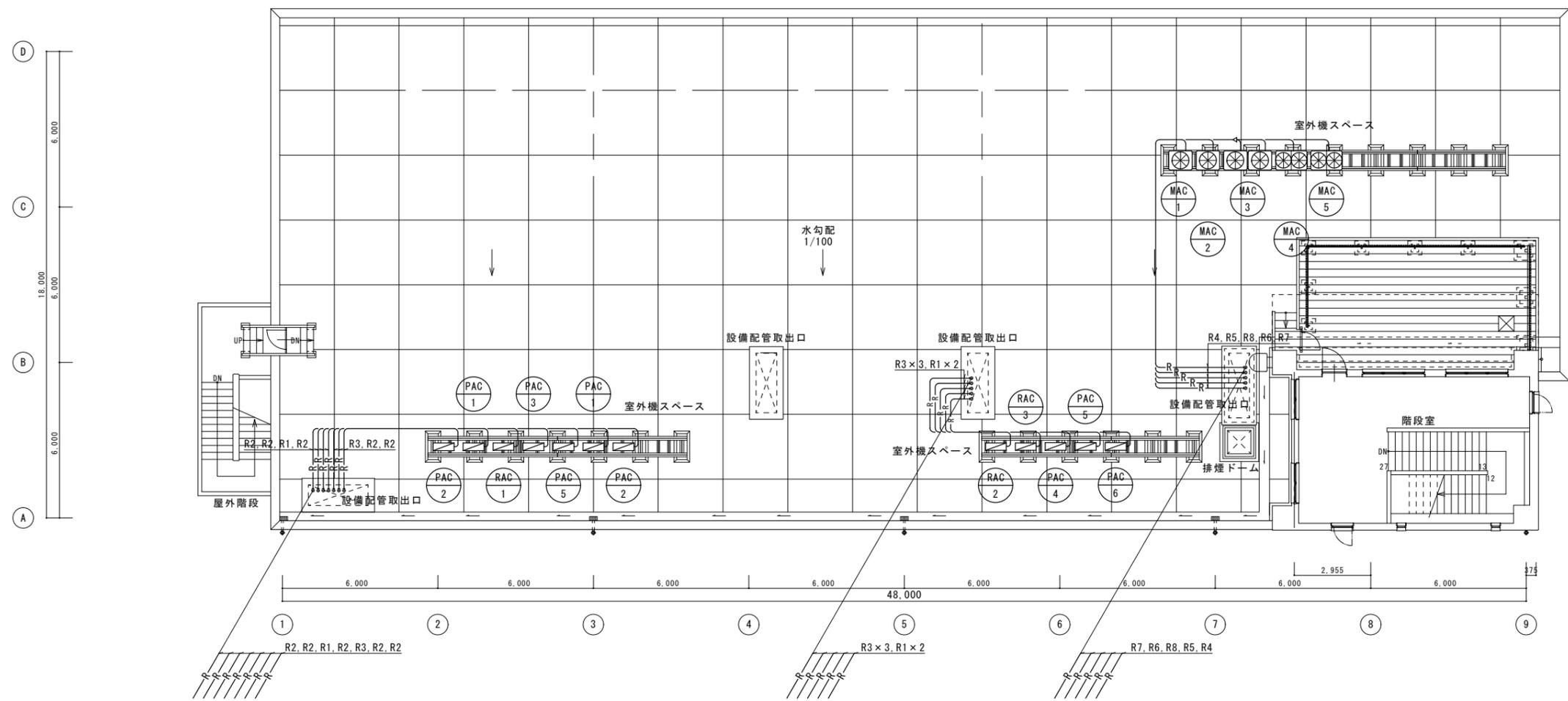


2階平面図 1/100

冷媒配管・内外連絡配線リスト

No	冷媒配管サイズ	内外連絡配線 (PAC)
R1	6.35φ / 9.52φ	※パッケージエアコンの場合は、以下の内外連絡配線を共巻すること EM-EEF2.0-3C, EM-IE2.0
R2	6.35φ / 12.7φ	
R3	9.52φ / 15.88φ	
R4	9.52φ / 19.05φ	
R5	9.52φ / 22.2φ	
R6	12.7φ / 25.4φ	
R7	12.7φ / 28.58φ	
R8	15.88φ / 28.58φ	

- 注記
- 冷媒配管の保温厚は、液管10mm/ガス管20mmとする
 - 空調ドレン管はVP管とする
 - パッケージエアコンの内外連絡配線は冷媒管共巻とする
 - ビル用マルチエアコンの制御配線はM-19~M-21を参照する
 - ビル用マルチエアコンの電源線・アース線は電気設備工事とする
 - 室内機は地震時に落下などのないよう、振れ止め措置を行うこと
- ワイヤードリモコンを示す
- ◆ 防火区画貫通部の耐火処理を示す (認定工法により施工のこと)
ドレン管 (VP) については、平12建告1422号の規定による貫通とする

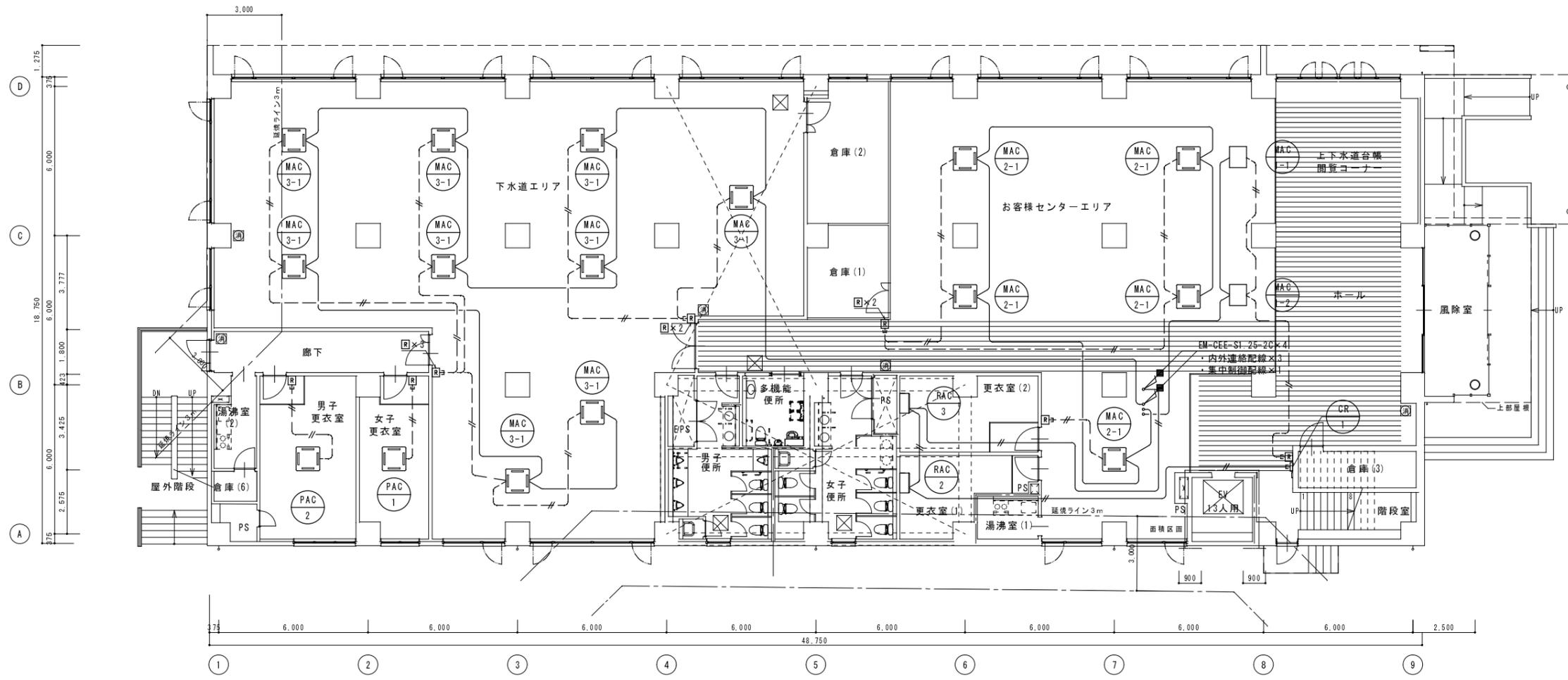


R階平面図 1/100

冷媒配管・内外連絡配線リスト

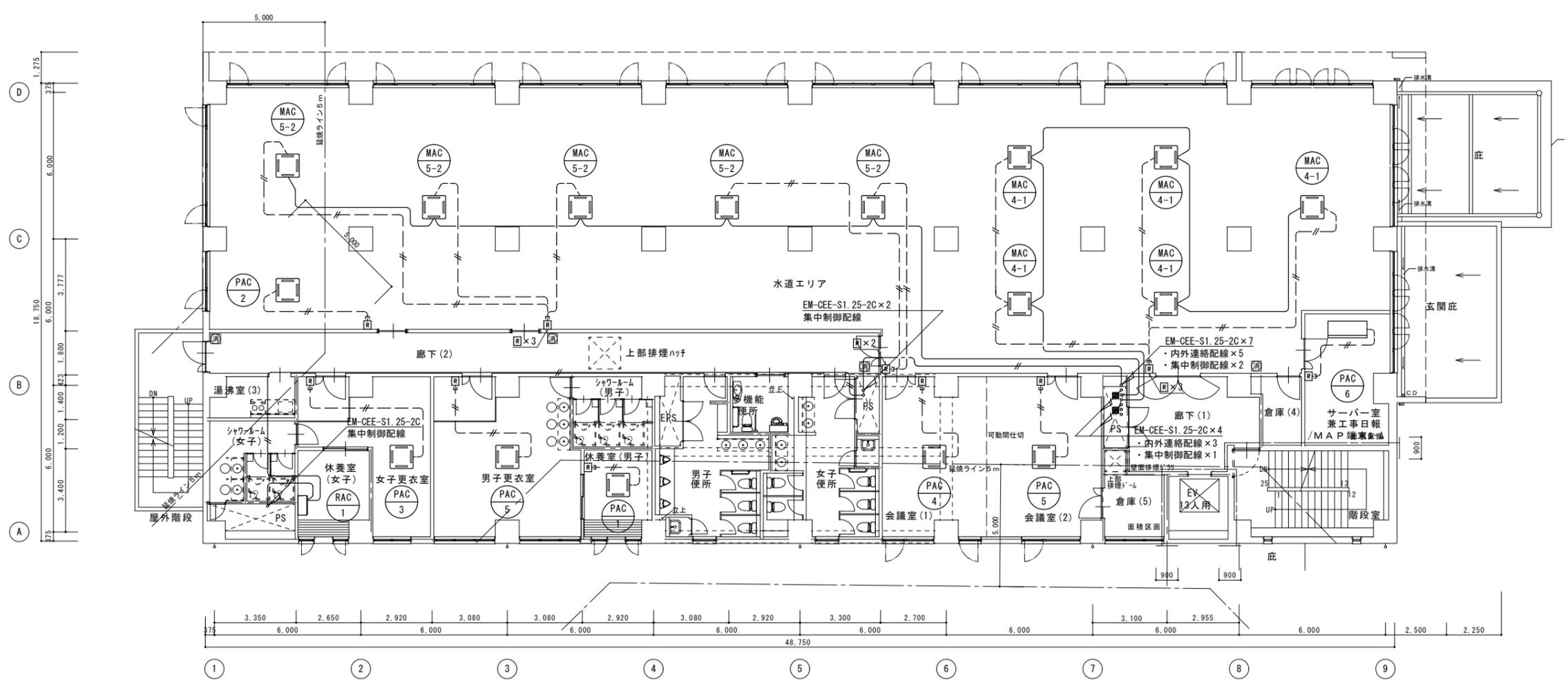
No	冷媒配管サイズ	内外連絡配線(PAC)
R1	6.35φ / 9.52φ	※パッケージエアコンの場合、以下の内外連絡配線を共巻きすること
R2	6.35φ / 12.7φ	
R3	9.52φ / 15.88φ	
R4	9.52φ / 19.05φ	
R5	9.52φ / 22.2φ	EM-EEF2.0-3C, EM-IE2.0
R6	12.7φ / 25.4φ	
R7	12.7φ / 28.58φ	
R8	15.88φ / 28.58φ	

- 注記
- 冷媒配管の保温厚は、液管10mm/ガス管20mmとする
 - パッケージエアコンの内外連絡配線は冷媒管共巻とする
 - ビル用マルチエアコンの制御配線はM-19~M-21を参照する
 - マルチエアコンの電源線・アース線は電気設備工事とする
 - 屋外露出部分の冷媒管外装について
 - ・1組 : ステンレス製ラッキング
 - ・複数組 : 化粧ダクトカバー (高耐食性鋼板 歩行可能タイプ)



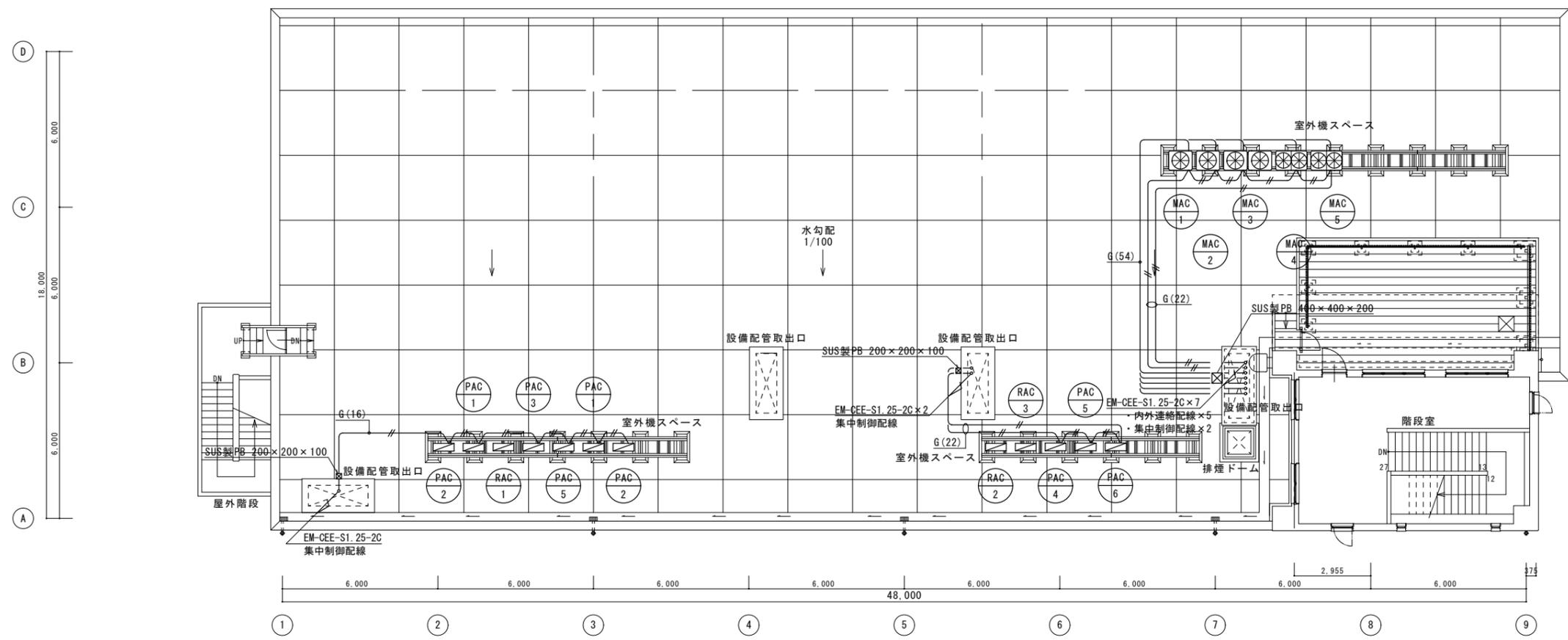
1階平面図 1/100

【凡例】	
図中特記なき配線・配管は下記による	
---	ワイヤードリモコン配線 EM-CEE-S1.25-2C
---	集中制御配線 EM-CEE-S1.25-2C
---	内外連絡配線(マルチ) EM-CEE-S1.25-2C
○	ワイヤードリモコンを示す
◆	防火区画貫通処理を示す
・配線の屋外露出部はG管、PS内露出部および屋内露出部はE管、 屋内隠ぺい部はPF管にて保護すること	



2階平面図 1/100

【凡例】	
図中特記なき配線・配管は下記による	
---	ワイヤードリモコン配線 EM-CEE-S1.25-2C
---	集中制御配線 EM-CEE-S1.25-2C
---	内外連絡配線 (マルチ) EM-CEE-S1.25-2C
○	ワイヤードリモコンを示す
◆	防火区画貫通処理を示す
・配線の屋外露出部はG管、PS内露出部および屋内露出部はE管、 屋内隠ぺい部はPF管にて保護すること	



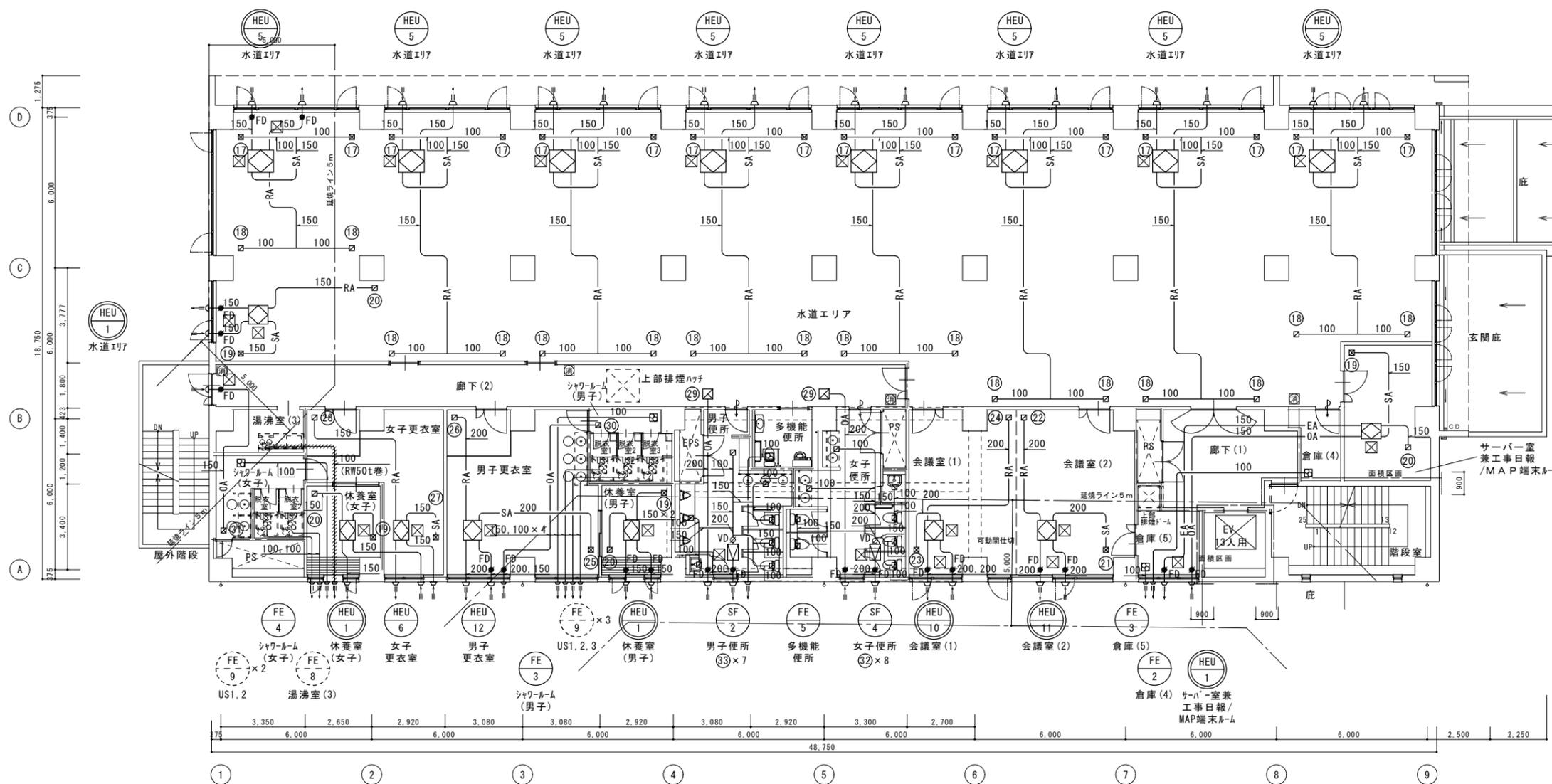
R階平面図 1/100

【凡例】	
図中特記なき配線・配管は下記による	
———	集中制御配線 EM-CEE-S1.25-2C
———	内外連絡配線 (マルチ) EM-CEE-S1.25-2C
・配線の屋外露出部はG管、PS内露出部および屋内露出部はE管、 屋内隠ぺい部はPF管にて保護すること	
・配線の空調機接続部は防水ブリカにて保護すること	

換気設備 機器表

記号	名称	仕様	電源			台数	設置場所	備考
			φ	V	W			
HEU-1	業務用全熱交換器 ※シックハウス換気対応	天井埋込形 DCタイプ φ150×90m3/h×220Pa(強) ジーンズリフレコン、CO2センサー、防振吊金具、 排気側：SUS製風圧シャッター付深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ150、 給気側：SUS製深形フード(指定色焼付塗装・防虫網付)φ150 共	1	100	75.0	4	(1) 2F サーパー室兼工事日報/ MAP端末ルーム (1) 2F 水道エリ7 (1) 2F 休養室(男子) (1) 2F 休養室(女子)	リモコン及び配線工事：本工事
HEU-2	業務用全熱交換器	天井埋込形 DCタイプ φ150×200m3/h×190Pa(強) ジーンズリフレコン、CO2センサー、防振吊金具、 排気側：SUS製風圧シャッター付深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ150、 給気側：SUS製深形フード(指定色焼付塗装・FD・防虫網付)φ150 共	1	100	100.0	1	(1) 1F 更衣室(1)	リモコン及び配線工事：本工事
HEU-3	業務用全熱交換器	天井埋込形 DCタイプ φ150×230m3/h×165Pa(強) ジーンズリフレコン、CO2センサー、防振吊金具、 排気側：SUS製風圧シャッター付深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ150、 給気側：SUS製深形フード(指定色焼付塗装・FD・防虫網付)φ150 共	1	100	100.0	1	(1) 1F 更衣室(2)	リモコン及び配線工事：本工事
HEU-4	業務用全熱交換器	天井埋込形 DCタイプ φ150×250m3/h×145Pa(強) ジーンズリフレコン、CO2センサー、防振吊金具、 排気側：SUS製風圧シャッター付深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ150、 給気側：SUS製深形フード(指定色焼付塗装・防虫網付)φ150 共	1	100	100.0	1	(1) 1F 女子更衣室	リモコン及び配線工事：本工事
HEU-5	業務用全熱交換器 ※シックハウス換気対応	天井埋込形 DCタイプ φ150×290m3/h×210Pa(強) ジーンズリフレコン、CO2センサー、防振吊金具、 排気側：SUS製風圧シャッター付深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ150、 給気側：SUS製深形フード(指定色焼付塗装・防虫網付)φ150 共	1	100	140.0	8	(8) 2F 水道エリ7	リモコン及び配線工事：本工事
HEU-6	業務用全熱交換器	天井埋込形 DCタイプ φ150×330m3/h×200Pa(強) ジーンズリフレコン、CO2センサー、防振吊金具、 排気側：SUS製風圧シャッター付深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ150、 給気側：SUS製深形フード(指定色焼付塗装・防虫網付)φ150 共	1	100	140.0	1	(1) 2F 女子更衣室	リモコン及び配線工事：本工事
HEU-7	業務用全熱交換器	天井埋込形 DCタイプ φ150×350m3/h×185Pa(強) ジーンズリフレコン、CO2センサー、防振吊金具、 排気側：SUS製風圧シャッター付深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ150、 給気側：SUS製深形フード(指定色焼付塗装・防虫網付)φ150 共	1	100	140.0	1	(1) 1F 男子更衣室	リモコン及び配線工事：本工事
HEU-8	業務用全熱交換器 ※シックハウス換気対応	天井埋込形 DCタイプ φ200×370m3/h×275Pa(強) ジーンズリフレコン、CO2センサー、防振吊金具、 排気側：SUS製深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ200×3、 SUS製深形フード(指定色焼付塗装・FD・キヤリ付)φ200×1、 給気側：SUS製深形フード(指定色焼付塗装・防虫網付)φ200×2、 SUS製深形フード(指定色焼付塗装・FD・防虫網付)φ200×2 共	1	100	215.0	4	(4) 1F 下水道エリ7	リモコン及び配線工事：本工事
HEU-9	業務用全熱交換器 ※シックハウス換気対応	天井埋込形 DCタイプ φ200×390m3/h×270Pa(強) ジーンズリフレコン、CO2センサー、防振吊金具、 排気側：SUS製深形フード(指定色焼付塗装・FD・キヤリ付)φ200、 給気側：SUS製深形フード(指定色焼付塗装・防虫網付)φ200 共	1	100	215.0	4	(4) 1F ホール・台帳閲覧コーナー お客様センター	リモコン及び配線工事：本工事
HEU-10	業務用全熱交換器 ※シックハウス換気対応	天井埋込形 DCタイプ φ200×450m3/h×230Pa(強) ジーンズリフレコン、CO2センサー、防振吊金具、 排気側：SUS製深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ200、 給気側：SUS製深形フード(指定色焼付塗装・防虫網付)φ200 共	1	100	215.0	1	(1) 2F 会議室(1)	リモコン及び配線工事：本工事
HEU-11	業務用全熱交換器 ※シックハウス換気対応	天井埋込形 DCタイプ φ200×480m3/h×200Pa(強) ジーンズリフレコン、CO2センサー、防振吊金具、 排気側：SUS製深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ200、 給気側：SUS製深形フード(指定色焼付塗装・防虫網付)φ200 共	1	100	215.0	1	(1) 2F 会議室(2)	リモコン及び配線工事：本工事

記号	名称	仕様	電源			台数	設置場所	備考
			φ	V	W			
HEU-12	業務用全熱交換器	天井埋込形 DCタイプ φ200×510m3/h×180Pa(強) ジーンズリフレコン、CO2センサー、防振吊金具、 排気側：SUS製深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ200、 給気側：SUS製深形フード(指定色焼付塗装・防虫網付)φ200 共	1	100	215.0	1	(1) 2F 男子更衣室	リモコン及び配線工事：本工事
FE-1	天井埋込形換気扇	低騒音形 定風量タイプ DC7 ライスモーター搭載 φ100×40m3/h×115Pa(強) 天吊金具、SUS製風圧シャッター付深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ100 共	1	100	2.5	1	(1) 1F 倉庫(6)	スイッチ及び配線工事： 電気工事
FE-2	天井埋込形換気扇	低騒音形 定風量タイプ DC7 ライスモーター搭載 φ100×80m3/h×110Pa(強) 天吊金具、SUS製風圧シャッター付深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ100 共	1	100	2.5	1	(1) 2F 倉庫(4)	スイッチ及び配線工事： 電気工事
FE-3	天井埋込形換気扇	低騒音形 定風量タイプ DC7 ライスモーター搭載 φ100×90m3/h×100Pa(強) 天吊金具、SUS製風圧シャッター付深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ100 共	1	100	2.5	2	(1) 2F 倉庫(5) (1) 2F シャワールーム(男子)	スイッチ及び配線工事： 電気工事
FE-4	天井埋込形換気扇	低騒音形 定風量タイプ DC7 ライスモーター搭載 φ100×140m3/h×135Pa(強) 天吊金具、SUS製風圧シャッター付深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ100 共	1	100	5.0	1	(1) 2F シャワールーム(女子)	スイッチ及び配線工事： 電気工事
FE-5	天井埋込形換気扇	低騒音形 定風量タイプ DC7 ライスモーター搭載 φ100×150m3/h×130Pa(強) 天吊金具、SUS製風圧シャッター付深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ100 共	1	100	5.0	1	(1) 2F 多機能便所	スイッチ及び配線工事： 電気工事
FE-6	天井埋込形換気扇	低騒音形 定風量タイプ DC7 ライスモーター搭載 φ150×200m3/h×70Pa(強) 天吊金具、SUS製風圧シャッター付深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ150 共	1	100	7.0	2	(1) 1F 倉庫(1) (1) 1F 多機能便所	スイッチ及び配線工事： 電気工事
FE-7	天井埋込形換気扇	低騒音形 定風量タイプ DC7 ライスモーター搭載 φ150×310m3/h×80Pa(強) 天吊金具、SUS製風圧シャッター付深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ150 共	1	100	9.0	1	(1) 1F 倉庫(2)	スイッチ及び配線工事： 電気工事
FE-8	天井埋込形換気扇	本体：建築工事 ダクト接続及び屋外SUS製風圧シャッター付深形フード (指定色焼付塗装・キヤリ付)φ100：本工事				3	(1) 1F 湯沸室(1) (1) 1F 湯沸室(2) (1) 2F 湯沸室(3)	スイッチ及び配線工事： 電気工事
FE-9	天井埋込形換気扇	本体：建築工事 ダクト接続及び屋外SUS製風圧シャッター付深形フード (指定色焼付塗装・キヤリ付)φ100：本工事				5	(3) 2F エントリヤ(男子) (2) 2F エントリヤ(女子)	スイッチ及び配線工事： 電気工事
PF-1	パイプ用ファン	角形格子リル 大風量・高静圧タイプ 電源コード直付け 風圧式シャッター付 φ150×110m3/h×15Pa SUS製風圧シャッター付深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ150 共	1	100	6.4	1	(1) 1F 倉庫(3)	スイッチ及び配線工事： 電気工事
SF-1	ストレート シロココファン	天吊埋込タイプ 消音形 DC7 ライスモーター搭載 φ200×550m3/h×200Pa(強) 防振吊金具、SUS製深形フード(指定色焼付塗装・FD・キヤリ付)φ200 共 ※人感センサーにてON/OFF制御を行うこと(電気工事)	1	100	83.2	1	(1) 1F 男子便所	スイッチ及び配線工事： 電気工事
SF-2	ストレート シロココファン	天吊埋込タイプ 消音形 DC7 ライスモーター搭載 φ200×570m3/h×190Pa(強) 防振吊金具、SUS製深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ200 共 ※人感センサーにてON/OFF制御を行うこと(電気工事)	1	100	83.2	1	(1) 2F 男子便所	スイッチ及び配線工事： 電気工事
SF-3	ストレート シロココファン	天吊埋込タイプ 消音形 DC7 ライスモーター搭載 φ200×700m3/h×200Pa(強) 防振吊金具、SUS製深形フード(指定色焼付塗装・FD・キヤリ付)φ200 共 ※人感センサーにてON/OFF制御を行うこと(電気工事)	1	100	116.0	1	(1) 1F 女子便所	スイッチ及び配線工事： 電気工事
SF-4	ストレート シロココファン	天吊埋込タイプ 消音形 DC7 ライスモーター搭載 φ200×720m3/h×180Pa(強) 防振吊金具、SUS製深形フード(指定色焼付塗装・キヤリ付)φ200 共 ※人感センサーにてON/OFF制御を行うこと(電気工事)	1	100	116.0	1	(1) 2F 女子便所	スイッチ及び配線工事： 電気工事



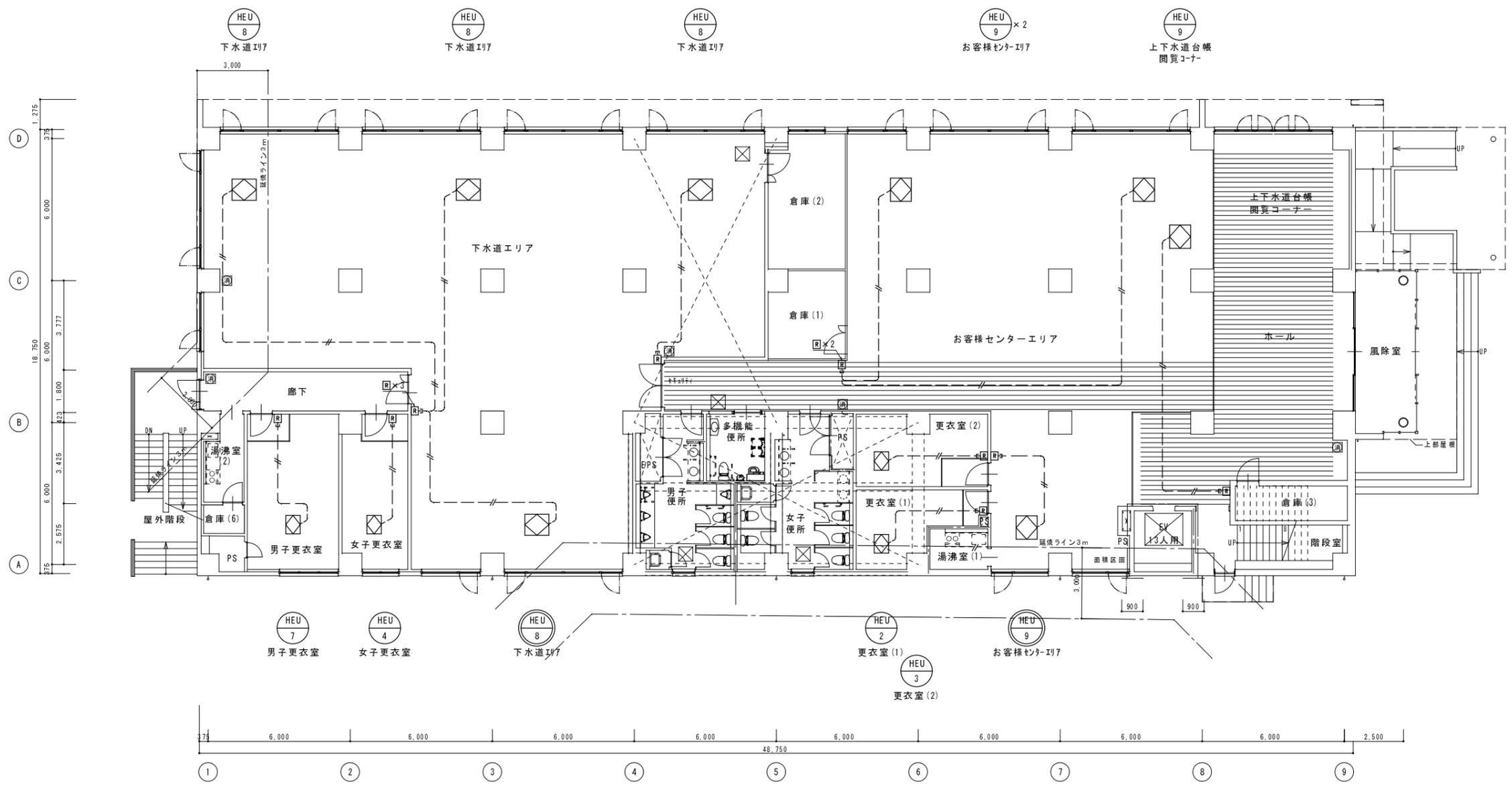
2階平面図 1/100

HEU シックハウス換気対応換気扇を示す
 アンダーカットまたはガラリを示す
 FD 防火ダンパー（差込式）を示す
 天井点検口450×450（建築工事）を示す

注記

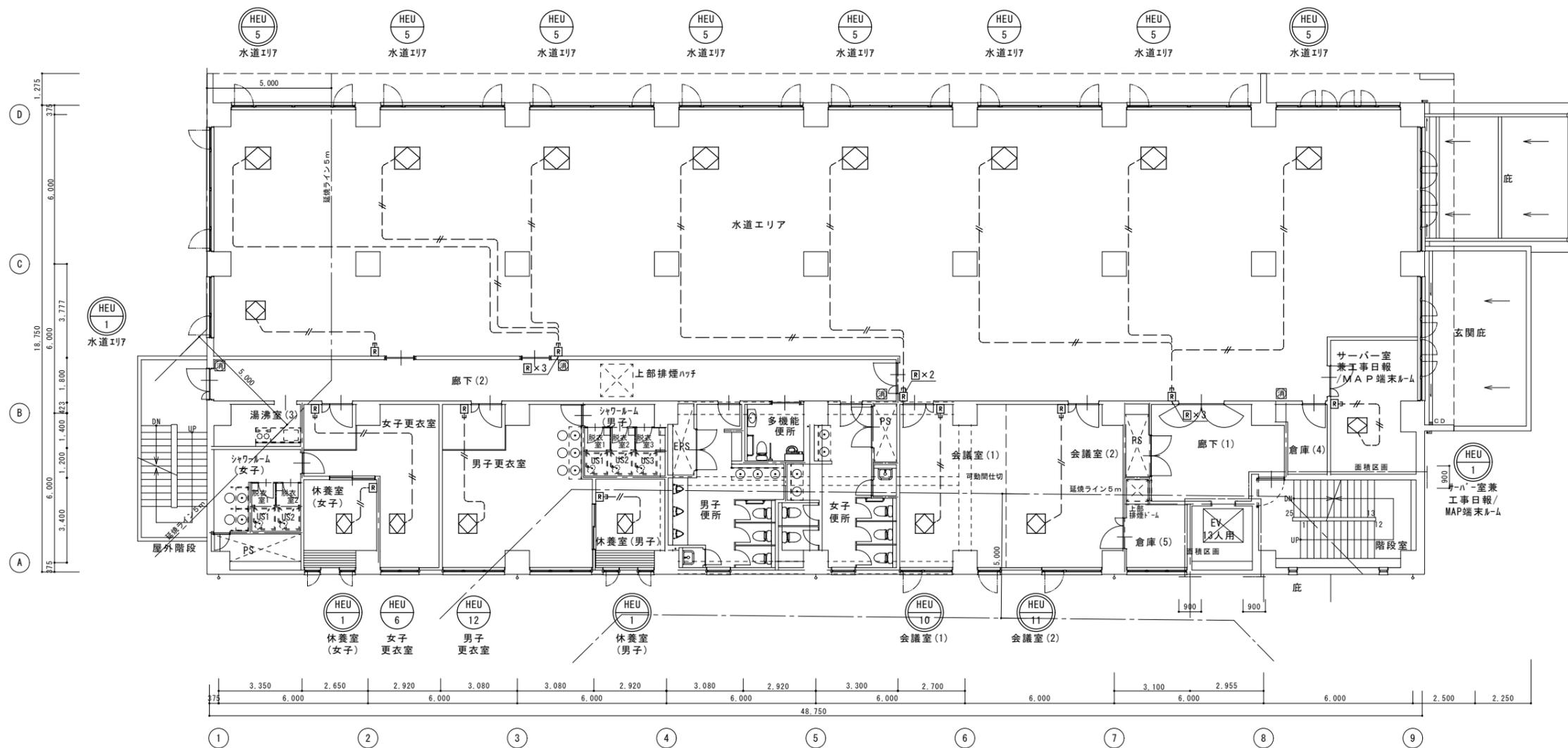
- 1) OAダクトは全周GW25t巻とし、EAダクトは外壁より2mをGW25t巻とする
- 2) 全熱交換器のダクト保温は、一次側OAダクトは全周GW25t巻とし、EAダクトは外壁より2mをGW25t巻とする
二次側SAダクトは全周GW25t巻とし、RAダクトは保温なしとする
- 2) 湯沸室システムのダクトはRW50mm巻とする

制気口リスト		数量
17: 吹出口 (水道エリア)		
VHS 200×200		16
風量 145 m ³ /h		
BOX 300×300×200H		
GW25mm内貼		
18: 吸込口 (水道エリア)		
HS (F) 200×200		16
風量 145 m ³ /h		
BOX 300×300×200H		
GW25mm内貼		
19: 吹出口 (管理者室)		
(サーバ-室兼工事日報/MAP端末R-L)		4
(休養室(男子)・(女子))		
VHS 200×200		
風量 90 m ³ /h		
BOX 300×300×250H		
GW25mm内貼		
20: 吸込口 (管理者室)		
(サーバ-室兼工事日報/MAP端末R-L)		4
(休養室(男子)・(女子))		
HS (F) 200×200		
風量 90 m ³ /h		
BOX 300×300×250H		
GW25mm内貼		
21: 吹出口 (会議室(2))		
VHS 300×300		1
風量 480 m ³ /h		
BOX 400×400×300H		
GW25mm内貼		
22: 吸込口 (会議室(2))		
HS (F) 300×300		1
風量 480 m ³ /h		
BOX 400×400×300H		
GW25mm内貼		
23: 吹出口 (会議室(1))		
VHS 300×300		1
風量 450 m ³ /h		
BOX 400×400×300H		
GW25mm内貼		
24: 吸込口 (会議室(1))		
HS (F) 300×300		1
風量 450 m ³ /h		
BOX 400×400×300H		
GW25mm内貼		
25: 吹出口 (男子更衣室)		
VHS 350×350		1
風量 510 m ³ /h		
BOX 450×450×300H		
GW25mm内貼		
26: 吸込口 (男子更衣室)		
HS (F) 350×350		1
風量 510 m ³ /h		
BOX 450×450×300H		
GW25mm内貼		
27: 吹出口 (女子更衣室)		
VHS 250×250		1
風量 330 m ³ /h		
BOX 350×350×250H		
GW25mm内貼		
28: 吸込口 (女子更衣室)		
VHS 200×200		1
風量 330 m ³ /h		
BOX 350×350×250H		
GW25mm内貼		
29: 吹出口 (廊下(2))		
VHS (F) 400×400 (結露防止型)		2
BOX 500×500×300H		
GW25mm内貼		
SUS製深形7-D (指定色焼付塗装・防虫網付) φ200		
30: 吹出口 (シャワールーム(男子))		
VHS (F) 300×300 (結露防止型)		1
BOX 400×400×250H		
GW25mm内貼		
SUS製深形7-D (指定色焼付塗装・防虫網付) φ150		
31: 吹出口 (シャワールーム(女子))		
VHS (F) 250×250 (結露防止型)		1
BOX 400×400×250H		
GW25mm内貼		
SUS製深形7-D (指定色焼付塗装・防虫網付) φ150		
32: 吸込口 (女子便所)		
HS 200×200		8
風量 90 m ³ /h		
BOX 300×300×200H		
GW25mm内貼		
33: 吸込口 (男子便所)		
HS 200×200		7
風量 82 m ³ /h		
BOX 300×300×200H		
GW25mm内貼		



1階平面図 1/100

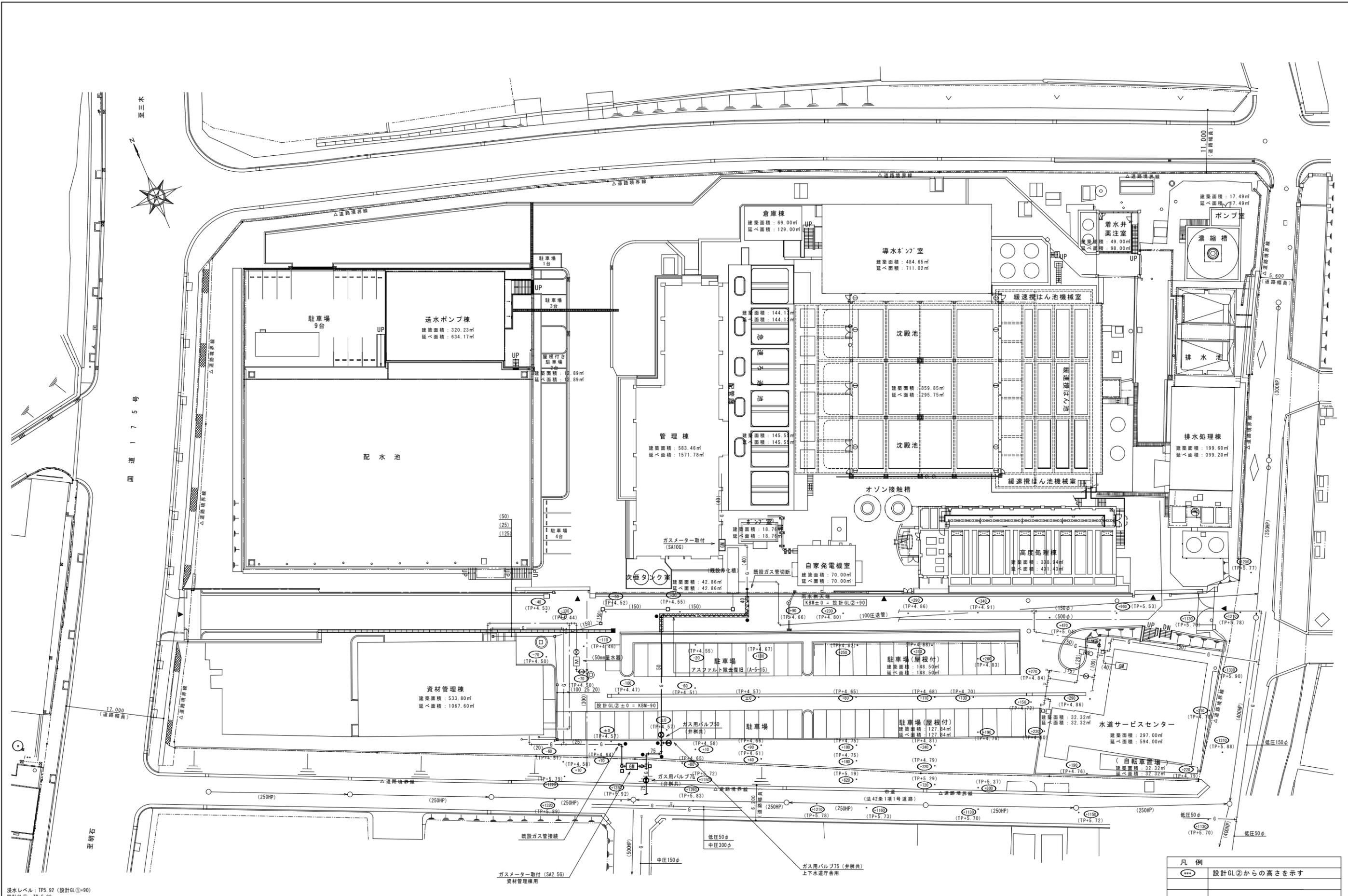
【凡例】	
図中特記なき配線・配管は下記による	
—//—	ワイヤードリモコン配線 EM-CEE-S1.25-2C
○	ワイヤードリモコンを示す
・配線の屋内隠ぺい部はPF管にて保護すること	



2階平面図 1/100

【凡例】	
図中特記なき配線・配管は下記による	
—//—	ワイヤードリモコン配線 EM-CEE-S1.25-20
⊗	ワイヤードリモコンを示す
・配線の屋内隠ぺい部はPF管にて保護すること	

特記事項	株式会社 総合設計	製作年月日	工事名称	当初・変更・完成
	一級建築士事務所 広島県知事登録 20(1)第3394号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第335100号 山本 裕一	2025年 8月	(仮称)上下水道庁舎建設工事	
	明石市都市局住宅・建築室営繕課		図面名称 上下水道庁舎 換気設備 2階平面図(配線)	図番 M-27
			縮尺 1/100	



凡例	設計GL②からの高さを示す

湛水レベル: TP5.92 (設計GL①+90)
 設計GL①: TP+5.83
 設計GL②: TP+4.57

1. 工事概要	工事名称	(仮称) 上下水道庁舎建設工事				
	工事内容	本工事は、資材管理棟の改修を行う工事				
建物概要	建物名称	構造	階数	延べ面積(m ²)	消防法施行令別表第一	備考
	資材管理棟	RC造	地上2階	1067.60	15項	
			地下1階(配水池)	1360.04		

2. 工事種目 ◎印を摘要とする	◎ 給水設備	◎ 空調機器設備	◎ 都市ガス設備	・ 昇降機設備
	◎ 給湯設備	◎ 空調配管設備	・ LP(液化石油)ガス設備	・ 場内舗装整備
	◎ 排水通気設備	・ 空調ダクト設備	・ 厨房設備	
	◎ 衛生器具設備	◎ 換気機器設備	・ 排煙設備	
	・ 消火設備	◎ 換気ダクト設備	・ 自動制御設備	
< 屋内外工事区分 > 給水設備工事 : 各屋外第1バルブ上流側(バルブ含む)を屋外とし、室内側を屋内とする。 排水設備工事 : 各屋外第1会所迄を屋内とし、会所以降(会所含む)を屋外とする。 ガス設備工事 : 建物外壁を界して屋内外工事区分とする。 消火設備工事 : 同上				

3. 一般共通事項	* 特記仕様書及び設計図面等に記載されていない事項は、一般社団法人公共建築協会発行「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)、公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)」及び、一般財団法人建築保全センター発行「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)」各令和4年版による。 * 工事写真の撮影要領は、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編 平成30年版」による。 * 本工事に関係する法律、政令、省令、告示、条例、各地方団体等の内規、基準及び指針等はよくこれらを守り必要ある届け出、手続等は、請負者がこれを代行すること。ただし、これに要する費用は総て請負者の負担とする。なお、官公庁への提出書類は、写しを監督員に提出のこと。 * 完成図作成にあたっては、CADデータ修正の方法とする。また、完成図の種類及び記入内容は設計図同等とし、各図面の右下に「完成図」と明記することとする。なお、受注金額が500万円未満の場合は製本不要とする。 ・ JWW形式CADデータ ・ PDF形式データ(印刷物をスキャンしたものは不可) ・ A2二つ折り製本(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度 工事名称+完成図 受注者名」を記入) 2部 * 貫通工事を行う際は、事前に構造上重要な躯体でないか確認し、鉄筋位置探査の上で行うこと。また、採取したコアは工事完成時まで保管すると共に写真撮影し、鉄筋切断がないことを明示すること。 * 本工事の撤去物に含まれる石綿について、「大気汚染防止法」及び兵庫県「環境の保全と創造に関する条例」に基づき、事前調査を実施し、報告書の作成及び報告、必要に応じて届出を行うこと。 * 本工事に発生した廃棄物の処理については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」ほか関係法令に基づき処理すること。 * 埋戻し後の建設発生残土は、構外搬出し適法処理すること。 * 本工事で発生した回収フロンガスは、適正に処分し破壊証明書の写しを提出すること。 * 本工事における残存物(家庭用エアコン等)は、「家電リサイクル法」に基づき処理を行い、廃棄証明書を完成図書に添付すること。 * 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による耐震強度計算書を提出し、監督員承諾を受けること。 * 重要機器及び重要水槽(「平成25年制定」官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説(令和3年版) (一般社団法人公共建築協会)の定義による)並びに重量機器(500kg以上の機器)は、アンカー種別に関わらず引張試験を行うこと。引張試験の本数は、施工本数の25%以上または3本以上を目安とし、協議により決定すること。なお、当該アンカーボルトの施工は、一般財団法人日本建築あと施工アンカー協会(JCAA)またはあと施工アンカー工事協同組合(AAC)の有資格者のみ認める。 重要機器及び重要水槽として扱う機器の例: ボイラー、冷水発生機、温水発生機、冷却塔、1m ³ 以上のタンク 等
	< 以下の項目において、◎印を摘要とする。◎印が付かない場合は※を適用 > ・ 本特記による(ただし、建築一式工事における以下の項目は、建築工事特記仕様書による) * 本工事に必要な工事用(構内の既存設備を使用) 電気: ※できる [・有償 ・無償] ◎できない 水 : ※できる [・有償 ◎無償] ・できない * 本工事は、監督員事務所を ・設ける ※設けない * 本工事は、構内に工事用仮設備をつくるのが ・できる ※できない * 本工事の足場・さん橋類は ・別契約の関係請負者が設置したものを無償で使用できる ※本工事で設置とする * 現場標示板(工事名標示板)明石市指定様式(900×600)を 設計金額1,000万円以上かつ工期90日以上の場合に設ける * 工事実績情報の登録を 受注金額500万円以上の場合は行う * 再生資源利用促進関係 計画書及び実施書を作成する。(エクセルデータ可) 【建設リサイクル関係法令に基づき通知・届出等の必要がない工事はデータのみ提出】 * 交通整理員は、 延べ()人とする。

4. 工事区分	・ 別紙参照
	< 以下の項目において、◎印を摘要とする。◎印が付かない場合は※を適用 > * 地中埋設配管の建物導入部の変位吸収を、 ※行う [※スリ・クッション ・ホリゾン管 ・フレキシブルジョイント] ◎行わない * 地中埋設標示シートは ダブルとする * 埋め戻し土・盛土は 根切り土の中の良質土(但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類とする) * 支持金物の材料 屋外及び屋内多湿箇所は ステンレス鋼製(SUS 304)とする 壁支持の場合は三角ブラケット、床支持の場合は門型支持材 * 水質検査(残塩0.1mg/L及びpH) ※あり ・なし * 建築物の部分ごとの耐火性能に応じて、防火区画等の貫通処理を行うこと。 本工事範囲における耐火性能(耐火時間) ※壁(※1時間 ・2時間 ・3時間) ※床(※1時間 ・2時間 ・3時間)

5. 工事種目 ◎印を摘要とする	◎ 給水設備工事	給水方式 ◎ 直結方式 ・直結増圧方式 ・受水槽方式 [・加圧給水 ・高架水槽] 受水槽 ・既設品使用 ・SUS製 ・鋼板製 ・FRP製 [・単板 ・複合板] 高架水槽 ・既設品使用 ・SUS製 ・鋼板製 ・FRP製 [・単板 ・複合板]	・ 消火設備工事	・ 屋内消火栓 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー ・ 連結送水管 ・ 不活性ガス消火 ・ 粉末消火器 消火水槽(m3) ・ 本工事 ・ 建築工事 配管 ・ 充水方式 ・ 乾式方式
	◎ 給湯設備工事	給湯方式 ◎ 個別方式 ・ 中央方式 熱源 ・ 電気 ◎ ガス	◎ 空気調和設備工事	方式 ◎ 個別方式 ・ 中央ダクト ・ 中央配管 熱源 ◎ 空冷パッケージ [・マルチ ◎ 個別 ・ 水蓄熱] ・ 冷水発生機 ・ 電気チラー 放熱器 ・ ファンコイル ・ エアコン 既設利用 ◎ 機器類 ・ 配管類 ・ ダクト類
	◎ 排水通気設備工事	排水方式 汚水雑排水: ・ 屋内分流 ◎ 屋内合流 ・ 屋外合流方式 放流先 ・ 公共下水道接続 ◎ 既設会所 会所築造 ・ 既製品会所 ・ 現場打会所 ◎ 既設会所接続部改修 通気方式 ◎ 伸頂通気 ◎ ループ通気 * 雨水排水 ・ 本工事 ◎ 建築工事	◎ 換気設備工事	方式 ◎ 個別方式 ・ 中央方式 第[◎1種 ・ 2種 ・ 3種]換気 対象 ◎ 機器類 ◎ ダクト設備 ◎ 既設使用 [・ 機器 ◎ ダクト]
	◎ ガス設備工事	◎ 都市ガス ・ LPガス		

6. 使用材料	名称	配管名 番号等	給水管	給湯管	汚水管	雑排水	通気管	消火管	ガス管	冷媒管	ドレン	冷却水	冷水	蒸気管	ダクト
	硬質塩化ビニル管	JIS K 6742 水道用VP													
〃	JIS K 6741 一般用VP				○	○					○				
〃	JIS K 6741 ｸﾗｰVP(耐候性)					G									
耐衝撃性硬質塩化ビニル管	JIS K 6742 H1VP		○・A												
硬質塩化ビニル鋼管	JWWA K 116 SGP-VA														
内外面 〃	JWWA K 116 SGP-VD														
一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448														
水道用ホリゾン管	JIS K 6762														
架橋ホリゾン管(さや管工法)	JIS K 6769														
配管用炭素鋼管	JIS G 3452 SGP(白)														
圧力配管用炭素鋼管	JIS G 3454 SGP Sch40														
消火用外面被覆鋼管	WSP 041 SGP-VS														
消火用ホリゾン管	消防認定品														
外面被覆鋼管	JIS H 3330 建築用(M型)														
耐熱性ライニング鋼管	JWWA K 140 SGP-HVA														
冷媒用断熱材被覆鋼管	JCDA 0009 空調用									○					
排水用塩化ビニル鋼管	WSP 042 DVLP														
耐火二層管	排水管通気管は100A以上														
亜鉛鉄板(ダクト用)	JIS G 3302 Z18以上														
スパイラルダクト	亜鉛鉄板・国交省仕様														○
大阪ガス指定管										○					
< 凡例 >	[○] 該当する配管工事に一般的に使用する配管材料を示す。他欄に記号がある場合は、その配管材料を優先する。 [A] 屋外地中埋設用 [B] 屋内地中埋設用 [C] 床下ビット配管用 [D] 天井・PS内配管 [E] [F] コンクリート打込み [G] 屋外露出配管 [H] 屋内露出配管 [I] 給水引込み [J]														
< 注記 >	* 給湯管については、原則地中埋設を行わないこと。コンクリート打込み部については、仕様書に基づく防食処理を施した上で、緩衝材の巻き付けを行うこと。 * 防火区画等を貫通する樹脂管については、国土交通大臣の認定を受けた材料及び工法により適切に処理を行うこと。														

7. 保温種別		# 保温種別の記号は「標準仕様書」による。				
管種	施工場所	保温種別	管種	種別	保温厚	備考
給水管	屋内露出(一般居室・廊下)	a 1・(n)・VII	冷媒用断熱材被覆鋼管	ガス管	20mm	保温材質は、A種ホリゾンフォーム保温筒とする
	機械室・書庫・倉庫	b・(n)・VII		液管	10mm	
	天井・PS内・空隙壁中	c 2・(n)・VII				
	床下・暗渠(ビツト内)	d・(n)・VII				
	屋外露出・多湿箇所(浴室、厨房等)	e 2・(n)・VII				
排水管	屋内露出(一般居室・廊下)	a 1・(n)・VII	冷媒管	屋外露出・多湿箇所(浴室、厨房等)		SUSラッキング
	機械室・書庫・倉庫	b・(n)・VII				
	天井・PS内	c 2・(n)・VII				
	多湿箇所(浴室、厨房等)	e 2・(n)・VII				
	屋外露出(一般居室・廊下)	a 1・(n)・VII				
給湯管	屋内露出(一般居室・廊下)	a 1・(n)・I	冷媒管	屋外露出・多湿箇所		
	機械室・書庫・倉庫	b・(n)・I				
	天井・PS内・空隙壁中	c 2・(n)・I				
	床下・暗渠(ビツト内)	d・(n)・I				
	屋外露出・多湿箇所(浴室、厨房等)	e 2・(n)・I				
* 保温仕様に変更がある場合は、下記に示す。						
管種	施工場所	保温種別				
冷媒管	屋外露出・多湿箇所					
冷媒管	天井・PS内					

8. 機器類の工場検査への監督員立会い	・ 右記機器類の工場検査には市監督員が立会検査を行う(機器名:)
---------------------	-----------------------------------

2023年4月改定

J I S 規格等認定、認証品目		
種別	規格	
配管材料	・冷温水及び冷却水管	標準仕様書 表2.2.11による
	・同上用継手	標準仕様書 表2.2.21による
	・蒸気、高温水、油管及び継手	標準仕様書 表2.2.31による
	・ブライン管及び継手	標準仕様書 表2.2.41による
	・冷媒管及び継手	標準仕様書 表2.2.51による
	・給水・給湯及び消火管	標準仕様書 表2.2.61による
	・同上用継手	標準仕様書 表2.2.71による
	・排水及び通気管	標準仕様書 表2.2.81による
	・同上用継手	標準仕様書 表2.2.91による
配管付属品	・一般用弁及び栓	標準仕様書 表2.2.101による
衛生器具	・衛生陶器	J I S A 5 2 0 7
	・大便器洗浄弁	J I S B 2 0 6 1
	・給水栓	J I S B 2 0 6 1
備考	・規格は、公共建築協会発行「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」による	
	・但し、衛生陶器及び付属品の組合せは、営繕課便所設計標準図による	

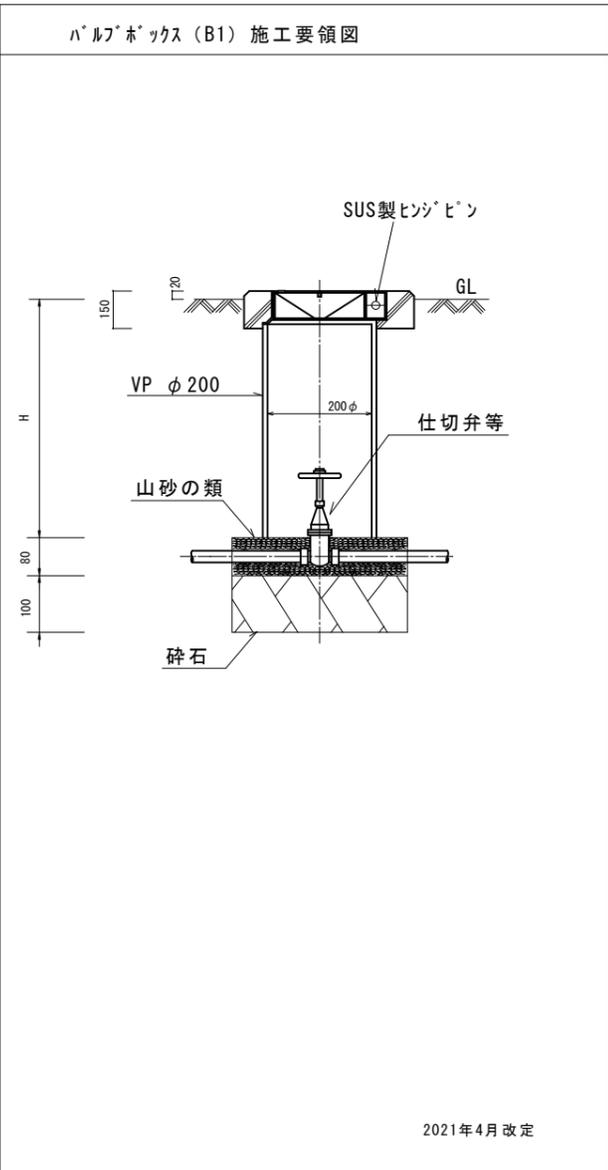
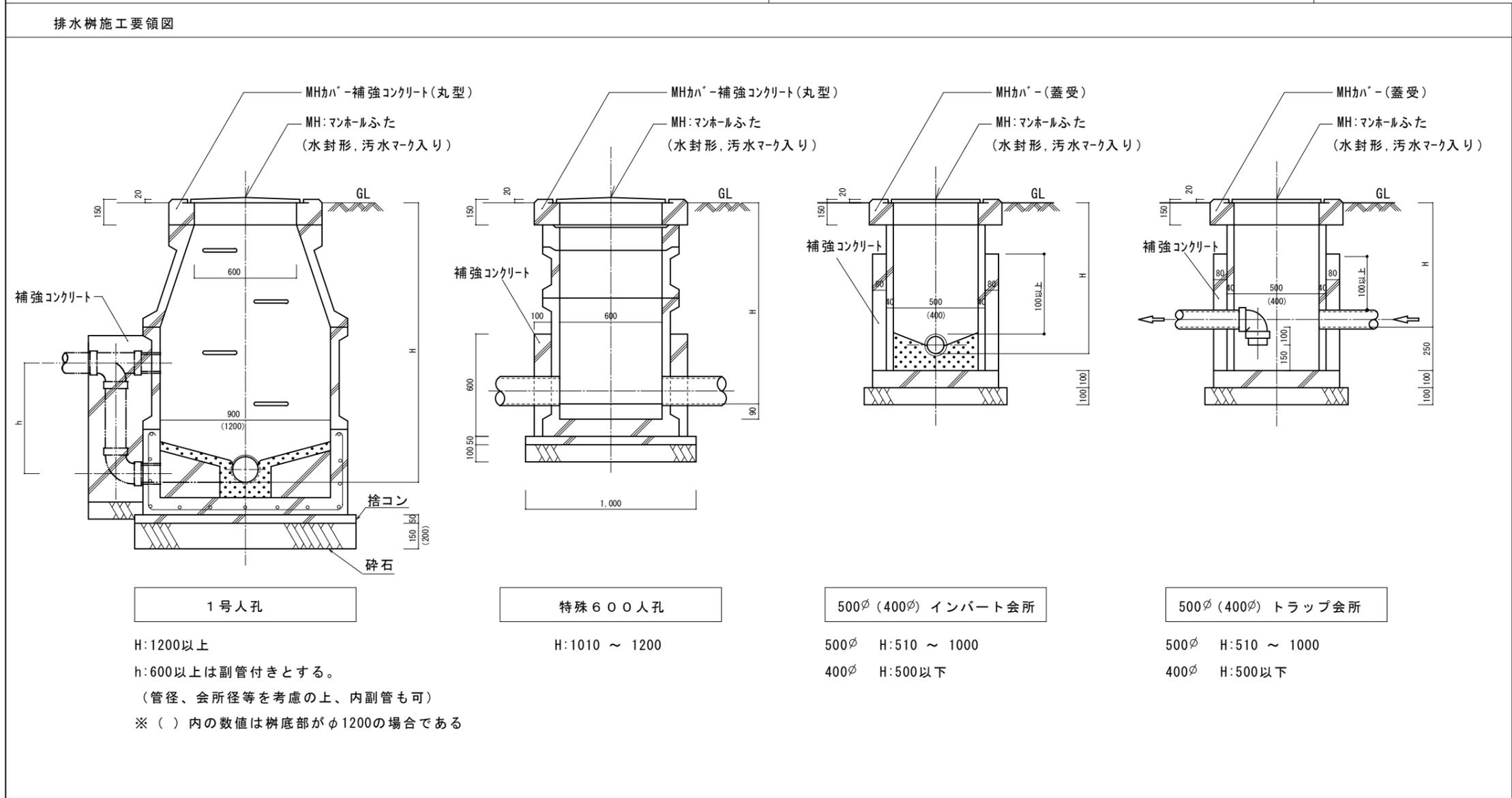
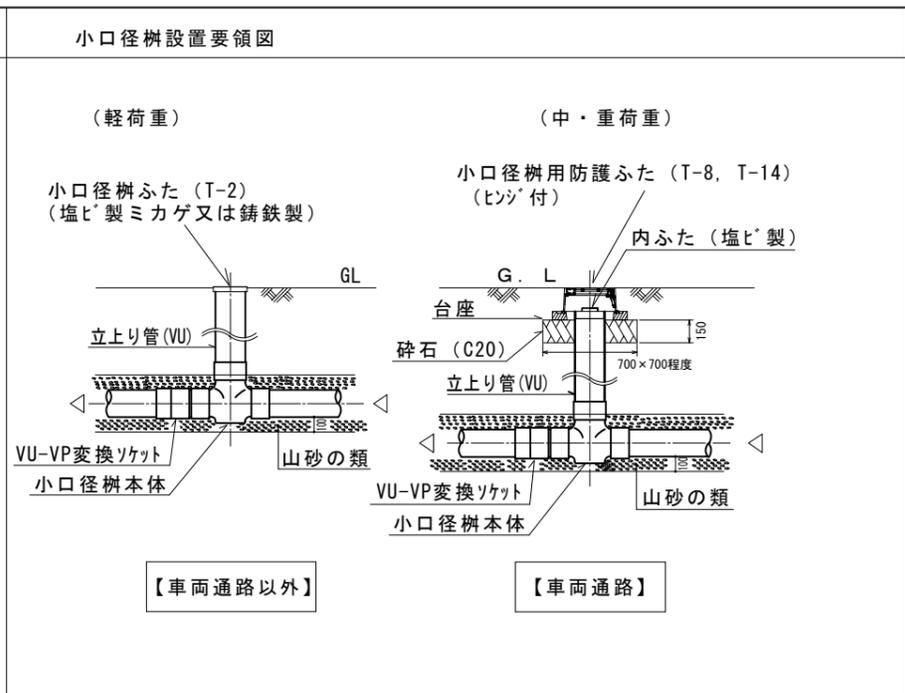
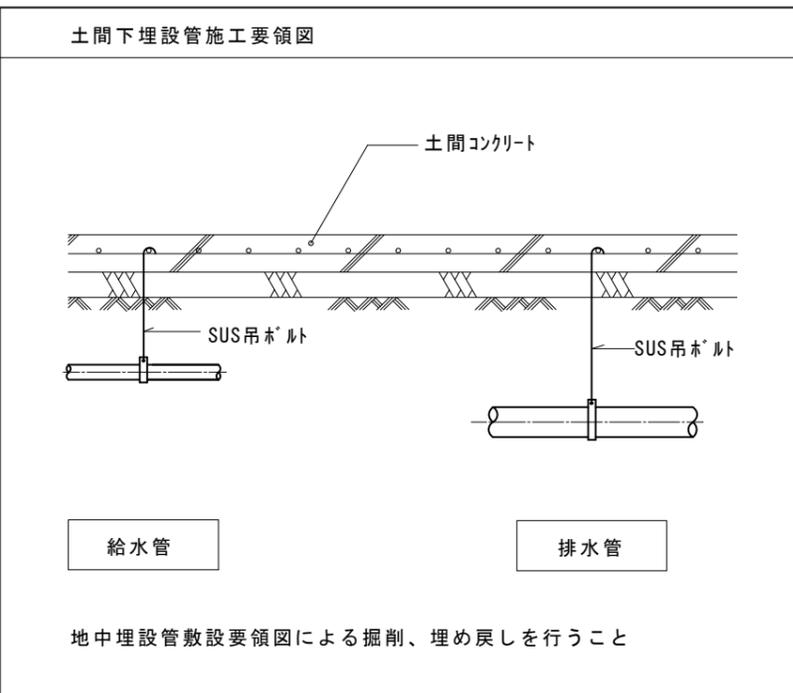
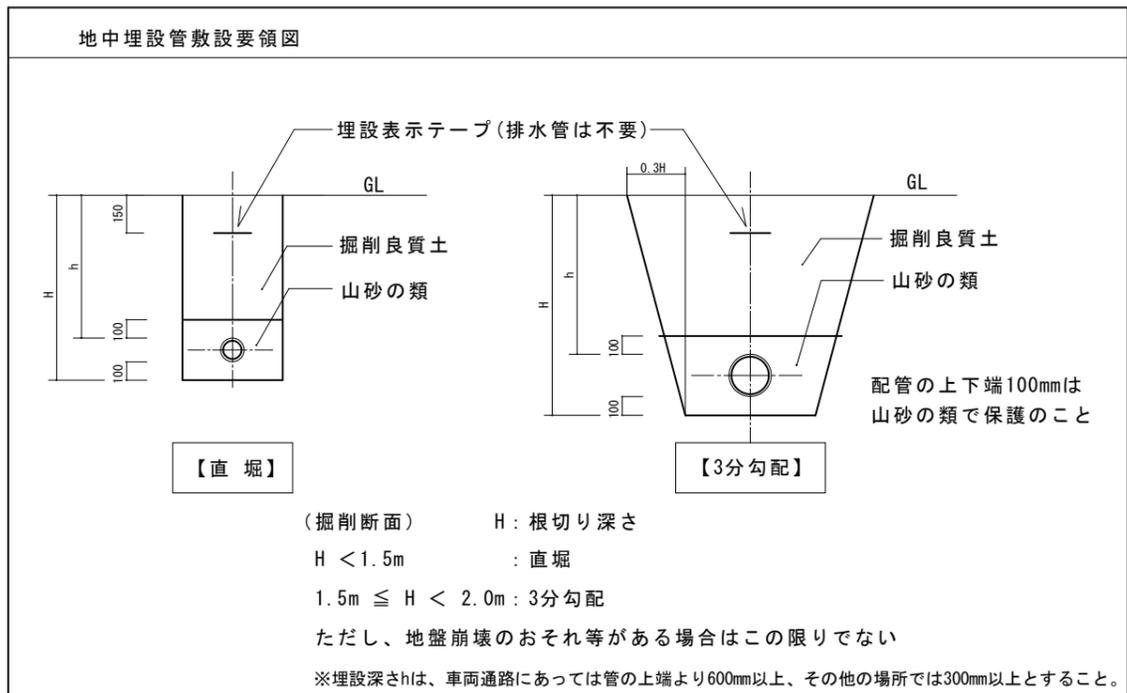
製造業者指定		
分類	機材名	製造業者名
管類	上記以外の管及び継手	※ J I S ・ S H A S E - S ・ J W W A 規格品
弁類	上記以外の弁及び栓	※ J I S ・ S H A S E - S ・ J W W A 規格品
●継手	ベローズ式伸縮継手	大阪ラセン管工業㈱ ㈱ベン 日本ベローズ工業㈱ ㈱本山製作所 三吉バルブ㈱ ㈱ヨシタケ トーフレ㈱
空調機器	チリングユニット	荏原冷熱システム㈱ ダイキン工業㈱ 東芝キヤリア㈱ 日本熱源システム㈱ 日立グループソリューションズ㈱ 三菱重工冷熱㈱ 三菱電機㈱
	吸収冷温水機 ●冷却塔一体型吸収冷温水機（バック型）	荏原冷熱システム㈱ 川重冷熱工業㈱ パナソニック㈱ 日立ジョンソンコントロールズ空調㈱ 矢崎エナジーシステム㈱
	冷却塔	㈱荏原冷熱システム 空研工業㈱ 東芝キヤリア㈱ 日立グループソリューションズ㈱ 三菱重工冷熱㈱ 三菱ケミカルインフラテック㈱ 矢崎エナジーシステム㈱

製造業者指定					
分類	機材名	製造業者名			
空調機器	空調機（ユニット形）	木村工機㈱ クボタ空調㈱ 昭和鉄工㈱ 新晃工業㈱ ダイキン工業㈱ 暖冷工業㈱ 東芝キヤリア㈱ 三菱重工冷熱㈱			
		ファンコイル	木村工機㈱ 昭和鉄工㈱ 新晃工業㈱ ダイキン工業㈱ 暖冷工業㈱ 東芝キヤリア㈱ 三菱重工冷熱㈱ 三菱電機冷熱応用システム㈱		
			ヒートポンプエアコン（汎用） パッケージ形空調機 マルチパッケージ形空調機	ダイキン工業㈱ 東芝キヤリア㈱ パナソニック㈱ 日立グループソリューションズ㈱ 三菱重工冷熱㈱ 三菱電機㈱	
				ガスエンジンヒートポンプエアコン	㈱アイシン ダイキン工業㈱ パナソニック㈱ 三菱重工冷熱㈱ ヤンマーエネルギーシステム㈱
					吹出口・吸込口
	●防振材		昭和電線ホールディングス㈱ 三井化学産資㈱ 特許機器㈱		
	自動制御機器	アーチバック㈱ アズビル㈱ ジョンソンコントロールズ㈱ パナソニックEWエンジニアリング㈱ 三菱電機㈱			
		●ダンパー類（防火ダンパー含む）	協立エアテック㈱ 空研工業㈱ クリフ㈱ 西邦工業㈱ ㈱メルコエアテック 三菱電機㈱ パナソニックエコシステムズ㈱ ㈱ユニックス		
		送風機	㈱荏原製作所 ㈱タニヤマ テラル㈱ パナソニックエコシステムズ㈱ 三菱電機㈱ ミツヤ送風機㈱		
		●排煙口	協立エアテック㈱ 空研工業㈱		
●換気扇		標準換気扇 テラル㈱ ダイキン工業㈱ 天井換気扇 東芝キヤリア㈱ 三菱電機㈱ 空調換気扇 パナソニックエコシステムズ㈱			

製造業者指定				
分類	機材名	製造業者名		
ポンプ	渦巻・多段ポンプ	㈱荏原製作所 ㈱川本製作所 ㈱相互ポンプ製作所 テラル㈱ ㈱日立産機システム ㈱鶴見製作所		
		水中汚水ポンプ	㈱荏原製作所 エレポン㈱ ㈱川本製作所 新明和工業㈱ ㈱相互ポンプ製作所 ㈱鶴見製作所 テラル㈱ ㈱日立産機システム	
			水槽	水槽類（ステンレス製 溶接組立形） ㈱小笠原工業所 ㈱ベルテクノ 森松工業㈱
				膨張タンク（密閉形隔膜式）
			FRP製水槽	
	●消火器具			屋内消火栓 ホーチキ㈱ ㈱北浦製作所 屋外消火栓 ニッタン㈱ ㈱初田製作所 ホース・ノズル等 日本ドライケミカル㈱ ㈱立売堀製作所 連結送水管（送水口・放水口） ヤマトプロテック㈱ ㈱横井製作所
	衛生器具	衛生陶器及び付属器具等 T O T O ㈱ ㈱ L I X I L		
	●排水金具	排水金具 カネソウ㈱ ㈱小島製作所 ダイドレ㈱ ㈱長谷川鋳工所 福西鋳物㈱		
	鋳鉄製ふた	マンホールふた 弁樹ふた	カネソウ㈱ ㈱小島製作所 ダイドレ㈱ ㈱長谷川鋳工所 福西鋳物㈱	

製造業者指定		
分類	機材名	製造業者名
●阻集器	グリーストラップ	カネソウ㈱ ダイドレ㈱ 福西鋳物㈱ ホーコス㈱ 積水アクアシステム㈱
●湯沸器等	ガス湯沸器	大阪ガス㈱ ㈱ノーリツ ㈱パロマ リンナイ㈱ ㈱長府製作所 パーパス㈱
		貯湯式電気温水器 ヒートポンプ給湯器
●昇降機	エレベーター 小荷物専用昇降機	東芝エレベータ㈱ フジテック㈱ ㈱日立ビルシステム 三菱電機㈱ 日本エレベーター製造㈱ クマリフト㈱
●濾過装置	プール用濾過機 浴室用濾過機	オルガノ㈱ 栗田工業㈱ ㈱アクアプロダクト ローレル㈱ ミウラ化学装置㈱ 理水化学㈱ 東西化学産業㈱ ㈱ノーリツ ゼオライト㈱
		その他
●印は設備機材等評価名簿に記載のない機材等を示す。		
※明石市都市局住宅・建築室営繕課発注工事は、当課作成のメーカーリストの中より選択しメーカーを決定することを原則とする。メーカーリストに記載がない品名については、一般社団法人「公共建築協会」発行の、設備機材等評価名簿より選択する。双方の場合とも、監督員の承諾を得るものとする。		

2023年4月改定



<p>屋外露出部 保温付被覆銅管（冷媒管）の保温施工要領図</p> <p>注) 冷媒配管の支持には、保護プレートを使用すること</p>	<p>天井内・PS内 保温付被覆銅管（冷媒管）の保温施工要領図</p> <p>注) 冷媒配管の支持には、保護プレートを使用すること</p>	<p>天井内・PS内 ドレン管保温施工要領図</p> <p>注) その他、冷温水ドレン管の保温は、排水管に準じること</p>	<p>冷媒管壁貫通部参考図</p>
---	---	--	-------------------

室外機コンクリート基礎の施工要領図

注) 基礎配筋はD10-@200とすること
 注) 必要に応じてフェンスや風向板を設置のこと
 注) 室外機のドレンは、原則最寄りの側溝等へ配管すること

屋上、土間上配管支持要領図

※・屋外及び屋内多湿場所はSUS製とすること

露出防水層のない場合

露出防水層のある場合

ドレン配管・冷媒配管 要領図

(注記)
 1. 特記無きドレン管の放流先は最寄りのドレン、側溝もしくは雨水樹への放流とすること。

その他

- ・県条例に基づく騒音の届出は、必ず届出すること。
- ・空調機の冷媒配管は、メーカー毎に配管長に関する条件が異なるため、機器選定及び施工図作成にあたり、配管経路を十分に確認すること。
- ・渡り廊下に露出配管する場合は、原則、梁下でなく側面に行うこと。
- ・パナソニックエアコンの室外機ドレン管は、原則設置しない。ただし、高所の壁付け等で下部歩行者への配慮が必要な場合は設置する。
- ・エアコンのドレン防虫網は、原則取付けない。

2021年4月改定

機器標準仕様	名称	規格・仕様	機器・付属品等（◎印を適用。◎印なき場合※印を適用）	共通事項
和風大便器	保育所・幼稚園児用大便器 (幼児用掃除口付和風大便器)	C103VCS(TOTO参考品番) C-715BM(LIXIL参考品番)	※陶器製ロータンク(蓋固定 ※有・無) ・フラッシュ ・リモコン洗浄 ・SUS製紙巻器 ※樹脂製紙巻器	紙巻器は ワンタッチ とする
	小中学生、大人用大便器 (和風洗出し床上給水大便器)	旧JIS C311R (注)JIS A5207改正(2014年)で和風便器の区分廃止	※陶器製ロータンク(蓋固定 ※有・無) ・フラッシュ ・リモコン洗浄 ※SUS製紙巻器 ・樹脂製紙巻器	
洋風大便器	保育所・幼稚園児用大便器 (タンク式床置幼児用節水Ⅱ形便器)	JIS C760S	※陶器製ロータンク(蓋固定 ※有・無) ・フラッシュ ・リモコン洗浄 ※暖房便座 ・普通便座 ・SUS製紙巻器 ※樹脂製紙巻器	紙巻器は ワンタッチ とする
	小中学生、大人用大便器 (タンク式床置サイホン節水Ⅱ形便器)	JIS C1200S	※陶器製ロータンク(蓋固定 ※有・無) ・フラッシュ ・リモコン洗浄 ◎温水洗浄便座 ※暖房便座 ・普通便座(蓋付ソフト閉止) ※SUS製紙巻器 ・樹脂製紙巻器	
小便器	保育所・幼稚園児用小便器 (幼児用小便器)	グリップ付壁掛け U310GY(TOTO品番指定)	※押ボタン式洗浄 ・自動洗浄(乾電池式)	紙巻器は ワンタッチ とする
	小中学生、大人用小便器 (専用洗浄弁式壁掛小便器大形) 学校用水石鹸入れ	JIS U620 (株)アルファ製	・押ボタン式洗浄 ※自動洗浄(自己発電式) ※JACホトルホルダースセット P-○ 容量1L(アルファ石鹸液iG-N用)	

JIS S 0026 : 2007公共トイレにおける便房内操作部の形状、色、配置及び器具の配置

便器洗浄ボタンの紙巻器との垂直距離(Y₃)がこの規格に示す設置寸法(約100~200mm)以外となる場合の配置例

X₁: 便器前方へ約0~100
X₂: 便器後方へ約100~200
X₃: 約200~300
Y₁: 便器上方へ約150~400
Y₂: 便器上方へ約400~550
Y₃: 約100~200

JIS S 0026 表1
操作部及び紙巻器の配置及び設置寸法

JIS S 0026 解説図 2-2
手すりを設置する場合

JIS S 0026 解説図 2-2
柵付紙巻器を設置する場合

紙巻器取付け高さ参考図 (※カッコ内寸法は低学年用)

	和風大便器		洋風大便器		洋風大便器(手摺り有り)	
	小学校・大人用(保育所・幼稚園)	保育所・幼稚園	小中学校・大人用	保育所・幼稚園	小中学校・大人用	小中学校・大人用
平面図						
正面図						
側面図						

『参考』衛生器具の取付け高さ(幼稚園・小学校・中学校)

洗面器(床面より前縁上端まで)	鏡(床面より鏡下端まで)
幼稚園: 500mm 小学校: 600~650mm 中学校・一般: 750mm 障害者用トイレ: 760mm	幼稚園: 800mm 小学校: 900mm 中学校・一般: 1000mm(※標仕1400~1500鏡中心まで) 障害者用トイレ: 800mm

※福まち条例: 洗面器上端部にできるだけ近い位置を鏡の下端とし
上方へ100cm以上の高さで設置すること
※配管ハックの高さは建築と十分に調整すること(原則として鏡下端-100mm)

水栓(廊下手洗い) ステンレス流しは建築工事のため確認すること

※掃除流し台は、工事フタ(ビス止 取外し式)付きとする。
※各水栓は節水こまどすること

小学校 手洗い流し台
掃除用流し台
中学校 手洗い流し台
掃除用流し台

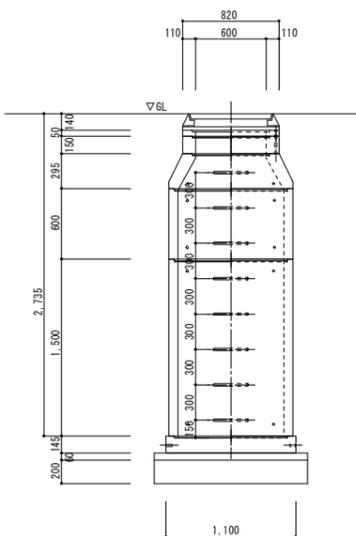
排水トラップ
T14AA-K (50A)
OSNK-AA (40A)

2022年4月改定

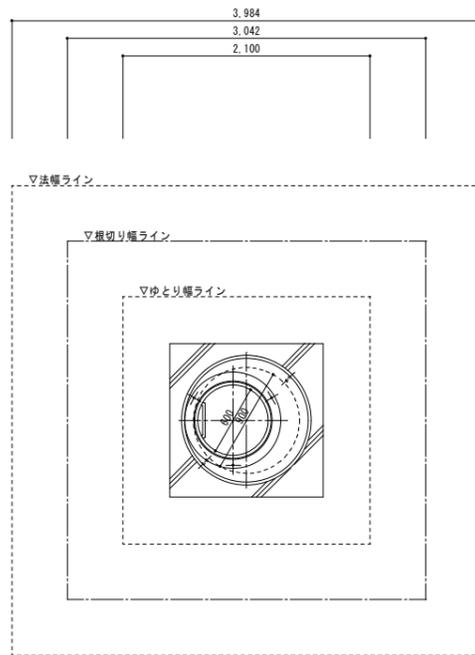
配管凡例				
記号	名称	管種	適用	備考
(新設)				
≡≡≡	マンホール内配管	配管用ステンレス鋼管 SUS304TP-Sch20S/フランジ	JIS G 3459	マンホール内
≡≡≡	流入排水管	硬質PVC埋込管 VP	JIS K 6741	地中
≡≡≡	放流排水管	下水道用ポリエチレン管/電気融着	JSWAS K-14	地中

排水機器表 (新設)					
記号	名称	仕様	数量	備考	
PDU 1	マンホール ポンプ	汚水流入	40L/分	2台1セット	
		形式	マンホール用ポンプ (汚水・汚物水)、ボルテックスタイプ		
		能力	50φ×120L/分×6m (異物通過能力50mm)		
		電動機	3相200V×0.75kW×2台 (最大1台運転)		
		型式	型式: 乾式、保護装置: オートカット又はサーマルプロテクタ		
		運転方式	水位による自動運転、単独交互運転		
		付属品	制御盤 (自立又はスタンド形)、故障監視盤		
			着脱装置、予戻回槽、汚物用逆止弁 (ボール) × 2、ボール弁 × 2		
			投げ込み式水位計、フロートスイッチ (バックアップ用)		
			ケーブル長20m以上 その他、共通仕様書による		

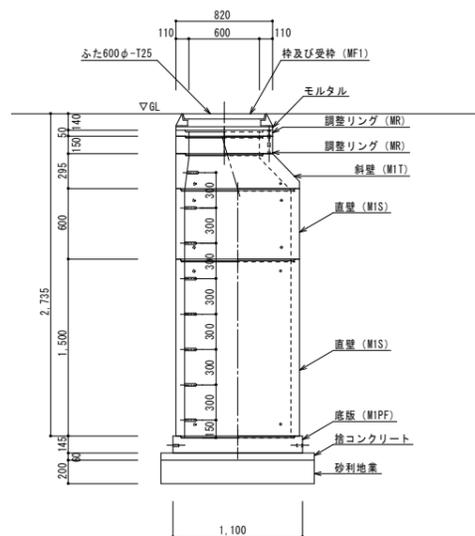
特記事項	
ポンプ	<p>ポンプ及びマンホール底面はスクラム対策構造とする。</p> <p>本ポンプは汚水を排水するもので、水中において連続運転に耐えうる堅ろうな構造とする。</p> <p>ポンプは振動や騒音が少なく、円滑に運転できるとともに、特に有害なキャビテーション現象が発生しないような構造とする。</p> <p>乾式水中誘導電動機とし、起動方式は直入れとする。</p> <p>電動機保護のためモータ内部にはオートカットまたは、サーマルプロテクタを装備するものとする。</p> <p>ケーシングは内部圧力及び振動等に対する機械的強度並びに腐食、摩耗を考慮した鋼鉄製 (FC200以上) とする。</p> <p>また、ケーシングは分解、組立が容易であるものとする。</p> <p>羽根車はステンレス鋼製 (SUS13) とし、羽根車のバランスは十分に取り、回転時に振動、騒音を引き起こす原因にならない構造とする。</p> <p>主軸は電動機軸を延長したもので、伝達トルク及び振動に對しても十分な強度を有する13Crステンレス鋼製とする。</p> <p>軸封部にはメカニカルシールを用い、運転中、停止中を問わず異物がモータ内に侵入しないよう中間に潤滑油を密封した二段構造とする。</p> <p>回転部重量及び水カラストは、電動機に内装した軸受にて支持するものとし、長時間の連続運転に耐えうる構造とする。</p> <p>ポンプの付属品として、着脱ベンド (FC200以上)、ガイドパイプ (SUS304)、ガイドホルダ (SUS304)、吊上げチェーン (SUS304) 各1式を納入のこと。</p>
制御盤	<p>盤の主要構造材料は、収納機器の重量、作動による衝撃などに十分耐える強度を有するものとする。</p> <p>ドアには鍵を設ける。</p> <p>防雨性を有し、雨水のたまりない構造とする。</p> <p>盤類の形状及び寸法は納入仕様書において決定するものとする。</p> <p>主回路の電圧は交流200Vとする。</p> <p>主回路に用いる母線及び接続導線は銅を使用し、規定の条件のもとに定格電流及び定格短時間電流を流しても十分にこれに耐えるものとする。</p> <p>制御電源は主回路より分岐する。</p>
水位計	<p>水位計は投げ込み式水位計とする。</p> <p>これら水位計の故障時のバックアップ用として、高水位 (HHWL) より上の水位にフロートスイッチを1個設けるものとする。</p>
ポンプ運転制御	<p>水位による自動運転</p> <p>マンホール内の水位が運転開始水位 (HML) になると、ポンプ1台が自動始動し送水する。</p> <p>その後、水位が停止水位まで低下すると自動停止する。</p>
ポンプの運転方法	<p>運転方法は単独交互運転とする。</p> <p>ポンプ2台の内1台が運転し、残り1台は待機する。運転中のポンプが停止水位に到達後、自動停止し、再び水位上昇により運転開始水位 (HML) に達すると待機していたポンプが運転し、停止したポンプは待機状態に入る。以後これを繰返し交互運転する。</p>
飛び越し運転	<p>運転中にポンプが故障した場合は、待機中のポンプが運転を開始し、故障ポンプ復旧するまで1台のポンプで運転を継続する。</p>
組立式マンホールの構造・品質	<p>公益社団法人日本下水道協会による認定適用資器材とする。</p>
検査	<p>製作工場においてポンプはJISB8301、JISB8302に基づき、組立完成後に性能試験を行い、制御盤は耐圧試験、動作試験を行い、マンホールはコンクリートの圧縮強度試験を行うものとする。</p> <p>現地において総合試験を実施し、正常な運転が行われていることを確認するものとする。</p>



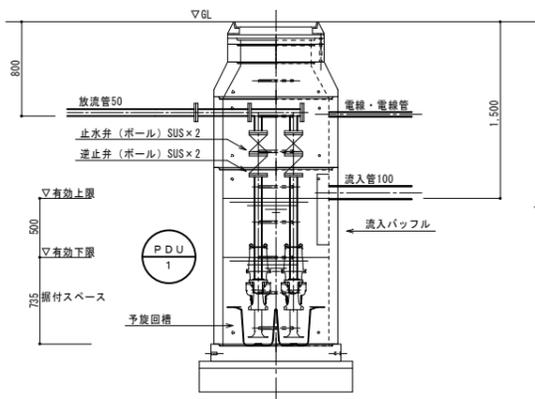
1号組立マンホール横断面図 1/30



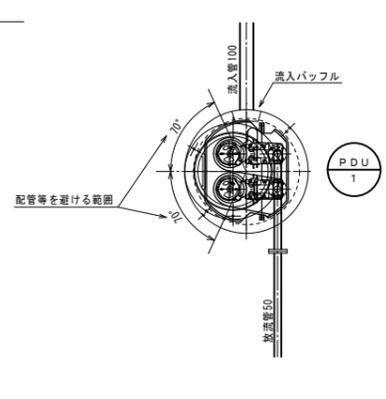
1号組立マンホール平面図 1/30



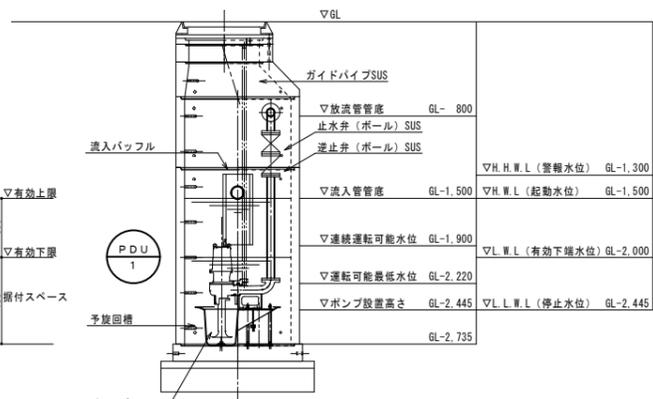
1号組立マンホール縦断面図 1/30



ポンプ廻り横断面図 1/30



ポンプ廻り平面図 1/30



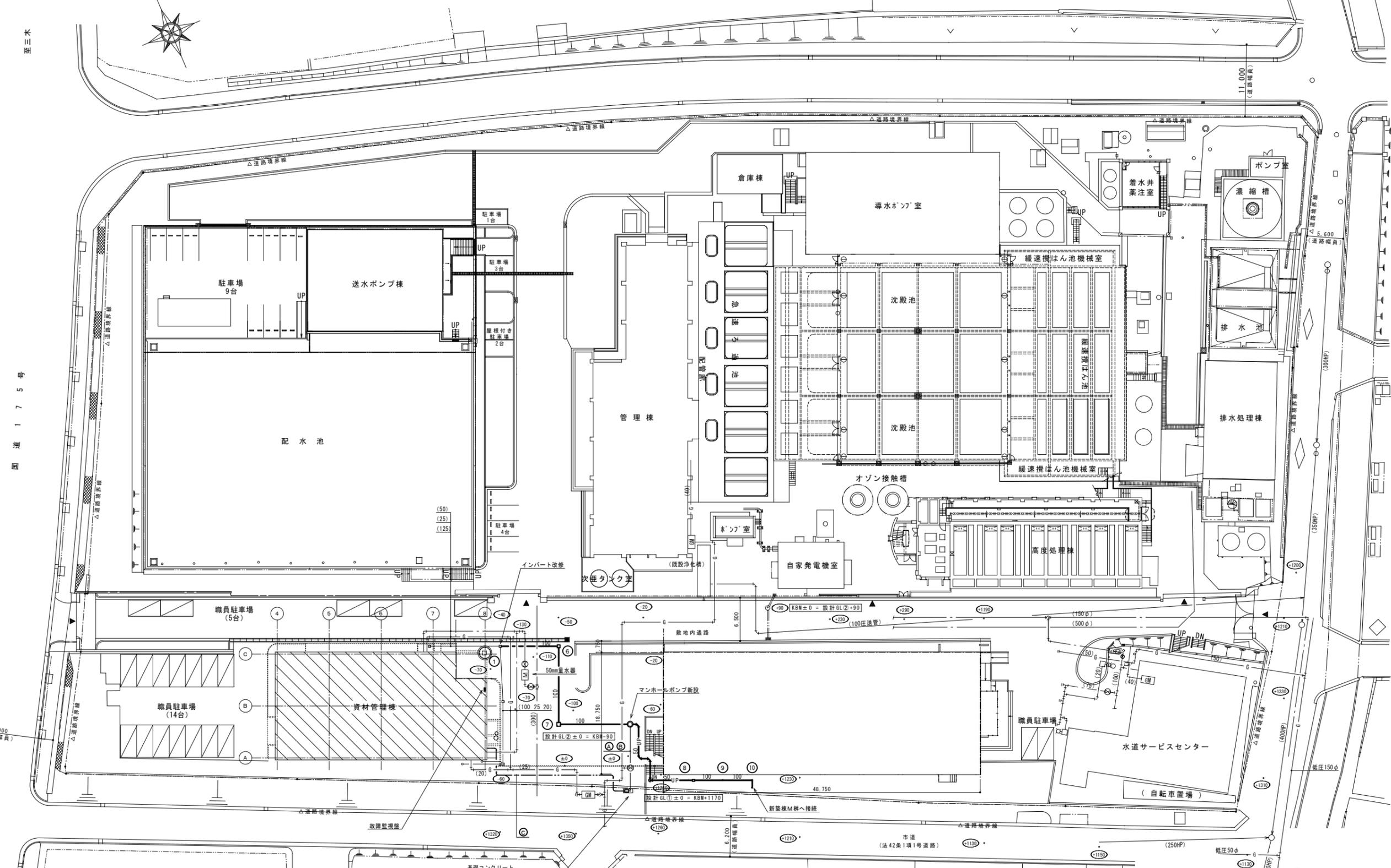
ポンプ廻り縦断面図 1/30



至三水

国道175号

至明石



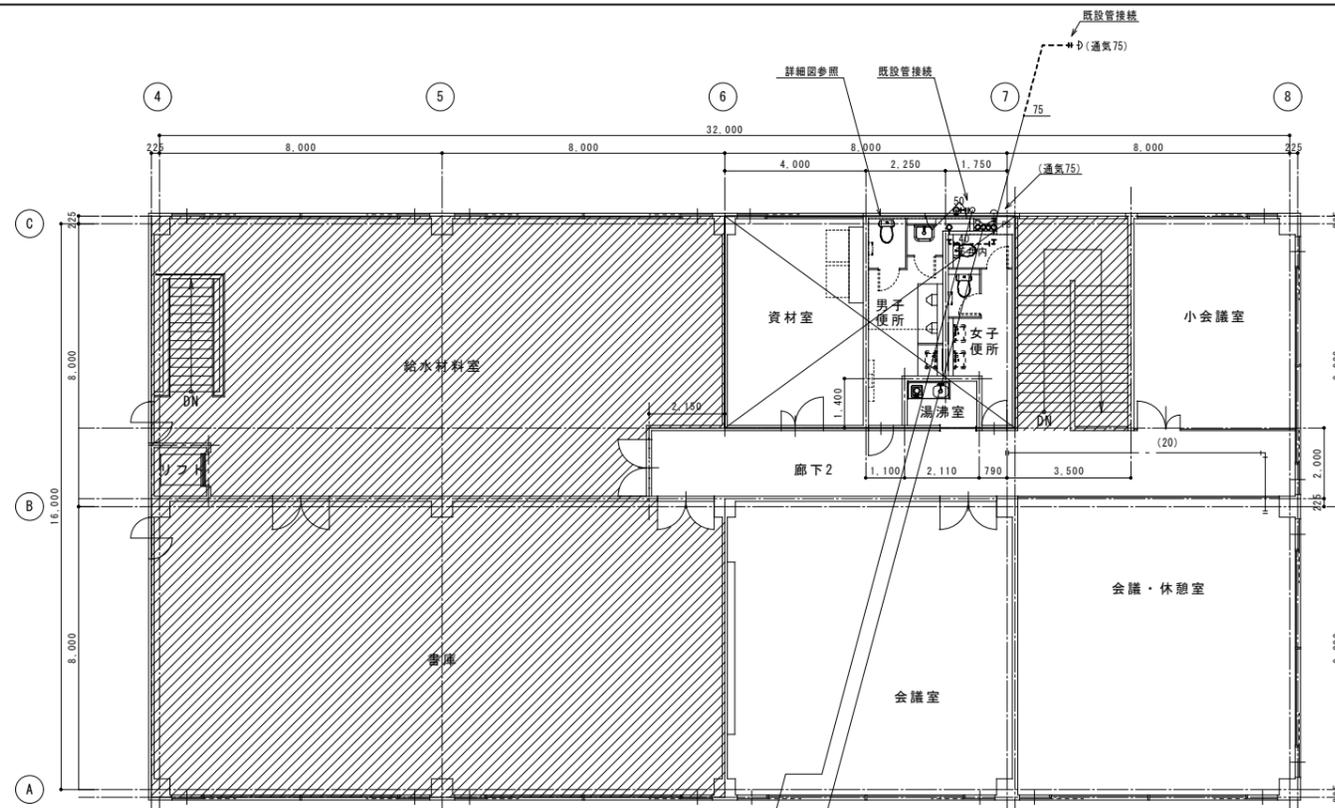
湛水レベル: TP5.92 (設計GL①+90)
 設計GL①: TP+5.83
 設計GL②: TP+4.57

配線リスト

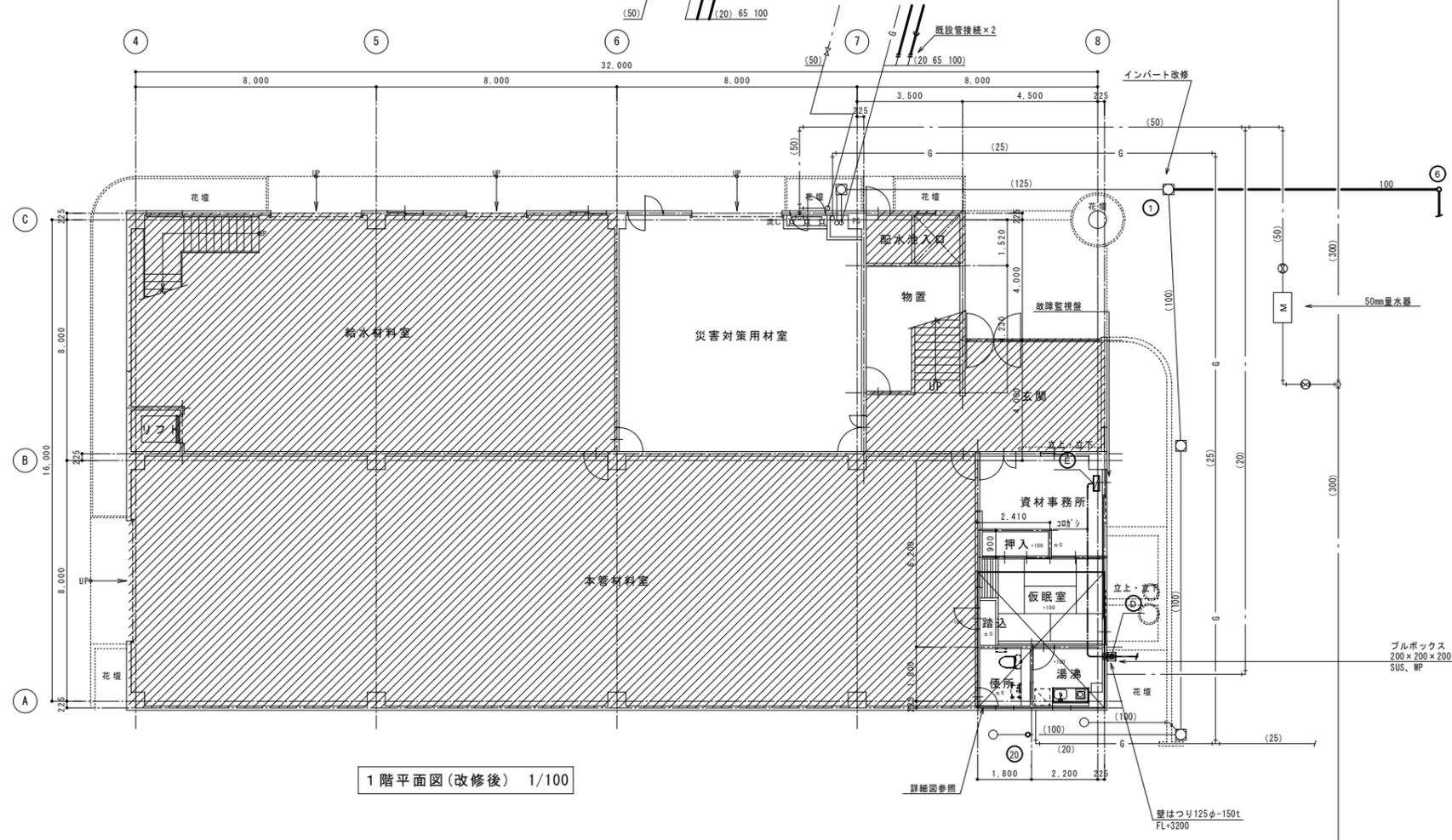
記号	電線	電線管	行先
Ⓐ	ポンプ付風線×2台	FEP30	ポンプ～制御盤
Ⓑ	投げ込み式水位計付風線	FEP40	ポンプ～制御盤
Ⓒ	フロートスイッチ付風線		
Ⓓ	EM-GEE1.25-3C	FEP30	制御盤～監視盤
Ⓔ	EM-GEE1.25-3C	G22	制御盤～監視盤
Ⓕ	EM-GEE1.25-3C	VE16	制御盤～監視盤

凡例

***	設計GL②からの高さを示す
-----	---------------



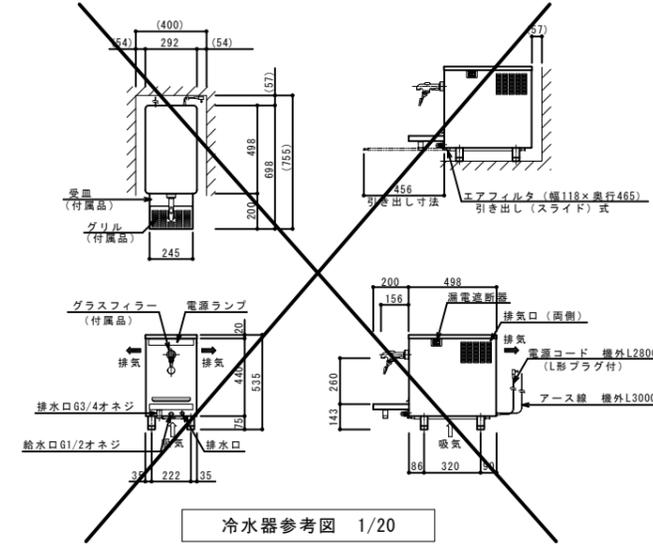
2階平面図(改修後) 1/100



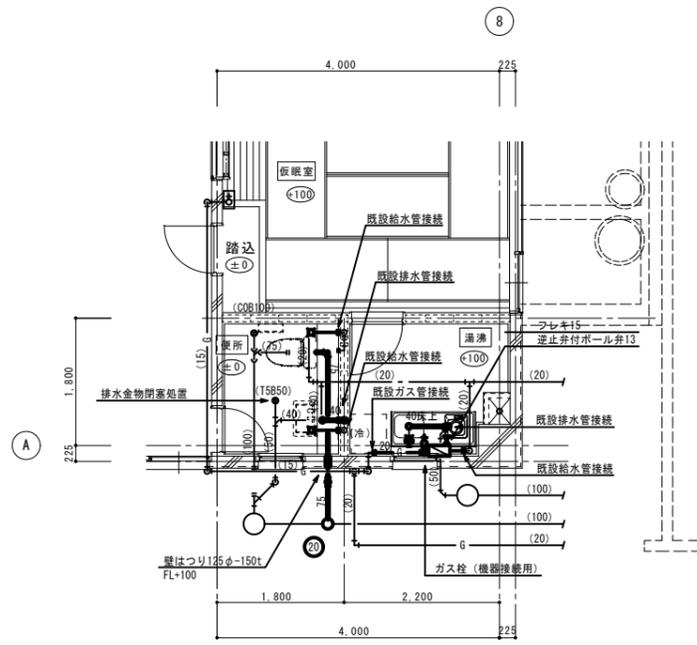
1階平面図(改修後) 1/100

凡例	
***	FLからの高さを示す
////	改修範囲外を示す

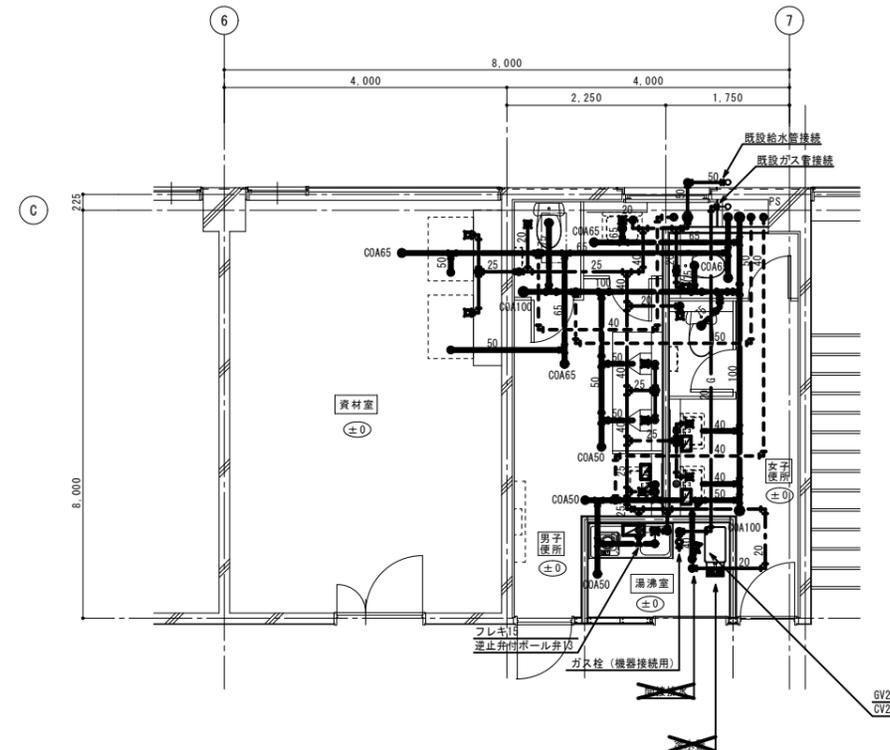
浸水レベル: TP5.92 (設計GL①+90)
 設計GL①: TP+5.83
 設計GL②: TP+4.57



冷水器参考図 1/20



1階平面詳細図 (改修後) 1/50



2階平面詳細図 (改修後) 1/50

床貫通リスト				
開口径	厚さ	給水	排水	ガス
75φ	150t			1
100φ	150t	8	15	
125φ	150t	3	9	
150φ	150t	1	3	

空調機器表 (新設)

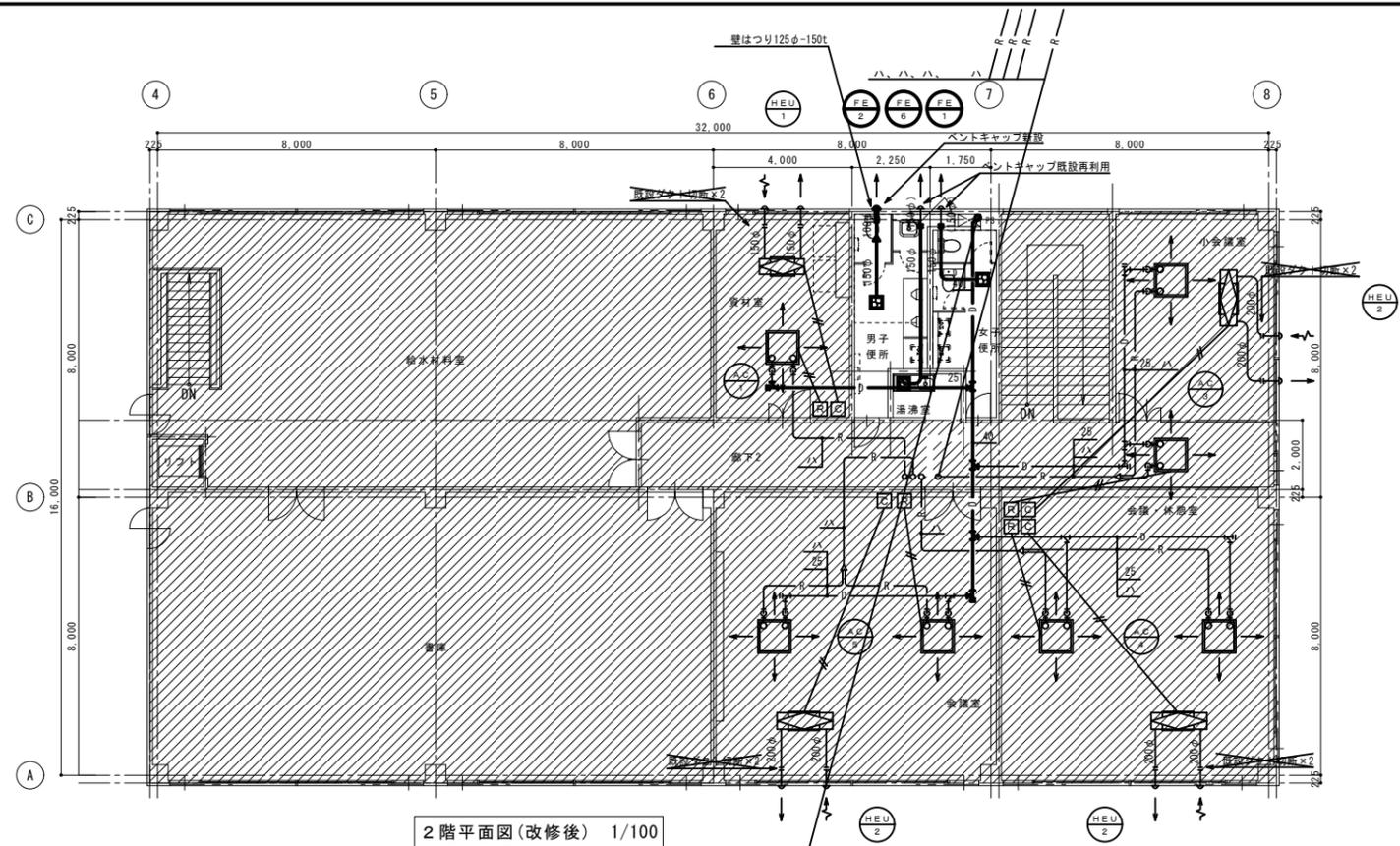
機器番号	名称	形式	仕様				付属品	台数	設置場所	備考	
			冷房能力 定格 (kW)	暖房能力 定格 (kW)	電源 (φ-V)	電動機出力					
						圧縮機 (kW)					送風機 (kW)
AC1	パッケージ形 空気調和機	室内機：天井カセット形 (4方向吹出)	10.0	11.2	3-200	1.95 外 0.186	0.106 外 0.186	ドレンアップユニット・化粧パネル ワイヤードリモコン・防振吊金具	1	1階資料室	耐塩害仕様
AC2	パッケージ形 空気調和機	室内機：天井カセット形 (4方向吹出)	10.0	11.2	3-200	1.95 外 0.186	0.106 外 0.186	ドレンアップユニット・化粧パネル ワイヤードリモコン・防振吊金具	1	1階会議・休憩室	耐塩害仕様
AC3	パッケージ形 空気調和機	室内機：天井カセット形 (4方向吹出)	12.5	14.0	3-200	2.45 外 0.186	0.106 外 0.186	ドレンアップユニット・化粧パネル ワイヤードリモコン・防振吊金具	1	1階小会議室	耐塩害仕様
AC4	パッケージ形 空気調和機	室内機：天井カセット形 (ツイング)	20.0	22.4	3-200	4.61 外 0.451	0.106×2 外 0.451	ドレンアップユニット・化粧パネル ワイヤードリモコン・防振吊金具	1	1階会議・休憩室	耐塩害仕様
AC5	パッケージ形 空気調和機	室内機：天井カセット形 (ツイング)	25.0	28.0	3-200	5.95 外 0.451	0.106×2 外 0.451	ドレンアップユニット・化粧パネル ワイヤードリモコン・防振吊金具	1	1階会議室	耐塩害仕様
RA1	ルームエアコン (再取付)	室内機：壁掛け形	4.0	5.0	1-200	1.1 外 0.031	0.024 外 0.031		1	1階仮眠室	室内：F40ZEP-W 屋外：R40ZEP (ダイキン) 2022
RA2	ルームエアコン	室内機：壁掛け形	4.0	5.0	1-200	1.1 外 0.031	0.025 外 0.031	ワイヤレスリモコン、リモコンホルダー 壁面置台 (メッキ)	1	1階資料事務所	耐塩害仕様

図示記号	液管/ガス管
A	6.4/9.5
B	9.5/15.9
C	9.5/25.4

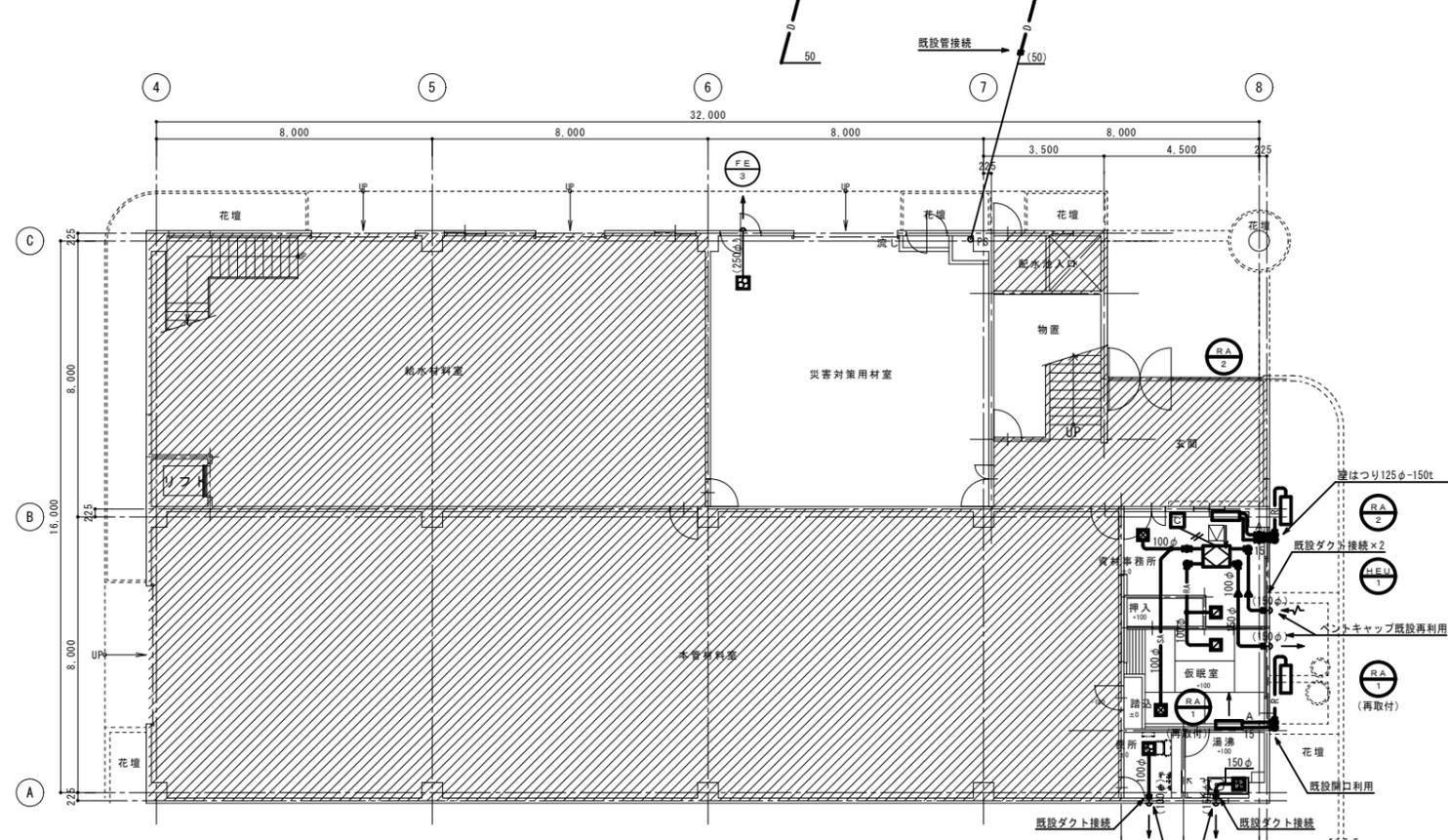
- (共通 注意事項)
- ※ パッケージ形空気調和機の冷房能力及び消費電力はJISB8616の条件での値を示す。
 - ※ 冷媒はオゾン係数0のものとする。
 - ※ 冷房又は暖房の電流値が20Aを超える機器は、高調波抑制対策機器を設置すること。
 - ※ 室内機の吊ボルトは振止支持を行うこと。
 - ※ 防火区画貫通部の処置は、令129条の2の4第1項第七号の規定に適合させること。
 - ※ 空調冷媒管の防火区画貫通部は、国土交通省大臣認定工法とする。
 - ※ 換気の運転は強運転による。

換気機器表 (新設)

記号	名称	仕様	電源	台数	設置場所	備考
FE1	換気扇	天井埋込形換気扇 低騒音タイプ	1相-100V	1	2階女子便所	
	能力	150φ×270m ³ /h×30Pa	50W			
	付属品	天吊金具				
FE2	換気扇	天井埋込形換気扇	1相-100V	1	2階男性便所	
	能力	150φ×300m ³ /h×135Pa	90W			
	付属品	SUS製深形フード (風圧シャッター・ギャラリ付) 100φ、天吊金具				
FE3	換気扇 (既設そのまま)	天井埋込形換気扇	1相-100V	1	1階災害対策用材室	
	能力	250φ×650m ³ /h				
	付属品					
FE4	換気扇	天井埋込形換気扇	1相-100V	1	1階便所	
	能力	100φ×100m ³ /h×20Pa	20W			
	付属品	天吊金具				
FE5	換気扇	天井埋込形換気扇 オール金属 低騒音タイプ	1相-100V	1	1階湯沸	
	能力	150φ×400m ³ /h×50Pa	90W			
	付属品	天吊金具				
FE6	換気扇	天井埋込形換気扇 オール金属 低騒音タイプ	1相-100V	1	2階湯沸室	
	能力	150φ×400m ³ /h×70Pa	90W			
	付属品	天吊金具				
HEU1	全熱交換ユニット	天井埋込形 DCマイコンタイプ	1相-100V	1	1階資料事務所	24時間換気対象機器
	能力	100φ×120m ³ /h×50Pa	75W			
	付属品	コンパクトリモコン、給排気グリル (樹脂製) 100φ接続×4、防振吊金具				
HEU2	全熱交換ユニット	天井埋込形 DCマイコンタイプ	1相-100V	1	1階資料室	24時間換気対象機器
	能力	200φ×300m ³ /h×60Pa	232W			
	付属品	コンパクトリモコン、化粧パネル、防振吊金具				
HEU3	全熱交換ユニット	天井埋込形 DCマイコンタイプ	1相-100V	1	1階小会議室	24時間換気対象機器
	能力	100φ×120m ³ /h×15Pa	80W			
	付属品	コンパクトリモコン、化粧パネル、防振吊金具				
HEU4	全熱交換ユニット	天井埋込形 DCマイコンタイプ	1相-100V	1	1階会議・休憩室	24時間換気対象機器
	能力	200φ×400m ³ /h×85Pa	240W			
	付属品	コンパクトリモコン、給排気グリル (樹脂製) 200φ接続×2、防振吊金具				
HEU5	全熱交換ユニット	天井埋込形 DCマイコンタイプ	1相-100V	1	1階会議・休憩室	24時間換気対象機器
	能力	200φ×400m ³ /h×100Pa	240W			
	付属品	コンパクトリモコン、給排気グリル (樹脂製) 200φ接続×2、防振吊金具 給気：SUS製深形フード (既設新付) 200φ 排気：SUS製深形フード (ギャラリ付) 200φ				
HEU6	全熱交換ユニット	天井埋込形 DCマイコンタイプ	1相-100V	1	1階会議室	24時間換気対象機器
	能力	250φ×600m ³ /h×140Pa	420W			
	付属品	コンパクトリモコン、給排気グリル (樹脂製) 250φ接続×2、防振吊金具				
HEU7	全熱交換ユニット	天井埋込形 DCマイコンタイプ	1相-100V	1	1階会議室	24時間換気対象機器
	能力	250φ×600m ³ /h×90Pa	420W			
	付属品	コンパクトリモコン、給排気グリル (樹脂製) 250φ接続×2、防振吊金具 給気：SUS製深形フード (既設新付) 250φ 排気：SUS製深形フード (ギャラリ付) 250φ				



2階平面図 (改修後) 1/100

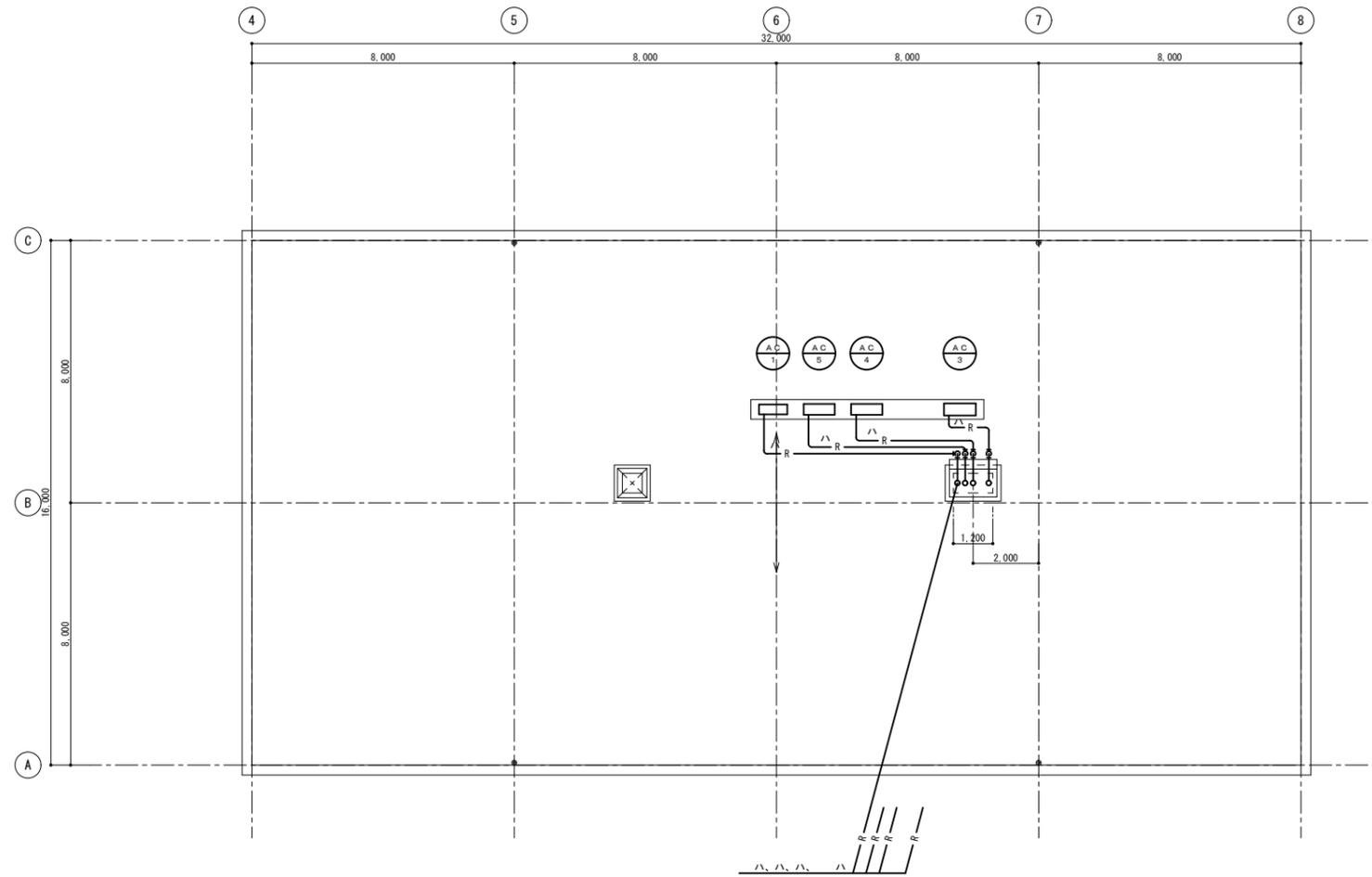


1階平面図 (改修後) 1/100

凡例	
	EM-GEE-S (コログシ、立下部MMA)
	空調リモコンスイッチ
	換気コントロールスイッチ

- ※ 全熱交換機のダクト保温は以下による。
- 一次側OAダクト (・全周GW25t巻)
- 一次側EAダクト (・外壁より2mをGW25t巻)
- 二次側SAダクト (・全周GW25t巻)
- 二次側RAダクト (・保温なし)
- ※ 給湯室のダクト保温は以下による。
- 給湯室EAダクト (・全周RW50t巻)

凡例	
	FLからの高さを示す
	改修範囲外を示す



屋根伏図(改修後) 1/100

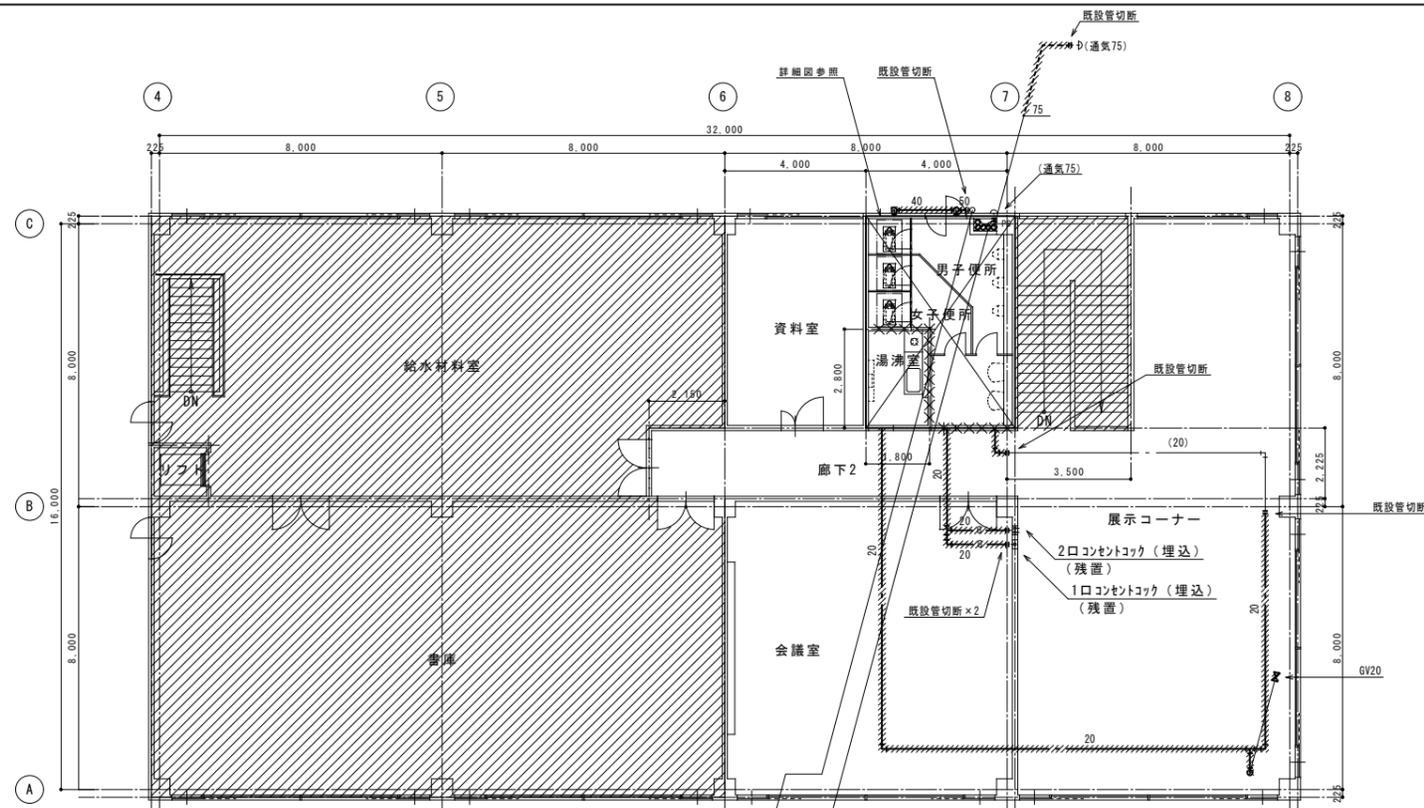
配管架台参考図

記号	形鋼	L	H	数量
Ⓐ	L50×50×4	300	500	9
Ⓑ	L50×50×4	500	500	6
Ⓒ	L50×50×4	600	500	1

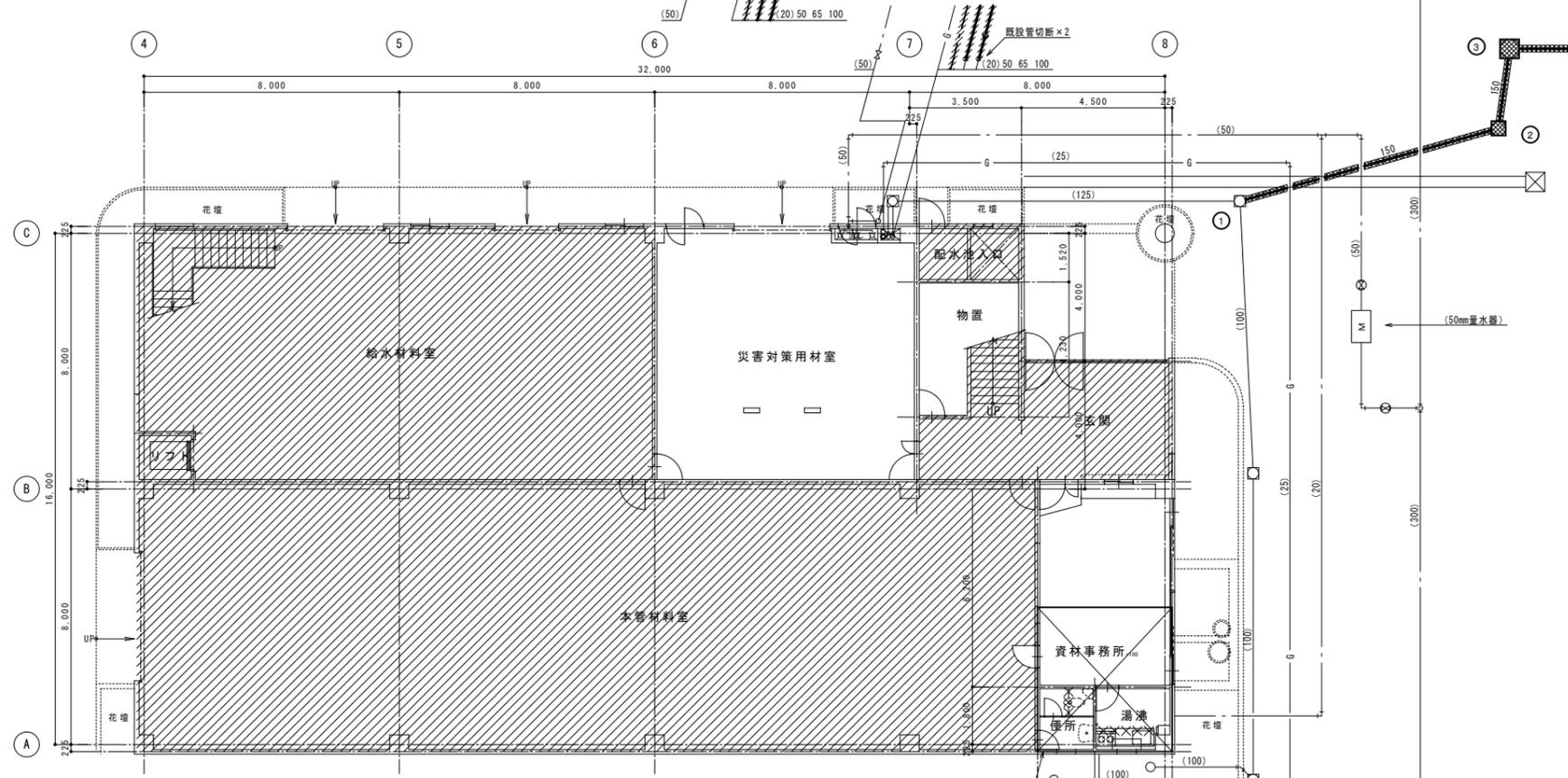
注記: ステンレス製 (SUS304) とする。
高さHは、現場で調整のこと。

衛生器具表 (撤去)		合 計	1階		2階				屋 外	備 考
名 称	記 号 設 置 場 所		便 所	湯 沸	展 示 コ ー ナ ー	湯 沸 室	女 子 便 所	男 子 便 所		
和風大便器	ロータンク式 紙巻器共	1	1							
和風大便器	フラッシュ式 紙巻器共	3				2	1			
小便器	フラッシュ式床置	3					3			
洗面器	水栓 1個付	3	1					2		
鏡		3	1					2		
立水栓	13mm	2		1	1					
ガス湯沸器	給湯専用壁掛け 5号	2		1	1					
ガスコック	一口	4		2	2					

※付属品共撤去のこと



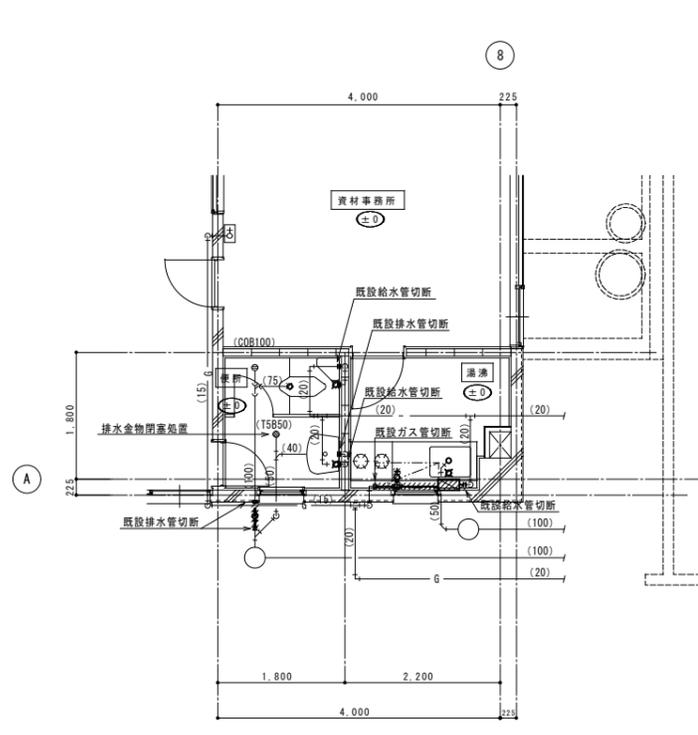
2階平面図(改修前) 1/100



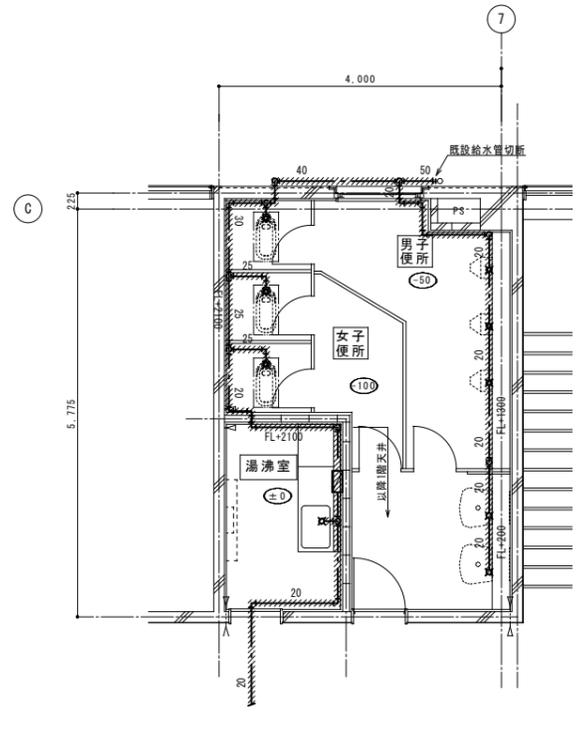
1階平面図(改修前) 1/100

凡例	
***	F Lからの高さを示す
////	改修範囲外を示す

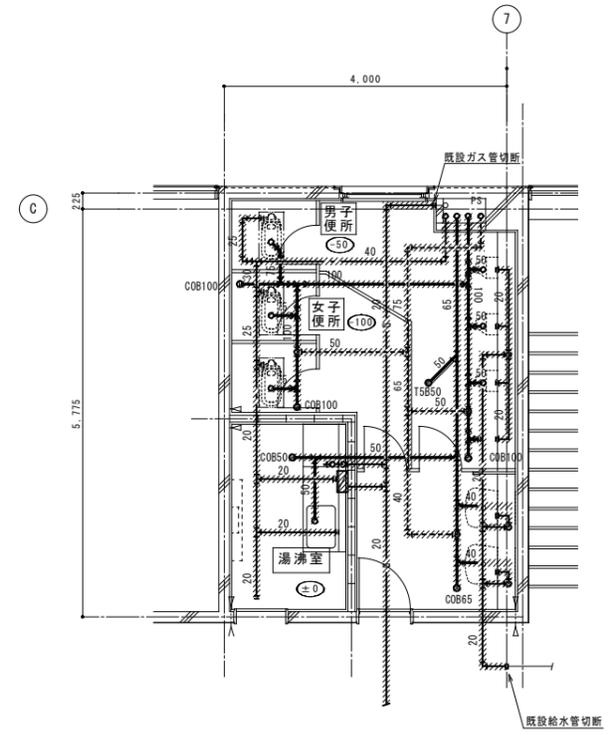
浸水レベル: TP5.92 (設計GL①+90)
 設計GL①: TP+5.83
 設計GL②: TP+4.57



1階平面詳細図(改修前) 1/50



床上配管
2階平面詳細図(改修前) 1/50



見下図面
2階平面詳細図(改修前) 1/50

個別エアコン	
図示記号	液管/ガス管
イ	6.4/9.5
ロ	6.4/12.7
ハ	9.5/15.9

空調機器表 (撤去)

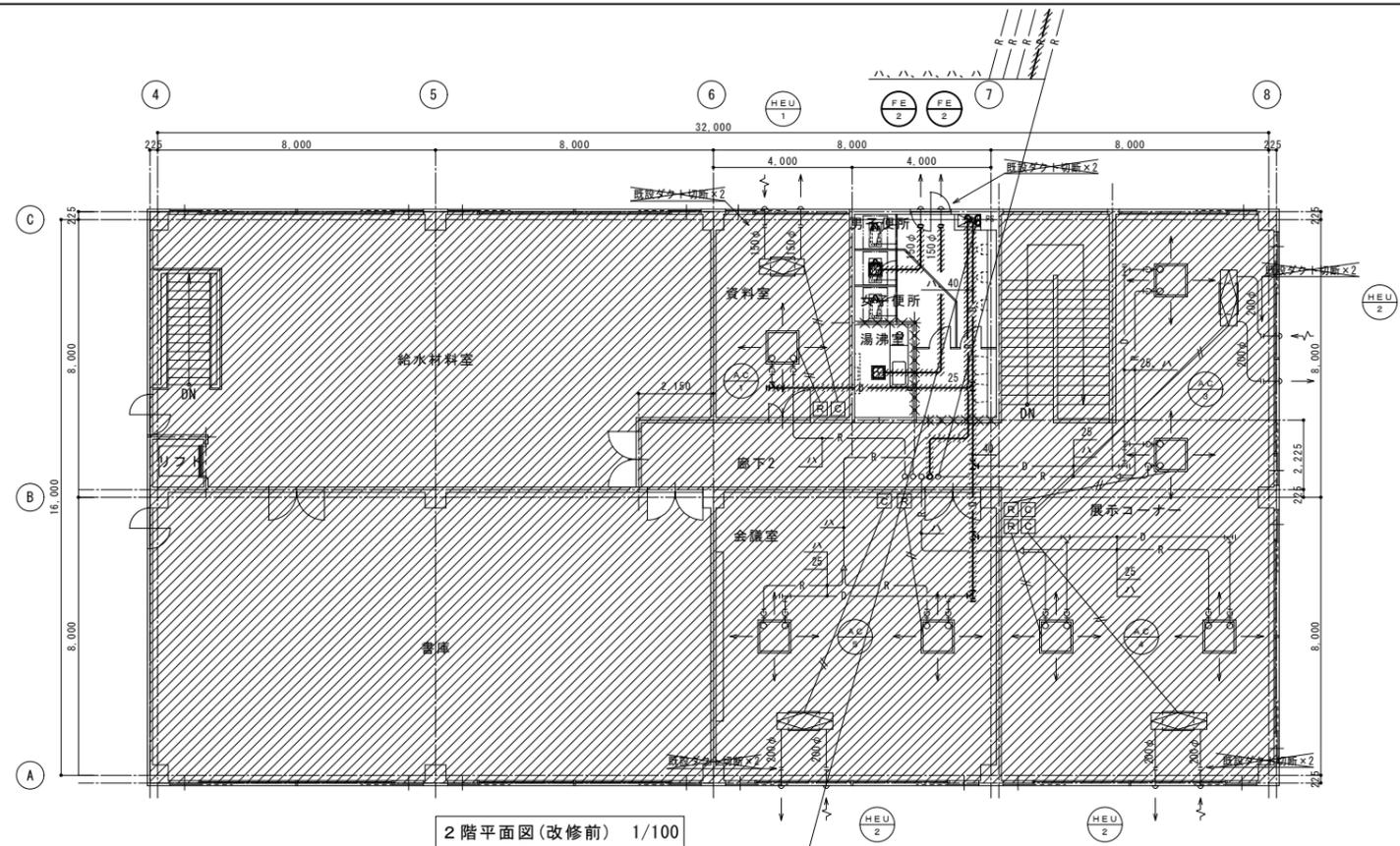
機器番号	名称	形式	参考寸法・質量	仕様				台数	設置場所	備考		
				冷房能力 定格 (kW)	暖房能力 定格 (kW)	電源 (φ-V)	電動機出力					
							圧縮機 (kW)				送風機 (kW)	
A/C 1	パッケージ形 空調和機 (冷媒: R22-3.4kg)	室内機: 天井カセット形	室内機	850W×770D×300H・34kg	5.000	5.500	3-200	1.7	内 0.04	1	2階資料室	室内: FHYC50CA 屋外: RY500T (ダイキン) 1991
			屋外機	860W×800D×690H・56kg				外 0.03				
A/C 2	パッケージ形 空調和機 (冷媒: R22-3.4kg)	室内機: 天井カセット形	室内機	850W×770D×300H・36kg	6.300	6.800	3-200	1.9	内 0.05	1	1階資材事務室	室内: FHYC63CA 屋外: RY63D (ダイキン) 1991
			屋外機	880W×320D×860H・80kg				外 0.075				
A/C 3	パッケージ形 空調和機 (冷媒: R410A-4.9kg)	室内機: 天井カセット形 (ツイン)	室内機	840W×840D×300H・30kg	14.0	16.0	3-200	3.8	内 0.12×2	1	2階展示コーナー	室内: FDTVP804AG×2 屋外: FDCVSP1604HAG (三菱重工) 2016
			屋外機	970W×370D×1500H・114kg				外 0.19				
A/C 4	パッケージ形 空調和機 (冷媒: R410A-4.6kg)	室内機: 天井カセット形 (ツイン)	室内機	840W×840D×260H・20kg	14.0	16.0	3-200	3.3	内 0.05×2	1	2階展示コーナー	室内: PL-ERP80EA3×2 屋外: PUZ-ERP160LA3-BS (三菱電機) 2015.7
			屋外機	950W×300D×1350H・92kg				外 0.12				
A/C 5	パッケージ形 空調和機 (冷媒: R32-3.9kg)	室内機: 天井カセット形 (ツイン)	室内機	840W×840D×260H・20kg	14.0	16.0	3-200	3.7	内 0.05×2	1	2階会議室	室内: PL-ERP80EA4×2 屋外: PUZ-ERP160LA2-BS (三菱電機) 2016.6
			屋外機	950W×300D×1350H・92kg				外 0.12				
R/A 1	ルームエアコン (取外し)	室内機: 壁掛け形	室内機	770W×240D×290H・8kg	4.0	5.0	1-200	1.1	内 0.024	1	1階資材事務室	室内: F40ZTEP-W 屋外: R40ZEP (ダイキン) 2022
			屋外機	800W×300D×610H・35kg				外 0.031				

※付属品共撤去のこと

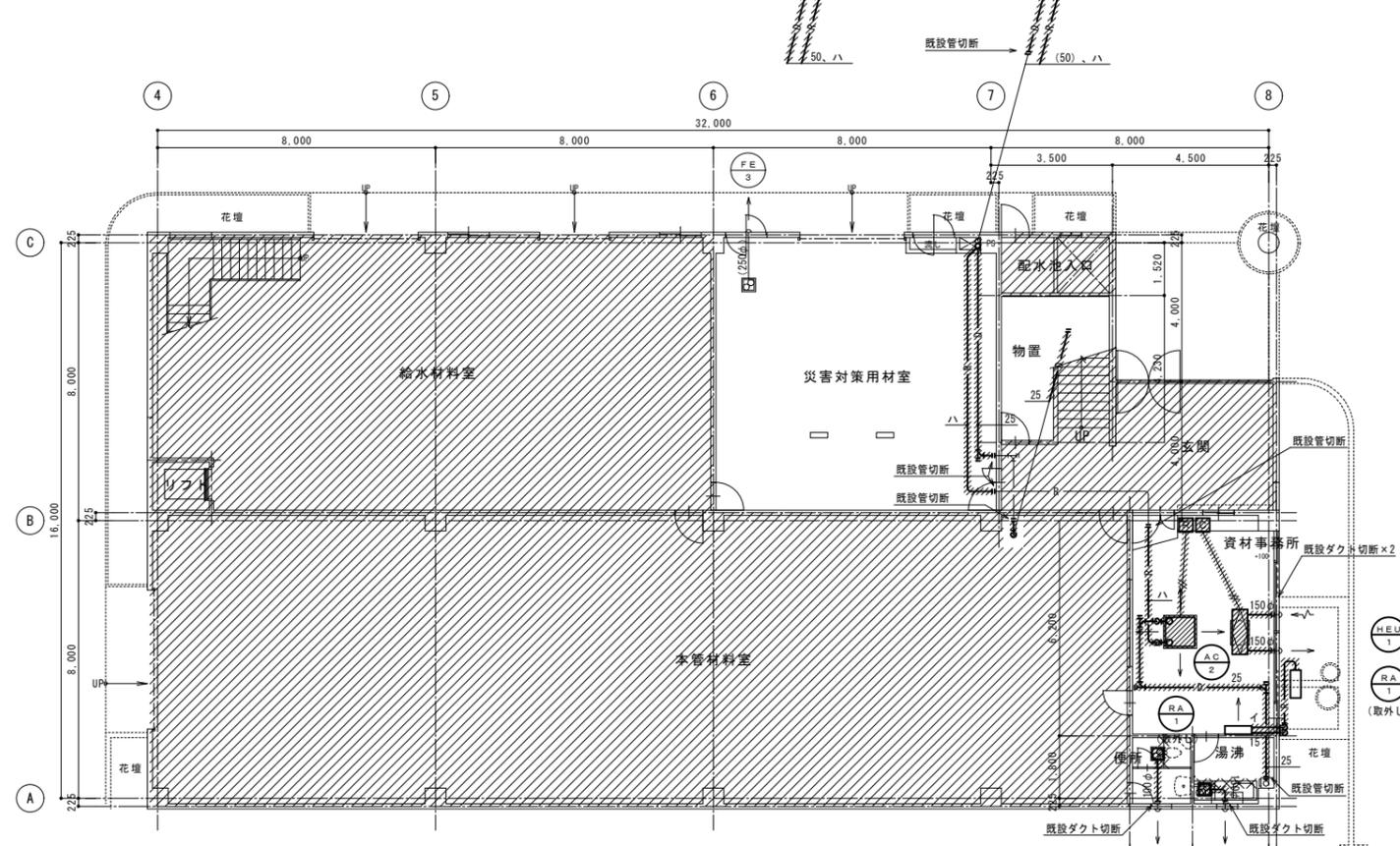
換気機器表 (撤去)

記号	名称	仕様	電源	台数	設置場所	備考
F/E 1	換気扇	形式	天井埋込形換気扇	1相-100V	1	1階便所
		能力	100φ×110m3/h			
F/E 2	換気扇	形式	天井埋込形換気扇	1相-100V	3	1階湯沸 2階湯沸室 2階女子便所
		能力	150φ×460m3/h			
F/E 3	換気扇 (既設そのまま)	形式	天井埋込形換気扇	1相-100V	1	1階災害対策用材室
		能力	250φ×650m3/h			
H/E/U 1	全熱交換ユニット	形式	天井カセット形	1相-100V	1	1階資材事務所 2階資材事務所
		能力	150φ×220m3/h			
F/E/U 2	全熱交換ユニット	形式	天井カセット形	1相-100V	2	2階展示コーナー(×2) 2階会議室
		能力	200φ×460m3/h			

※付属品共撤去のこと

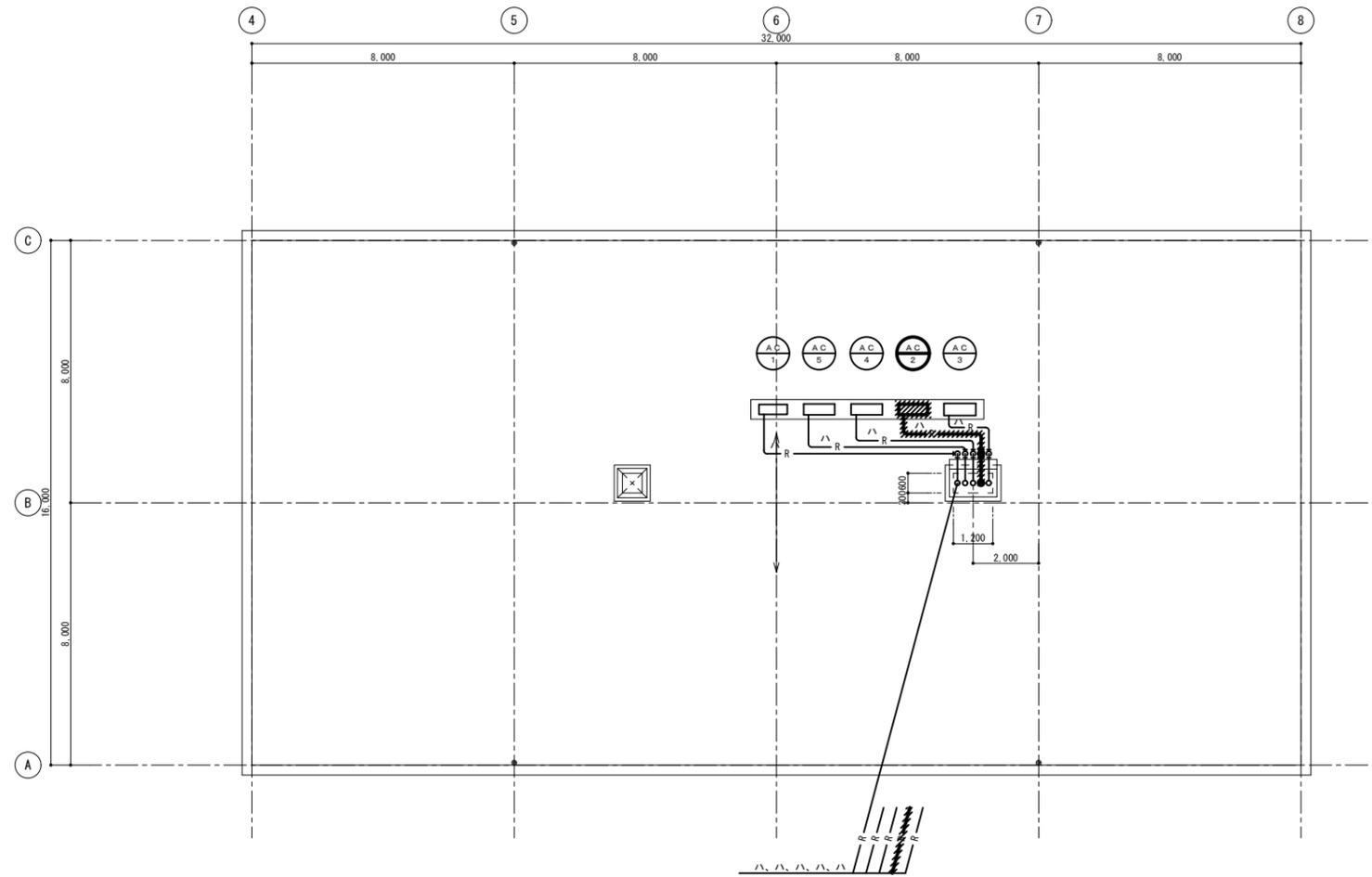


2階平面図(改修前) 1/100



1階平面図(改修前) 1/100

凡例	
***	F Lからの高さを示す
////	改修範囲外を示す



屋根伏図(改修前) 1/100

特記事項	株式会社 総合設計 一級建築士事務所 広島県知事登録 20(1)第3394号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第325100号 山本 裕一	明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日	工事名称	当初・変更・完成 図番 RM-20
			2025年 8月	(仮称)上下水道庁舎建設工事	
			図面名称	資材管理棟 空調換気設備屋根伏図(撤去)	縮尺 1/100

1. 工事概要	工事名称	(仮称) 上下水道庁舎建設工事				
	工事内容	本工事は、水道サービスセンターの解体を行う工事				
建物概要	建物名称	構造	階数	延べ面積(m ²)	消防法施行令別表第一	備考
	水道サービスセンター	鉄骨造	地上2階	658.64	15項	

2. 工事種目 ◎印を摘要とする	◎ 給水設備	◎ 空調機器設備	◎ 都市ガス設備	・ 昇降機設備
	◎ 給湯設備	◎ 空調配管設備	・ LP(液化石油)ガス設備	・ 場内舗装整備
	◎ 排水通気設備	・ 空調ダクト設備	・ 厨房設備	
	◎ 衛生器具設備	◎ 換気機器設備	・ 排煙設備	
	・ 消火設備	◎ 換気ダクト設備	・ 自動制御設備	
< 屋内外工事区分 > 給水設備工事 : 建物外壁を界して屋内外工事区分とする。 排水設備工事 : 各屋外第1会所迄を屋内とし、会所以降(会所含む)を屋外とする。 ガス設備工事 : 建物外壁を界して屋内外工事区分とする。 消火設備工事 : 同上				

3. 一般共通事項	* 特記仕様書及び設計図面等に記載されていない事項は、一般社団法人公共建築協会発行「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)、公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)」及び、一般財団法人建築保全センター発行「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)」各令和4年版による。 * 工事写真の撮影要領は、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編 平成30年版」による。 * 本工事に関係する法律、政令、省令、告示、条例、各地方団体等の内規、基準及び指針等はよくこれらを守り必要ある届け出、手続等は、請負者がこれを代行すること。ただし、これに要する費用は総て請負者の負担とする。なお、官公庁への提出書類は、写しを監督員に提出のこと。 * 完成図作成にあたっては、CADデータ修正の方法とする。また、完成図の種類及び記入内容は設計図同等とし、各図面の右下に「完成図」と明記することとする。なお、受注金額が500万円未満の場合は製本不要とする。 ・ JWW形式CADデータ ・ PDF形式データ(印刷物をスキャンしたものは不可) ・ A2二つ折り製本(表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度 工事名称+完成図 受注者名」を記入) 2部 * 貫通工事を行う際は、事前に構造上重要な躯体でないか確認し、鉄筋位置探査の上で行うこと。また、採取したコアは工事完成時まで保管すると共に写真撮影し、鉄筋切断がないことを明示すること。 * 本工事の撤去物に含まれる石綿について、「大気汚染防止法」及び兵庫県の「環境の保全と創造に関する条例」に基づき、事前調査を実施し、報告書の作成及び報告、必要に応じて届出を行うこと。 * 本工事に発生した廃棄物の処理については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」ほか関係法令に基づき処理すること。 * 埋戻し後の建設発生残土は、構外搬出し適法処理すること。 * 本工事で発生した回収フロンガスは、適正に処分し破壊証明書の写しを提出すること。 * 本工事における残存物(家庭用エアコン等)は、「家電リサイクル法」に基づき処理を行い、廃棄証明書を完成図書に添付すること。 * 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による耐震強度計算書を提出し、監督員承諾を受けること。 * 重要機器及び重要水槽(「(平成25年制定)官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説(令和3年版)」(一般社団法人公共建築協会)の定義による)並びに重量機器(500kg以上の機器)は、アンカー種別に関わらず引張試験を行うこと。引張試験の本数は、施工本数の25%以上または3本以上を目安とし、協議により決定すること。なお、当該アンカーボルトの施工は、一般財団法人日本建築あと施工アンカー協会(JCAA)またはあと施工アンカー工事協同組合(AAC)の有資格者のみ認める。 重要機器及び重要水槽として扱う機器の例: ボイラー、冷水発生機、温水発生機、冷却塔、1m ³ 以上のタンク 等
	< 以下の項目において、◎印を摘要とする。◎印が付かない場合は※を適用 > ・ 本特記による(ただし、建築一式工事における以下の項目は、建築工事特記仕様書による) * 本工事に必要な工事用(構内の既存設備を使用) 電気: ※できる [・ 有償 ・ 無償] ◎できない 水 : ※できる [・ 有償 ◎無償] ・できない * 本工事は、監督員事務所を ・ 設ける ※設けない * 本工事は、構内に工事用仮設備をつくるのが ・ できる ※できない * 本工事の足場・さん橋類は ・ 別契約の関係請負者が設置したものを無償で使用できる ※本工事で設置とする * 現場標示板(工事名標示板)明石市指定様式(900×600)を 設計金額1,000万円以上かつ工期90日以上の場合に設ける * 工事実績情報の登録を 受注金額500万円以上の場合は行う * 再生資源利用促進関係 計画書及び実施書を作成する。(エクセルデータ可) 【建設リサイクル関係法令に基づき通知・届出等の必要がない工事はデータのみ提出】 * 交通整理員は、 延べ()人とする。

4. 工事区分	・ 別紙参照
	< 以下の項目において、◎印を摘要とする。◎印が付かない場合は※を適用 > * 地中埋設配管の建物導入部の変位吸収を、 ※行う [※スリアクション ・ ホリフレ管 ・ フレキシブルジョイント] ◎行わない * 地中埋設標示シートは ダブルとする * 埋め戻し土・盛土は 根切り土の中の良質土(但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類とする) * 支持金物の材料 屋外及び屋内多湿箇所は ステンレス鋼製(SUS 304)とする 壁支持の場合は三角ブラケット、床支持の場合は門型支持材 * 水質検査(残塩0.1mg/L及びpH) ※あり ・ なし * 建築物の部分ごとの耐火性能に応じて、防火区画等の貫通処理を行うこと。 本工事範囲における耐火性能(耐火時間) ※壁(※1時間 ・ 2時間 ・ 3時間) ※床(※1時間 ・ 2時間 ・ 3時間)

5. 工事種目 ◎印を摘要とする	◎ 給水設備工事	給水方式 ◎ 直結方式 ・ 直結増圧方式 ・ 受水槽方式 [・ 加圧給水 ・ 高架水槽] 受水槽 ・ 既設品使用 ・ SUS製 ・ 鋼板製 ・ FRP製 [・ 単板 ・ 複合板] 高架水槽 ・ 既設品使用 ・ SUS製 ・ 鋼板製 ・ FRP製 [・ 単板 ・ 複合板]	・ 消火設備工事	・ 屋内消火栓 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー ・ 連結送水管 ・ 不活性ガス消火 ・ 粉末消火器 消火水槽(m3) ・ 本工事 ・ 建築工事 配管 ・ 充水方式 ・ 乾式方式
	◎ 給湯設備工事	給湯方式 ◎ 個別方式 ・ 中央方式 熱源 ・ 電気 ◎ ガス	◎ 空気調和設備工事	方式 ◎ 個別方式 ・ 中央ダクト ・ 中央配管 熱源 ◎ 空冷パナソニック [・ マルチ ◎ 個別 ・ 水蓄熱] ・ 冷水発生機 ・ 電気チラー 放熱器 ・ ファンコイル ・ エアコン 既設利用 ・ 機器類 ・ 配管類 ・ ダクト類
	◎ 排水通気設備工事	排水方式 汚水雑排水:◎屋内分流・屋内合流◎屋外合流方式 放流先 ・ 公共下水道接続 ◎ 既設会所 会所築造 ・ 既製品会所 ・ 現場打会所 ・ 既設会所接続部改修 通気方式 ◎ 伸頂通気 ◎ ループ通気 * 雨水排水 ・ 本工事 ◎ 建築工事	◎ 換気設備工事	方式 ◎ 個別方式 ・ 中央方式 第[◎1種 ・ 2種 ・ 3種]換気 対象 ◎ 機器類 ◎ダクト設備・既設使用[・機器 ・ダクト]
	◎ ガス設備工事	◎ 都市ガス ・ LPガス		

6. 使用材料	名称	配管名 番号等	給水管	給湯管	汚水管	雑排水管	通気管	消火管	ガス管	冷媒管	ドレン	冷却水	温水	蒸気管	ダクト
	硬質塩化ビニル管	JIS K 6742 水道用VP													
	〃	JIS K 6741 一般用VP			○	○					○				
	〃	JIS K 6741 ｸﾗｰVP(耐候性)													
	耐衝撃性硬質塩化ビニル管	JIS K 6742 H1VP													
	硬質塩化ビニル鋼管	JWWA K 116 SGP-VA	○												
	内外面 〃	JWWA K 116 SGP-VD	A												
	水道用ダクタイル鋳鉄管	JWWA G 120	A												
	水道用ホリフレ管	JIS K 6762													
	架橋ホリフレ管(さや管工法)	JIS K 6769													
	配管用炭素鋼管	JIS G 3452 SGP(白)													
	圧力配管用炭素鋼管	JIS G 3454 SGP Sch40													
	消火用外面被覆鋼管	WSP 041 SGP-VS													
	消火用ホリフレ管	消防認定品													
	外面被覆鋼管	JIS H 3330 建築用(M型)		○											
	耐熱性ラインク鋼管	JWWA K 140 SGP-HVA													
	冷媒用断熱材被覆鋼管	JCDA 0009 空調用								○					
	排水用塩化ビニル鋼管	WSP 042 DVLP													
	耐火二層管	排水管通気管は100A以上													
	亜鉛鉄板(ダクト用)	JIS G 3302 Z18以上													
	スパイラルダクト	亜鉛鉄板・国交省仕様													○
	大阪ガス指定管								○						
< 凡例 >	[○] 該当する配管工事に一般的に使用する配管材料を示す。他欄に記号がある場合は、その配管材料を優先する。 [A] 屋外地中埋設用 [B] 屋内地中埋設用 [C] 床下ビット配管用 [D]天井・PS内配管 [E] [F] コンクリート打込み [G] 屋外露出配管 [H] 屋内露出配管 [I] 給水引込み [J]														
< 注記 >	* 給湯管については、原則地中埋設を行わないこと。コンクリート打込み部については、仕様書に基づく防食処理を施した上で、緩衝材の巻き付けを行うこと。 * 防火区画等を貫通する樹脂管については、国土交通大臣の認定を受けた材料及び工法により適切に処理を行うこと。														

7. 保温種別		# 保温種別の記号は「標準仕様書」による。				
管種	施工場所	保温種別	管種	種別	保温厚	備考
給水管	屋内露出(一般居室・廊下)	a 1・(n)・VII	冷媒用断熱材被覆鋼管	ガス管	20mm	保温材質は、A種ホリフレフォーム保温筒とする
	機械室・書庫・倉庫	b・(n)・VII		液管	10mm	
	天井・PS内・空隙壁中	c 2・(n)・VII				
	床下・暗渠(ビツト内)	d・(n)・VII				
	屋外露出・多湿箇所(浴室、厨房等)	e 2・(n)・VII				
排水管	屋内露出(一般居室・廊下)	a 1・(n)・VII	冷媒管	屋外露出・多湿箇所(浴室、厨房等)		SUSラッキング
	機械室・書庫・倉庫	b・(n)・VII				
	天井・PS内	c 2・(n)・VII				
	多湿箇所(浴室、厨房等)	e 2・(n)・VII				
	屋外露出(一般居室・廊下)	a 1・(n)・VII				
給湯管	屋内露出(一般居室・廊下)	a 1・(n)・I	冷媒管	屋外露出・多湿箇所		
	機械室・書庫・倉庫	b・(n)・I				
	天井・PS内・空隙壁中	c 2・(n)・I				
	床下・暗渠(ビツト内)	d・(n)・I				
	屋外露出・多湿箇所(浴室、厨房等)	e 2・(n)・I				

8. 機器類の工場検査への監督員立会い	・ 右記機器類の工場検査には市監督員が立会検査を行う(機器名:)
---------------------	-----------------------------------

2023年4月改定

配管凡例

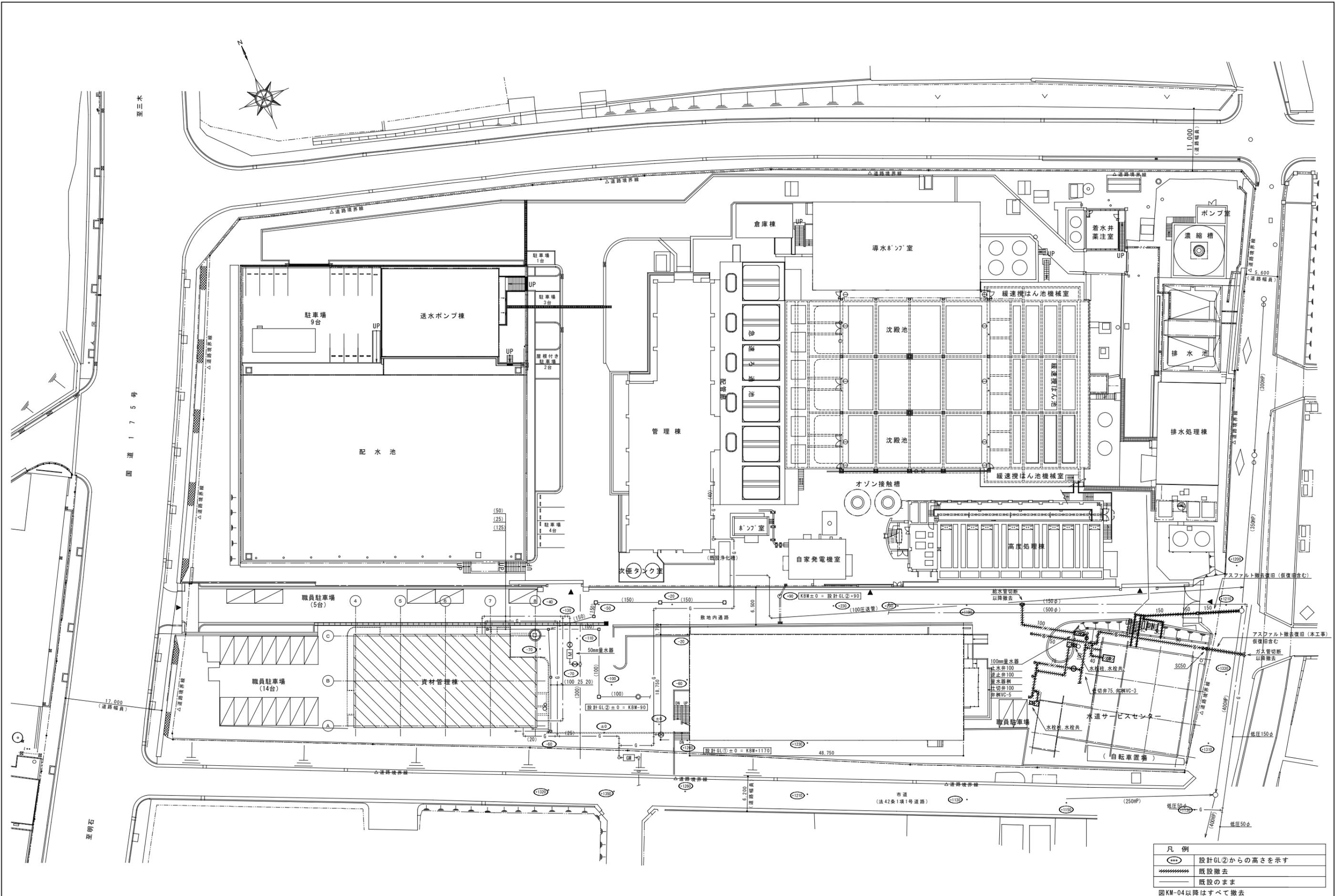
記号	名称	管種	適用	備考
(撤去)				
—	給水管	水適用硬質塩化ビニル(シグ)鋼管 SGP-VB	JWWA K 116	一般
—	給水管	水適用硬質塩化ビニル(シグ)鋼管 SGP-VD	JWWA K 116	地中
— DCI	給水管	水適用ダクタイル鑄鉄管	JWWA G 120	地中
→	汚水管	硬質塩化ビニル管 VP	JIS K 6741	一般、地中
—	雑排水管	硬質塩化ビニル管 VP	JIS K 6741	一般、地中
-----	通気管	硬質塩化ビニル管 VP	JIS K 6741	一般
—G—	ガス管	大阪ガス指定管		
—R—	空調冷媒管	断熱材被覆鋼管	JCDA 0009	一般
—D—	空調ドレン管	硬質塩化ビニル管 VP	JIS K 6741	一般
---G--- []	ワイヤ線	EM-GEE 1.25-2C		天井内コログシ
	内外接続線 (マルチ)	EM-GEE 1.25-2C		冷媒管共巻き
	内外接続線 (個別)	EM-EEF 2.0-3C IE2.0		冷媒管共巻き
—	円形換気ダクト	スチール製 (亜鉛鍍板)		一般
(表記記号)				
[]	瞬間湯沸器			
○+	ガス栓			
→	ベントキャップ			
[]	空調リモコンスイッチ			

衛生器具表 (撤去)

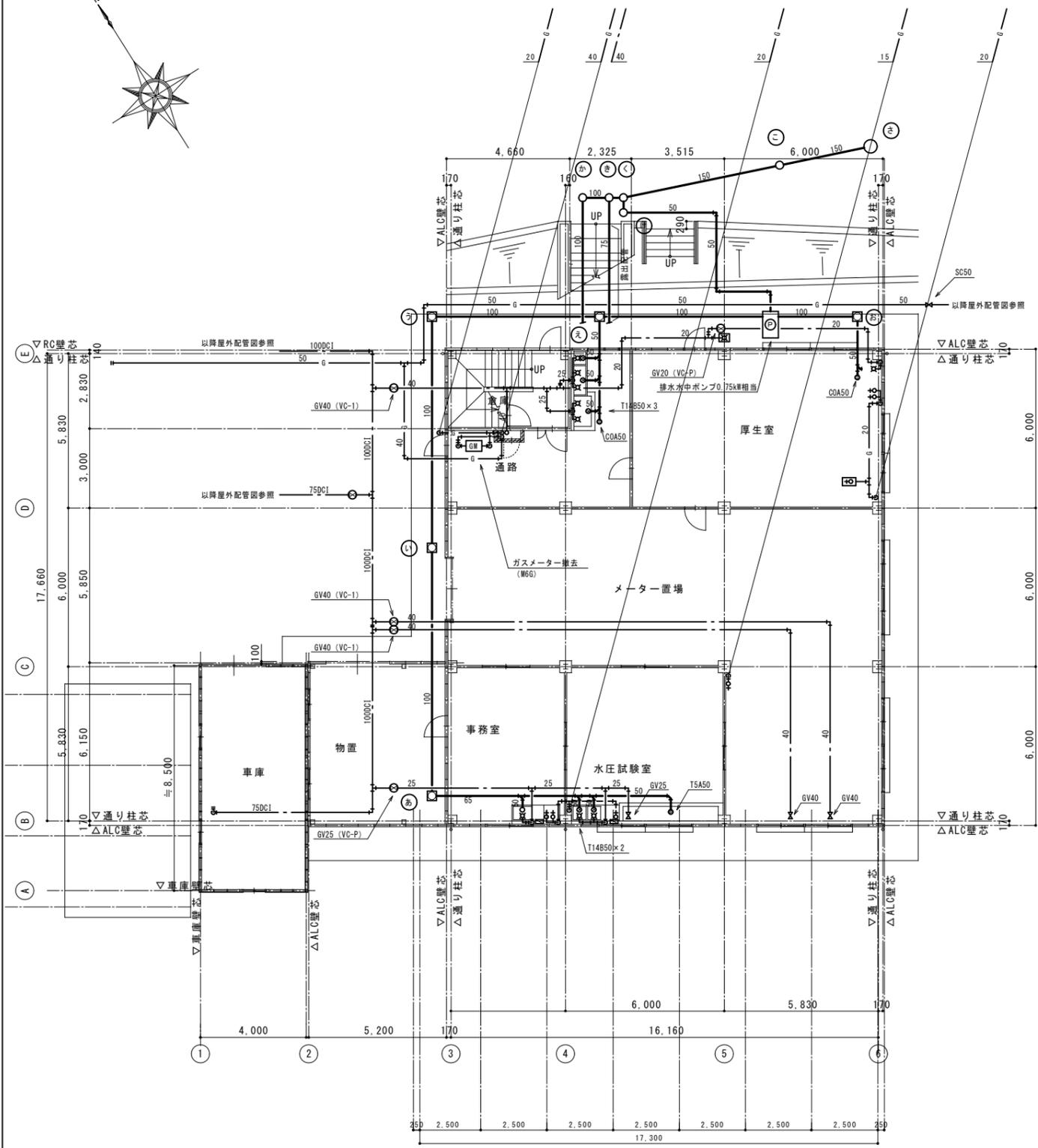
名称	記号	設置場所	合計	1階				2階					屋外	備考	
				厚生室	事務室	水圧試験室	通路	便所	洗面所	湯沸室	浴室・更衣室	詰所			事務室
和風大便器	ロータンク式 紙巻器共		2					2							
洋風便器	ロータンク式 紙巻器共		1					1							
小便器	壁掛		5					5							
小便器節水装置	一括式 タンク		1					1							
鏡			3					2		1					
横水栓	13mm		14	1	1	2	5		3						2
混合水栓	13mm		2						1	1					
バス水栓	13mm		1							1					
シャワー水栓			1							1					
水栓柱			2												2
ガス湯沸器	給湯専用壁掛け 5号		2		1	1									
ガス湯沸器	追炊き付壁掛け 16号		1							1					
飲料用冷水器	立形冷水数器		1							1					
ガスコック	壁用 一口		8								5	1	1	1	
ガスコック	床用 一口		4									4			
ガスコック	キッチン用 二口		3	1	1	1									

インバート樹リスト

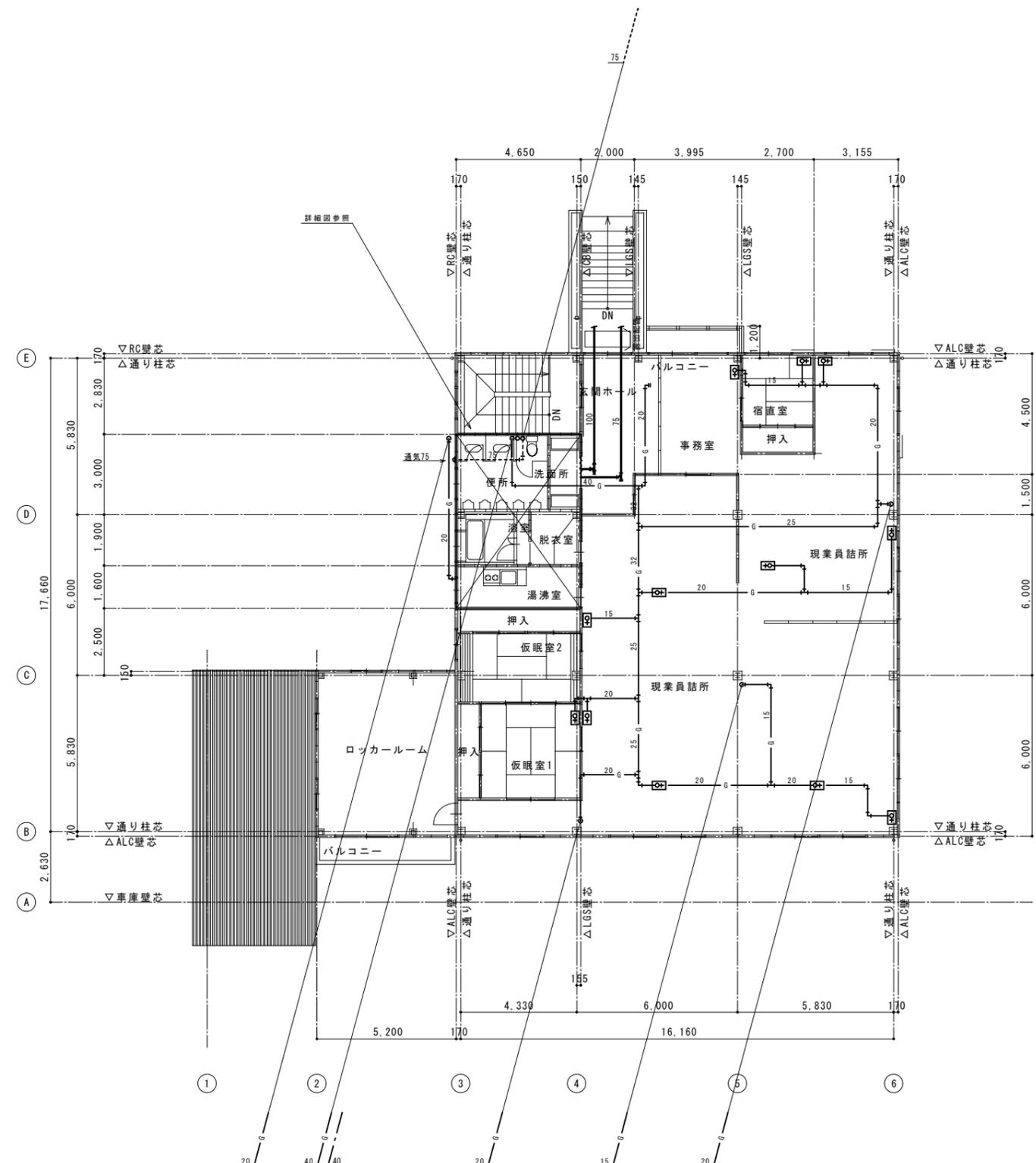
記号	名称	寸法	深さ	樹蓋	備考
㊦	インバート樹	SC-1 350×350	- 300H	MHA350	撤去
㊧	"	SC-1 350×350	- 400H	MHA350	撤去
㊨	"	SC-2 450×450	- 500H	MHA450	撤去
㊩	"	SC-2 450×450	- 600H	MHA450	撤去
㊪	"	SC-1 350×350	- 300H	MHA350	撤去
㊫	"	90L 100-200	- 400H	防護蓋 T-8	撤去
㊬	"	90Y 100-200	- 410H	防護蓋 T-8	撤去
㊭	"	90Y 150-200	- 420H	防護蓋 T-8	撤去
㊮	"	90L 100-200	- 400H	防護蓋 T-8	撤去
㊯	"	ST 150-200	- 480H	防護蓋 T-8	撤去
㊰	"	敷地取付ます	- 680H	鑄鉄蓋	撤去



- 凡例
- 設計GL②からの高さを示す
 - //// 既設撤去
 - 既設のまま
- 図KM-04以降はすべて撤去

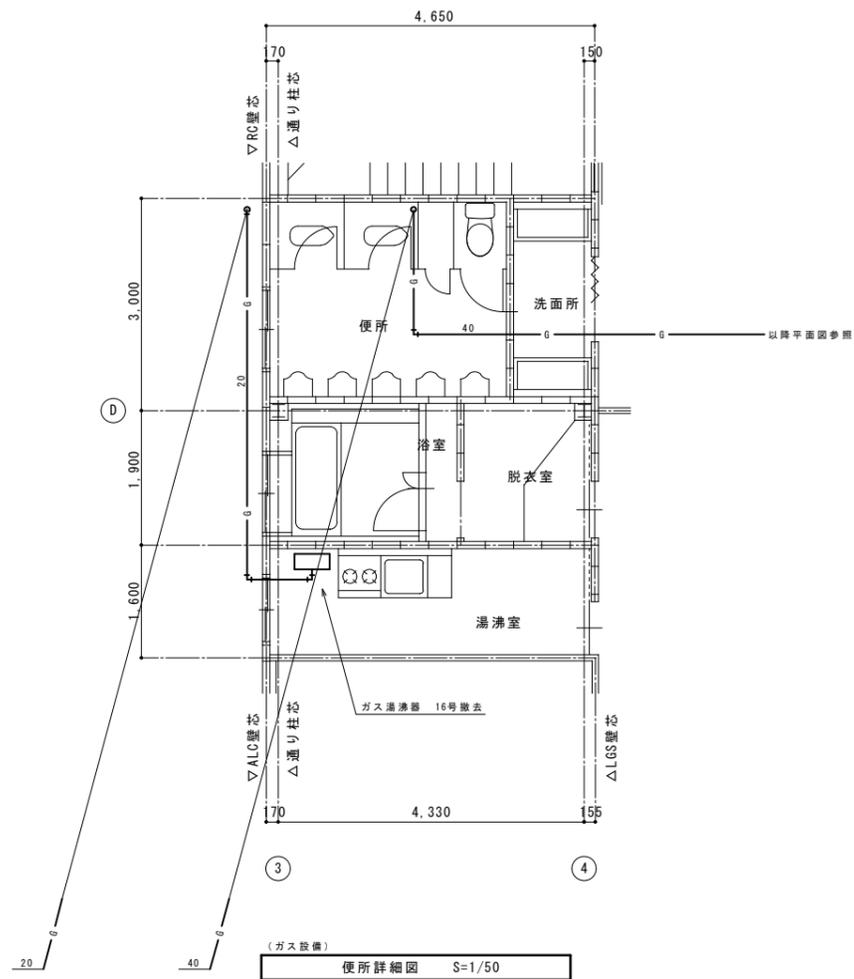
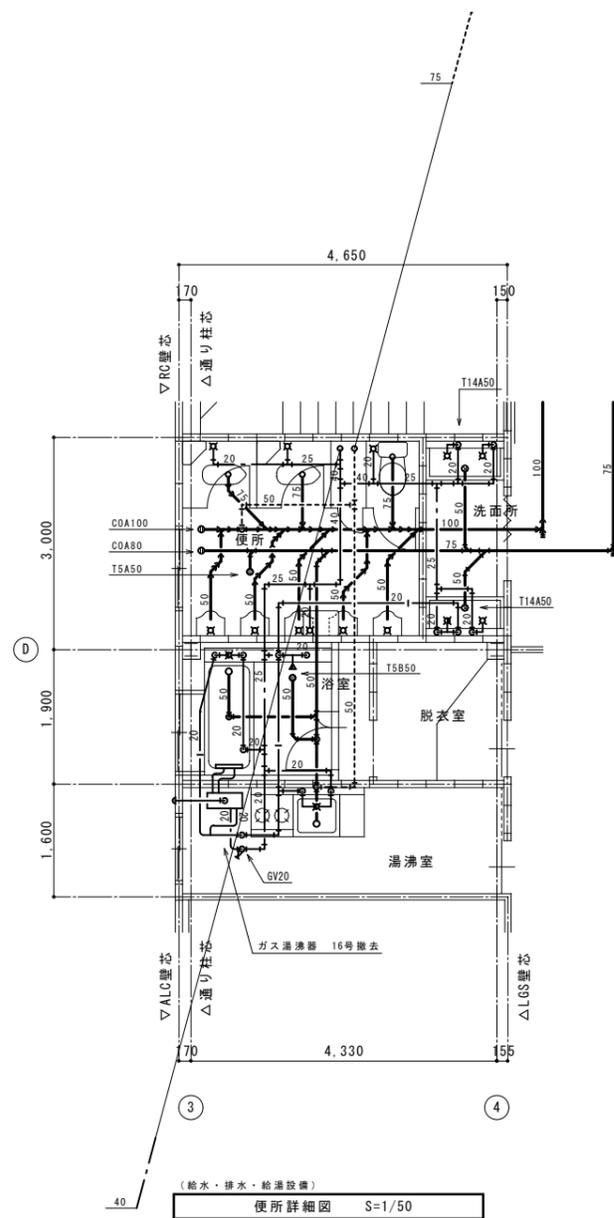


1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100

特記事項	株式会社 総合設計 一級建築士事務所 広島県知事登録 20(1)第3394号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第335100号 山本 裕一	図名 明石市都市局住宅・建築室営繕課	製作年月日 2025年 8月	工事名称 (仮称)上下水道庁舎建設工事 図面名称 水道サービスセンター解体 給排水衛生ガス設備1階・2階平面図	当初・変更・完成 図番 KM-04
------	---	-----------------------	-------------------	---	-------------------------



特記事項	

株式会社 緑企画設計
 一級建築士事務所 広島県知事登録 20(1)第3394号
 管理建築士 一級建築士(大臣) 第335100号 山本 裕一

明石市都市局住宅・建築室営繕課

製作年月日 2025年 8月
 工事名称 (仮称)上下水道庁舎建設工事
 図面名称 水道サービスセンター解体 給排水衛生ガス設備便所詳細図 縮尺 1/50

図番 KM-05
 当初・変更・完成

冷媒配管表

ビル用マルチ		
単独屋外ユニット		
図示記号	制冷剂容量 (kg)	液管ノガス管
A	45.0	12.7/28.6
分岐-分岐		
図示記号	分岐後の室内合計容量 (kW)	液管ノガス管
B	~ 10.1 未満	9.5/15.9
C	10.1 ~ 18.0 未満	9.5/19.1
D	18.0 ~ 37.1 未満	9.5/22.2
E	37.1 ~ 54.0 未満	12.7/28.6
分岐-室内機		
図示記号	室内機の容量 (kW)	液管ノガス管
F	~ 2.8 以下	6.4/9.5
G	3.6 ~ 5.6 以下	6.4/12.7
H	7.1 ~ 16.0 以下	9.5/15.9

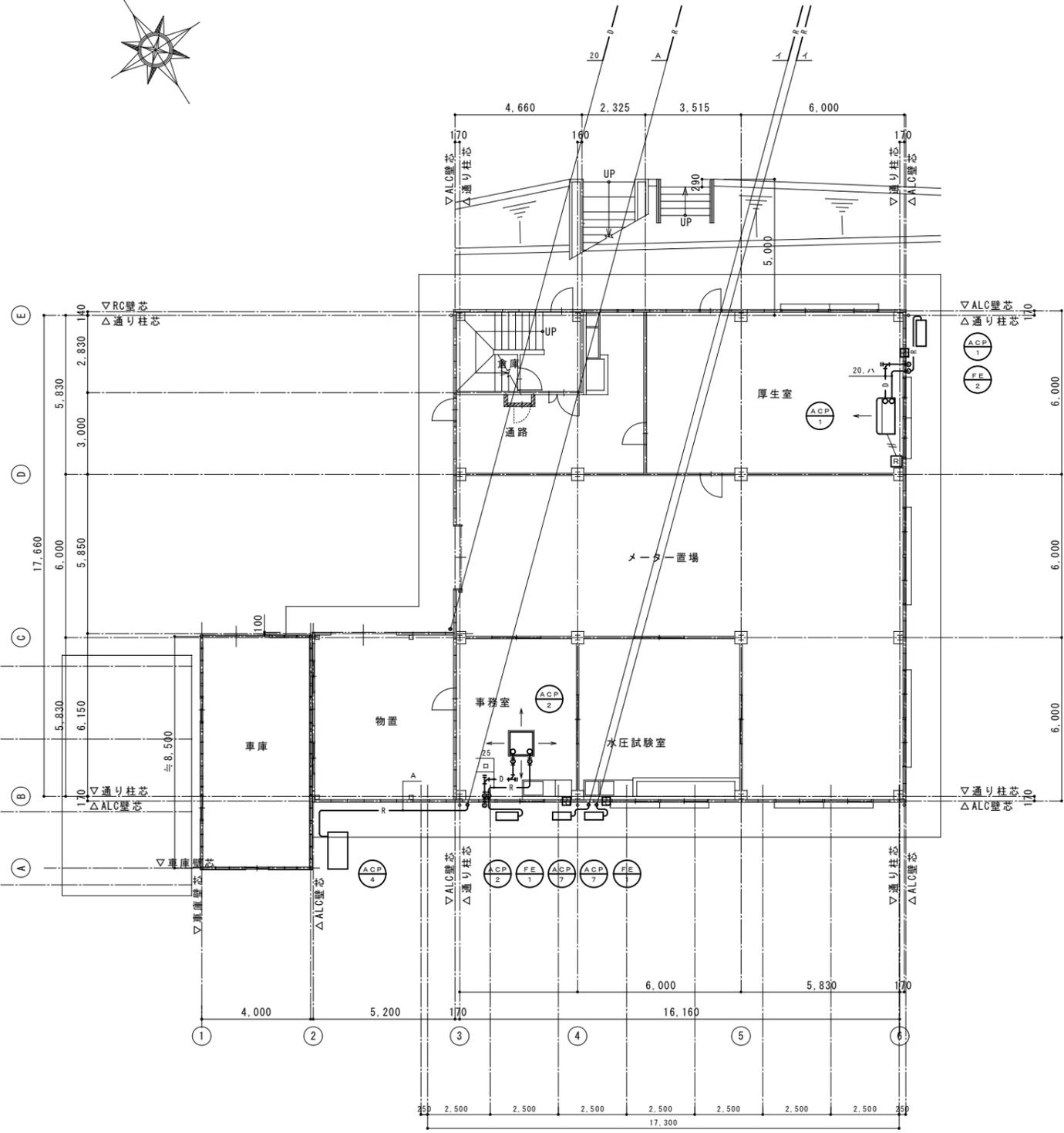
個別エアコン	
図示記号	液管ノガス管
イ	6.4/9.5
ロ	6.4/12.7
ハ	9.5/15.9

空調機器表 (撤去)

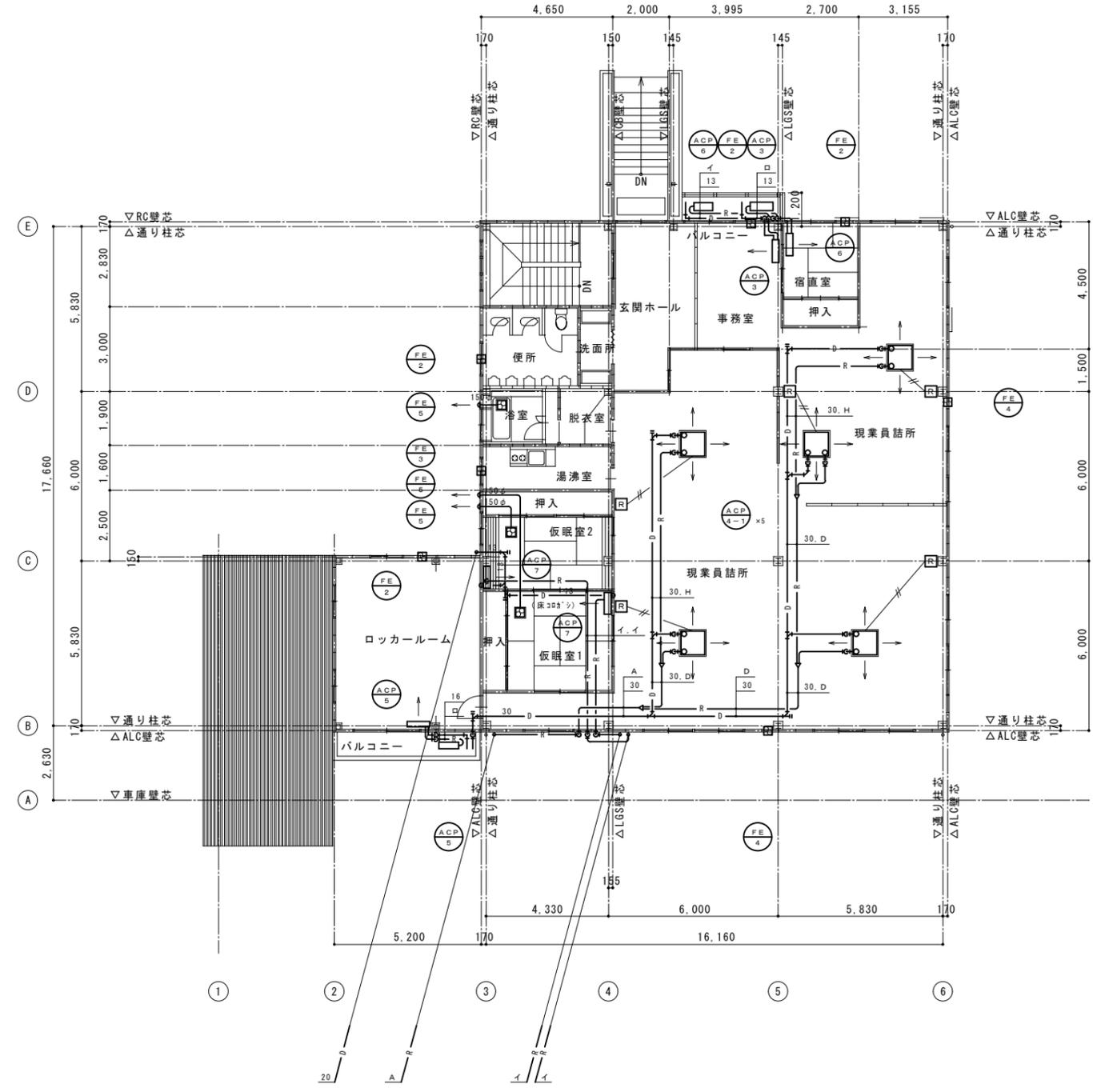
機器番号	名称	形式	参考寸法・質量	仕様				台数	設置場所	備考	
				冷房能力 定格 (kW)	暖房能力 定格 (kW)	電源 (φ-V)	電動機出力				
							圧縮機 (kW)				送風機 (kW)
ACP 1	パッケージ形 空気調和機	室内機：天井吊形	室内機 1320W×670D×280H・34kg 屋外機 950W×370D×800H・73kg	10.0	11.2	3-200	1.8 内 0.095 外 0.17	1	1階厚生室	室内：RPC-AP112K1 屋外：RAS-AP112HVW3 (日立)	
	(冷媒：R410A-3.1kg)										
ACP 2	パッケージ形 空気調和機	室内機：天井カセット形	室内機 840W×840D×260H・21kg 屋外機 810W×300D×630H・39kg	5.6	6.3	3-200	1.3 内 0.05 外 0.04	1	1階事務室	室内：PL-ERP63EA8 屋外：PUZ-ERMP63KA10 (三菱電機) 2020.7	
	(冷媒：R32-1.8kg)										
ACP 3	パッケージ形 空気調和機	室内機：壁掛け形	室内機 800W×240D×290H・10kg 屋外機 800W×300D×600H・41kg	3.6	4.0	3-200	0.59 内 0.027 外 0.070	1	2階事務室	室内：FAP40DG 屋外：RZRP40BCT (ダイキン) 2018.4	
	(冷媒：R32-1.2kg)										
ACP 4	パッケージ形 空気調和機	屋外機 ビル用マルチ	屋外機 1350W×720D×2050H・374kg	45.0	50.0	3-200	4.87×2 外 0.386×2	1	屋外(地上設置)	屋外：FDCRP4504HLXB (三菱重工)	
	(冷媒：R410A-11.5kg)										
ACP 4-1	パッケージ形 空気調和機	室内機：天井カセット形 ビル用マルチ	室内機 840W×840D×300H・27kg	9.0	10.0	1-200	内 0.12	5	2階詰所	室内：FDTP904LXAG (三菱重工) 2016	
ACP 5	ルームエアコン	室内機：壁掛け形	室内機 800W×190D×290H・9kg 屋外機 700W×240D×540H・32kg	4.0	6.0	1-200	1.0 内 0.02 外 0.026	1	2階ロッカールーム	室内：FJ40ATEP-W 屋外：RJ40AEP (ダイキン) 2000	
ACP 6	ルームエアコン	室内機：壁掛け形	室内機 800W×240D×290H・9kg 屋外機 660W×280D×550H・27kg	2.8	2.8	1-100	0.75 内 0.029 外 0.033	1	2階宿直室	室内：F28KTNS-C 屋外：R28KNS (ダイキン)	
ACP 7	ルームエアコン	室内機：壁掛け形	室内機 770W×240D×290H・8kg 屋外機 680W×290D×550H・22kg	2.5	2.8	1-100	0.75 内 0.022 外 0.017	2	2階仮眠室1 2階仮眠室2	室内：F25WTES-W 屋外：R25WES (ダイキン) 2019	

換気機器表 (撤去)

記号	名称	仕様		電源	台数	設置場所	備考
FE 1	換気扇	形式	壁掛け形換気扇	1相-100V	2	1階事務室、水圧試験室	
	能力	15cm					
FE 2	換気扇	形式	壁掛け形換気扇	1相-100V	5	1階厚生室 2階宿直室、事務室 2階便所、ロッカールーム	
	能力	20cm					
FE 3	換気扇	形式	壁掛け形換気扇	1相-100V	1	2階湯沸室	
	能力	25cm					
FE 4	換気扇	形式	壁掛け形換気扇	1相-100V	2	2階詰所	
	能力	30cm					
FE 5	換気扇	形式	天井埋込形換気扇	1相-100V	3	2階浴室 2階仮眠室1、仮眠室2	
	能力	150φ					



1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100

特記事項		製年月日 2025年 8月	工事名称 (仮称) 上下水道庁舎建設工事 水道サービスセンター解体 空調換気設備1階・2階平面図	当初・変更・完成 図番 KM-07
	一級建築士事務所 広島県知事登録 20(1)第3394号 管理建築士 一級建築士(大臣) 第335100号 山本 昭一	明石市都市局住宅・建築室管轄課	図面名称 縮尺 1/100	